

令和4年度

年 報



令和5年10月

九州大学大学院医学研究院保健学部門

目 次

1. 保健学部門の活動	・ ・ ・ ・ ・	1
2. 各分野の活動		
2-1. 分野の活動：看護学分野	・ ・ ・ ・ ・	3
2-2. 分野の活動：医用量子線科学分野	・ ・ ・ ・ ・	7
2-3. 分野の活動：検査技術科学分野	・ ・ ・ ・ ・	10
3. 教員の活動		
3-1. 教員の活動：看護学分野	・ ・ ・ ・ ・	13
3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野	・ ・ ・ ・ ・	53
3-3. 教員の活動：検査技術科学分野	・ ・ ・ ・ ・	83
4. 教員組織および委員会一覧		
4-1. 教員人員及び教員配置表	・ ・ ・ ・ ・	111
4-2. 部内委員一覧	・ ・ ・ ・ ・	112
4-3. 病院地区委員会	・ ・ ・ ・ ・	114
4-4. 全学委員会	・ ・ ・ ・ ・	116

1. 保健学部門の活動

❖ 保健学部門の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
令和4年4月	新部門長の就任	保健学部門長として藪内英剛教授が就任した。 任期は令和4年4月1日～令和6年3月31日	
令和4年12月	記念誌の作成	保健学科創立二十周年記念として、平成24年から令和3年度までの10年間の業績をまとめた記念誌を作成した。	九州大学医学部保健学科20周年記念誌

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
令和4年4月5日	学部入学式	新入生137名（看護：69、放射：35、検査：33）が入学した。	学生係資料
令和4年4月5日	大学院入学式	修士31名（看護：4、助産学：7、医用量子：13、検査技術：7）、博士7名（看護：5、医療技術：2）が入学した。	学生係 資料
令和4年4月5日	学部在学生ガイダンス	新型コロナウイルス感染症拡大のため専攻毎で開催した。	学生係資料
令和4年4月6日	大学院新入生ガイダンス	新型コロナウイルス感染症拡大のため専攻毎で開催した。	学生係資料
令和4年4月7日	学部新入生ガイダンス	新型コロナウイルス感染症拡大のため専攻毎で開催した。	学生係 資料
令和4年6月7日	国立大学保健医療学系代表者協議会	新型コロナウイルス感染症拡大のためオンライン（Zoom）会議で開催された。（幹事校：秋田大学）	協議会議事録
令和4年7月27日	修士論文発表会	修士2年2名（医用量子：2名）が発表を行った。	保健学専攻学年暦
令和4年8月22日	修士課程入学試験	37名（看護：6名、助産学：11名、医用量子：10名、検査技術：10名）が志願した。	学生係 資料
令和4年9月8日	博士後期課程入学試験	11名（看護：7名、医療技術：4名）が志願した。	学生係 資料
令和4年9月28日	保健学部門FD	会場：オンライン（Zoom）テーマ：「保健学部門における国際化の推進とグローバル人材の育成」内容九州大学国際戦略企画室 許斐ナタリー 先生より、「九州大学の国際戦略-コロナ禍におけるグローバル人材育成の取り組みと成功事例をもとに-」について講演を頂いた。その後教員間で「今後の保健学部門としての国際・グローバル人材育成に対する取り組み」というテーマでグループ討議を行った。	保健学部門FD報告書
令和4年9月22日	秋期学位記授与式	修士2名（医用量子線） 博士0名	保健学専攻学年暦
令和4年9月26日 令和5年3月7日 令和5年3月23日	就職セミナー（看護）	参加： 3年生 感染防止の観点から遠隔で、講師から就職活動に重要なマナーを中心とした研修会を開催した。	学生委員会議事録
令和4年10月3日	秋期入学式	修士 アジア保健学コース 0名 博士 保健学国際コース 1名	保健学専攻学年暦
令和5年2月28日 令和5年3月13日	就職セミナー（放射・検査）	参加： 3年生 感染防止の観点から遠隔で、講師から就職活動に重要なマナーを中心とした研修会を開催した。	学生委員会議事録
令和5年1月14～15日	大学入学共通テスト		保健学科学年暦
令和5年1月21日	入学者選抜：総合型選抜Ⅱ〔第2次選抜〕	80名（看護：42名、放射：21名、検査：17名）が志願した。	学生係 資料
令和5年1月30日、2月2～3日	修士論文発表会	修士2年32名（看護：9名、医用量子：13名、検査：10名）が発表を行った。	保健学専攻学年暦
令和5年2月25～26日	入学者選抜：個別学力検査（前期日程）	292名（看護：124名、放射：77名、検査：91名）が志願した。	学生係 資料
令和5年3月20日	卒業式・学位記授与式	学士139名（看護：73名、放射：35名、検査：31名） 修士 32名（看護：2名、助産：7名、医用量子：13名、検査：10名） 博士 7名（看護：1名、医療技術：6名）	保健学科 学年暦 保健学専攻 学年暦

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	学生受入	放射：韓国から学部生1名1か月半、大学院生1名1か月半、インドネシアから学部生1名約3ヵ月	
令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	学生派遣	放射：アメリカへ大学院生1名学会参加、マレーシアのマラヤ大学へ大学院生1名約2週間 検査：タイのマヒドン大学へ学部生1名12日間、オーストラリアへ学部生1名約2週間、オーストラリアへ大学院生2名約2か月半	
令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	SGU（スーパーグローバル大学創成支援）	(1)学部：国際医療人育成に向けた看護教育オンラインプログラム基盤構築（看護） 予算 310,000円 (2)学府：インバウンド増加を目的とした医学物理教育COIL推進プログラム（医用量子線） 予算 400,000円	
令和4年10月28日	第17回九州大学保健学国際フォーラム開催	第1部 特別講演 公益社団法人日本WHO協会 理事長 大阪大学名誉教授 中村安秀先生 “Global health-minded health professionals: Primary Health Care and Planetary Health for no one left behind” 第2部 Student Meeting 各分野にて海外講師より遠隔講演、各国の学生と九州大学の学生間で英語での発表と討論を行った。	国際フォーラム報告書

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
令和4年6月	大学院入試説明会	保健学専攻大学院受験希望者を対象に大学院の概要についての説明会をHP上で開催した。 対面での開催なし。	保健学部門会議事録 入試実施委員会議事録
令和4年7月7日 令和4年7月7日 令和4年7月27日	高校への出前講義	福岡県立城南高等学校（外園 栄作 講師） 福岡県立明善高等学校（鳩野 洋子 教授） 明治学園高等学校（近藤 雅敏 講師）	
令和4年8月	オープンキャンパス	感染防止の観点から、オンラインにて、保健学科の受験を考えている高校生ならびに一般の方を対象としたオープンキャンパスを開催した。	学生委員会議事録
令和4年10月1日	第18回保健学公開講座	会場：医学部保健学科棟 3階 第5番講義室 テーマ：広げよう医療と保健の知識 講演-1「高血圧予防は生活習慣の改善から」後藤 健一 教授 講演-2「切らずに治す、IVR－治療最前線」井手口 忠光 准教授 講演-3「生理機能検査とは？～結果の意味と読み方について～」塩津 弘倫 助教 受講者 45名（一般参加者 22名、本学教員 23名）	広報委員会資料

5. 主な人事異動

年月日	事項	活動の概要	資料
令和4年3月31日	佐々木 雅之（医用量子線・教授）	定年退職	

6. 大型設備・機器の整備

年月日	分野	物品・事項	資料

7. その他

年月日	事項	活動の概要	資料

2. 各分野の活動

❖ 看護学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
令和4年4月26日 令和4年5月26日 令和4年6月29日 令和4年7月27日 令和4年9月28日 令和4年10月26日 令和4年11月21日 令和4年12月21日 令和5年1月25日 令和5年2月22日 令和5年3月22日	看護学分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録

2. 教育活動 1) 学生・教員

年月日	事項	活動の概要	資料
令和4年4月5日	学部生（第20期）の入学	担任:鳩野洋子、能登裕子、岩木三保、松藤尋幹	分野会議議事録
令和5年2月22日	看護学分野FD	「コロナ禍における臨地実習の教育の質の確保と今後の課題」のテーマでグループワークを行った（統合基礎看護学講座臨床看護学領域担当）	令和4年度看護学分野FD報告書

2. 教育活動 2) 実習関係

年月日	事項	活動の概要	資料
令和4年4月25日 令和4年5月23日 令和4年6月27日 令和4年7月25日 令和4年8月29日 令和4年9月26日 令和4年10月25日 令和4年11月28日 令和4年12月19日 令和5年1月23日 令和5年2月27日 令和5年3月20日	実習委員会	各看護領域の実習科目責任教員による、臨地実習の運営等に関する討論会を開催した。	実習委員会議事録
令和4年5月13日 令和4年7月8日 令和4年9月9日 令和5年1月13日 令和5年3月10日	看護キャリアセンター会議	九州大学病院で行われる看護学実習に関して、九州大学病院看護部と看護学分野の連携を中心に検討した。実習に関する教育、研究に関する検討を行った。	看護キャリアセンター会議議事録

令和4年度 通年	臨地実習に関する説明 (九大病院以外)	老年、小児、在宅、地域、助産領域の臨地実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。 老年看護学実習は、2つの外部施設と電話やメールで打ち合わせを行った。 小児看護学実習Ⅰは、4月21日に1箇所の実習施設と打ち合わせを行ったが、その直後で外部施設の実習中止が決定された。 在宅看護論実習は、4～8月と12月～3月に、12ヶ所の実習施設と打ち合わせを行った。 公衆衛生看護学実習は、5月に4ヶ所の自治体を訪問し、打ち合わせを行った。 助産学実習は、9～10月に3ヶ所、12～2月に2ヶ所の実習施設を訪問し、打ち合わせを行った。	実習要項
令和4年10月5日 (オンライン)	3校合同九州大学病院臨地実習打ち合わせ会議	九州大学病院で実習予定の他校(福岡女学院、福岡看護大学)と九州大学病院看護部とで、令和5年以降の実習予定について相互に確認、検討を行った。	3校合同会議議事録
令和4年度 4月～7月	総合実習に関する実習説明会	看護学専攻4年生の総合実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。	実習要項
令和4年8月8日 令和4年10月4日	福岡県公衆衛生看護学実習連絡協議会	公衆衛生看護学実習を円滑かつ適正に実施するため、保健師課程を置く県内大学等が加盟する協議会に出席した。各大学の次年度各自自治体実習配置と、宿泊を伴う遠隔地実習配置について協議した。	福岡県公衆衛生看護学実習連絡協議会議事録
令和4年12月7日	在宅看護実習指導者連絡会議	看護学専攻3年生～4年生の在宅看護論実習に関して、実習施設(訪問看護ステーション)の実習指導者に、オンラインにて説明を行った。	実習指導者連絡会議資料

2. 教育活動 3) 選抜試験

年月日	事項	活動の概要	資料
令和5年2月20日・21日	保健師課程選抜試験	看護学専攻2年生の保健師選択課程志願者について、筆記試験(小論文)と面接試験を行った。	分野会議議事録

2. 教育活動 4) 研究発表会

年月日	事項	活動の概要	資料
令和4年9月～11月 (オンライン)	講座卒業研究中間発表会	看護学専攻4年生が各講座において、卒業研究の中間発表会を行った。	講座会議議事録
令和4年11月22日	卒業研究発表会	医学部保健学科看護学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。	卒業研究抄録集
令和5年1月30日	修士課程 看護学特別研究の最終試験	修士課程大学院生の研究の最終試験を行った。	分野会議議事録
令和5年1月31日	博士後期課程 特別研究の中間発表	博士後期課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表会を行った。	分野会議議事録
令和5年1月31日	修士課程 看護学特別研究の中間発表会	修士課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表会を行った。	分野会議議事録

2. 教育活動 5) 国家試験

年月日	事項	活動の概要	資料
令和4年度 通年	国家試験学内模擬試験(看護師、保健師)	4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。看護師国家試験模試計6回、保健師国家試験模試計2回	分野会議議事録
令和5年2月9日 令和5年2月10日 令和5年2月12日	第106回助産師国家試験 第109回保健師国家試験 第112回看護師国家試験	3日間にわたって国家試験が行われた。看護師国家試験98.6%、保健師国家試験100%、助産師国家試験100%の合格率であった。	分野会議議事録

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
令和4年10月28日	保健学国際フォーラム	コロナ禍に伴い、九州大学教員・学生は5番講義室・6番講義室・多目的室から、他大学者はオンラインによる参加のハイブリッド制で開催した。 第1部は公益社団法人日本WHO協会理事長・大阪大学名誉教授の中村安秀先生による特別講演、 第2部はマヒドン大学のRukchanok Koshakri先生による特別講義、および本学学生とマヒドン大学学生による学生発表・意見交換が行われた。	第17回九州大学保健学国際フォーラム報告書, 2022

4. 社会連携 1) 人材育成

年月日	事項	活動の概要	資料
令和4年4月～ 令和5年3月	九州大学病院の看護研究コース指導	看護教員が大学病院看護職員の研究指導を実施 講義講師：鳩野洋子、松尾和枝 研究指導：相星香、松本美晴、中島紀江、酒井久美子、藤田香奈恵、道面千恵子、佐藤洋子、薬師寺佳菜子、松藤尋幹	看護研究コース資料
令和4年7月4日 令和4年8月2日 令和4年9月14日	九州大学病院臨地実習指導者研修（新規+アドバンス）	九州大学病院看護部の新たな臨地実習指導者45名アドバンス20名を対象に実施 研修講師： 藤田君文 看護教育課程 看護基礎教育 看護指導の原理 橋口暢子 看護学生の動向 看護過程 青本さとみ 看護学生の特徴、カンファレンスの指導方法 コーチングについて	九州大学病院資料（令和4年度看護キャリアセンター報告書）
令和4年7月13日	九州大学病院看護部研修会	九州大学病院のクリニカルリーダーⅢを目指す看護職員49名を対象に講義を実施 テーマ：臨床看護研究の基礎知識、テーマの見つけ方 講師：松尾和枝	
令和4年11月4日	九州大学病院看護部研修会	看護職員30名を対象に講義を実施 テーマ：腹膜透析患者の看護 講師：吉田恵美	

4. 社会連携 2) 看護教育協議会など

年月日	事項	活動の概要	資料
令和4年10月29日	全国保健師教育機関協議会九州ブロック定例会・研修会 (Web開催)	現任教育・卒後教育や新カリキュラムへの対応について、加盟校間で意見交換を行った。	全国保健師教育機関協議会九州ブロック定例会・研修会資料
令和4年6月18日	全国助産師教育協議会定時社員総会 (Web会議)	公益社団法人全国助産師教育協議会社員総会が開催された。	全国助産師教育協議会定時社員総会資料
令和4年7月8日	国立大学助産師教育専任教員会議 (Web開催)	国立大学助産師教育加盟校により、国立大学助産師教育について協議および意見交換を行った。	国立大学助産師教育専任教員会議資料
令和4年8月6日	九州・沖縄地区助産師教育協議会 (Web開催)	九州・沖縄地区の加盟校により、国立大学助産師教育について協議および意見交換を行った。	九州・沖縄地区助産師教育協議会資料

4. 社会連携 3) 公開講座

年月日	事項	活動の概要	資料

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料

6. 特筆すべき実績受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料

❖ 医用量子線科学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
令和4年4月8日	医用量子線科学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録
令和4年5月17日			
令和4年6月7日			
令和4年7月14日			
令和4年9月12日			
令和4年10月14日			
令和4年11月7日			
令和4年12月15日			
令和5年1月19日			
令和5年2月8日			
令和5年3月14日			

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
令和4年4月7日	学部生(第20期)の入学	主担任:藤淵教授 副担任:近藤講師 オリエンテーション実施	分野会議議事録 学生便覧
令和4年4月6日	大学院生(第16期)の入学	オリエンテーション実施	分野会議議事録
令和4年4月11日	国家試験学内模試	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。	
令和4年6月6日	国家試験学内模試		
令和4年7月25日	国家試験外部模試		
令和4年9月13日	国家試験学内模試		
令和4年11月21日	国家試験外部模試		
令和5年1月12日	国家試験外部模試		
令和5年2月2日	国家試験学内模試		
令和4年6月20日, 6月27日	修士および博士課程 中間発表会		
令和4年7月7日, 7月21日	先端技術セミナーの 開催	医学部保健学科放射線技術科学専攻学生、医学系 学府保健学専攻修士課程大学院生を対象に、最新 医療機器の先端技術に関する紹介を行った。	分野会議議事録 先端技術セミナー プログラム
令和4年9月24日	2022年度医学物理士 認定試験	教員1名中1名が合格	http://www.jbmp.org/certification/passers/
令和4年12月2, 3日	卒業研究発表会	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生35名が卒業研究の成果発表を行った。	分野会議議事録 卒業研究発表会プログラム
令和4年9月29日	卒業研究セミナー	医学部保健学科放射線技術科学専攻3年生を対象に卒業研究紹介の説明会と大学院進学を検討するための講演会を西新プラザで開催した。	分野会議議事録

令和4年11月19, 20日	第17回九州放射線医療技術学術大会	学部4年生が参加して講演を聴講した。教員3名、大学院生2名、学部生17名が筆頭発表者として学術研究発表を行った。	第17回九州放射線医療技術学術大会プログラム
令和5年2月3日	修士研究発表会	医学系学府保健学専攻医用量子線科学分野修士2年生13名が修士研究の成果発表を行った。	分野会議議事録 修士研究発表会プログラム
令和5年2月16日	第75回診療放射線技師国家試験	35名が受験し34名が合格した。 新卒合格者は97% (34/35名)であった。	厚生労働省

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
令和4年9月20日	オンライン国際シンポジウム	"Symposium on Intelligent Data Science for Radiological Imaging (iDSRI) between Universiti Malaya and Kyushu University" 参加者：合計78名（九大院生約50、マラヤ学生約10名、九大教員12名、マラヤ教員6名） マラヤ大学の教員3名によるfaculty lectures (Prof. Loo Chu Kiong, Prof. Kartini Rahmat, Dr. Farhana Fadhi) や、九大教員3名の講演 (Assist. Prof. (Lecturer) Masatoshi Kondo, Assist. Prof. Masateru Kawakubo, Assist. Prof. Nobukazu Tanaka) 、及びマラヤ大学学生3名、九大学生3名が研究成果発表を行い、お互いの研究成果について情報交換を行い、学術的な国際交流を推進した。	2022 (令和4) 年度スーパーグローバル大学創成支援 (SHARE-Q) 報告書
令和4年11月19日	オンライン保健学科国際フォーラム	Dr. Pervin Hürmüz 氏 (Department of Radiation Oncology, Faculty of Medicine, Hacettepe University, Ankara, Turkey) を講師に迎え講演会を開催。講演会後のstudent meetingでは、Hacettepe Universityからオンライン参加の学生1名が大学での研究について、当分野の大学院5名は大学での研究を紹介し、学生間の国際交流を推進した。	2022 (令和4) 年度スーパーグローバル大学創成支援 (SHARE-Q) 報告書
令和5年3月7日	ハイブリット国際シンポジウム	マラヤ大学との国際研究ミーティングiDSR (マレーシア) 参加者：合計30名 (マラヤ大学生10名、九大教員5名、マラヤ教員15名) マラヤ大学の教員3名 (Prof Kwan Hoong Ng, Dr Shier Nee Saw, Dr Jeannie Wong)、九大の教員2名 (Prof. Hidetaka Arimura, Assist. Prof. (Lecturer) Masatoshi Kondo) 、九大の大学院生1名が研究成果発表を行い、お互いの研究成果について情報交換を行い、学術的な国際交流を推進した。	2022 (令和4) 年度スーパーグローバル大学創成支援 (SHARE-Q) 報告書

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
令和4年6月9日	第23回国立大学診療放射線技師教育施設協議会	Webにて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等について協議した。(有村秀孝教授、藤淵俊王教授、近藤雅敏講師 (オブザーバー))	分野会議議事録 会議報告書
令和4年6月10日	第67回全国診療放射線技師教育施設協議会	Webにて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等について協議した。(有村秀孝教授、藤淵俊王教授)	開催プログラム
令和4年7月29日	明治学園高等学校出前講義	近藤雅敏講師が九大保健学科、放射線技術科学専攻、および診療放射線技師を紹介した。	開催プログラム

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
令和4年8月18, 19日	放射線取扱主任者試験第1種国家試験	合格者 学部3年生15名、学部4年生3名、大学院生2名	官報
令和4年12月24日	令和4年度第1回新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン 先端医用量子線技術科学コース講演会 (Zoom)	臨床現場で物理的かつ技術的な面で指導的役割を果たし、様々ながん治療を対象とした臨床研究を推進する先端医用量子線技術科学の医療人養成を目的とした講演会をオンライン開催した。 本講演会は、九州大学大学院医学系学府医学物理士・放射線治療品質管理士養成コースの医学物理教育として医学物理認定機構から認定済。卒業教育として学外からの参加も受入れ、認定証を発行した。 ●大分大学医学部・放射線医学講座 浅山良樹 先生 「肝腫瘍の画像診断とIVR」 ●千葉大学大学院医学研究院 画像診断・放射線腫瘍学 渡辺未歩 先生 「画像誘導小線源治療」 ●千葉大学医学研究科 MR画像誘導即時適応放射線治療学寄付講座 恒田雅人 先生 「Elekta Unityのコミッションングと運用」 ●防衛大学校応用科学群・応用物理学科 高田真志 先生 「加速器BNCTの中性子ビームは本当にリアルタイムモニタリング出来ないのだろうか」 参加者137名	http://web.shs.kyushu-u.ac.jp/~mp/
令和5年3月11日	令和4年度第2回新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン 先端医用量子線技術科学コース講演会 (Zoom)	臨床現場で物理的かつ技術的な面で指導的役割を果たし、様々ながん治療を対象とした臨床研究を推進する先端医用量子線技術科学の医療人養成を目的とした講演会をオンライン開催した。 本講演会は、九州大学大学院医学系学府医学物理士・放射線治療品質管理士養成コースの医学物理教育として医学物理認定機構から認定済。卒業教育として学外からの参加も受入れ、認定証を発行した。 ●順天堂 大学保健医療 学部 黒川千恵 先生 「放射線治療の今後と物理が果たせる役割について」 ●量子科学技術研究開発機構 古場裕介 先生 「重粒子線治療における患者の被ばく線量解析へ向けた研究開発」 ●大阪大学大学院 医学系研究科 齋藤茂芳 先生 「先端的なMRI技術を用いた医療技術開発とがん治療への応用」 参加者199名	http://web.shs.kyushu-u.ac.jp/~mp/

6. 特筆すべき実績受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料

❖ 検査技術科学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
令和4年4月27日	検査技術科学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録
令和4年5月25日			
令和4年6月29日			
令和4年8月31日			
令和4年9月28日			
令和4年10月26日			
令和4年11月30日			
令和4年12月21日			
令和5年1月25日			
令和5年2月22日			
令和5年3月29日			

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
令和4年4月5日	新入生研修	新入生に対し入学時ガイダンスおよび研修を実施した。	分野会議議事録
令和4年11月24日	九大病院検査部との 臨地実習反省会	九州大学病院検査部部长、技師長、副技師長、臨地実習担当の臨床検査技師の部署責任者と、保健学部門検査技術科学分野教員間で、令和4年度臨地実習の実施状況報告と令和5年度の実施計画について討議した。	分野会議議事録
令和4年9月26日, 27日	大学院博士課程・ 修士課程中間発表会	修士課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表を行った。	分野会議議事録
令和4年12月24日	卒業研究発表会	医学部保健学科検査技術科学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。	分野会議議事録
令和4年4月26日 令和4年7月31日 令和4年9月11日 令和4年11月13日 令和5年1月8日	国家試験模擬試験	検査技術科学専攻4年生の臨床検査技師国家試験対策として、2回の校内模試と3回の国試業者模試を実施した。	分野会議議事録
令和5年2月2日, 3日	修士課程論文審査会	修士課程大学院生の修士論文審査会が行われた。	分野会議議事録

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
令和4年10月28日	The 17th International Forum of Health Sciences, Student Meeting	中村安秀先生（公益社団法人日本WHO協会 理事長）を招聘してSpecial Lecture “Global health-minded health professionals: Primary Health Care and Planetary Health for no one left behind” のオンライン講演を依頼した。その後分野ごとにstudent meetingを実施し意見交換を行った。	地域国際連携・FD委員会議事録

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料

6. 特筆すべき実績受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料

3-1. 教員の活動：看護学分野

看護学分野

《統合基礎看護学》

教授	後藤 健一
教授	橋口 暢子
教授	藤田 君支
講師	丸山 マサ美
講師	松尾 和枝
講師	松永 由理子
講師	能登 裕子
講師	青本 さとみ
助教	中島 紀江
助教	吉田 恵美
助教	木原 深雪
助教	松本 美晴
助教	田中 さとみ
助教	相星 香
助教	藤田 香奈恵
助教	薬師寺 佳菜子
助教	道面 千恵子

1. 教育活動

1. 大学院講義

臨床看護学特論Ⅰ(分担)	後藤	通年
臨床看護学特論Ⅱ(分担)	後藤	通年
健康支援ケアシステム論Ⅰ	後藤	前期
健康支援ケアシステム論Ⅱ(分担)	後藤	後期
国際社会とチーム医療(分担)	後藤	前期
ヘルスサイエンス論(分担)	後藤	前期
看護教育方法開発学Ⅰ	橋口	前期
看護教育論	橋口	前期
基礎看護学特論Ⅰ	橋口	前期
看護研究方法論Ⅰ(分担)	橋口	春学期
看護組織・マネジメント論(分担)	橋口	後期
基礎看護学特論Ⅱ	橋口	後期
臨床看護学特論Ⅰ	藤田(君)	通年
臨床看護学特論Ⅱ	藤田(君)	通年
健康支援ケアシステム論Ⅰ(分担)	藤田(君)	前期
健康支援ケアシステム論Ⅱ	藤田(君)	後期
保健学研究論(分担)	藤田(君)	前期
Health Science Research(分担)	藤田(君)	前期

医療と生命倫理	丸山	後期
生命倫理学	丸山	前期
看護組織・マネジメント論	松尾	後期
看護教育論(分担)	松尾	前期
臨床看護学特論Ⅰ(分担)	松永	通年
臨床看護学特論Ⅱ(分担)	松永	通年
看護研究方法論Ⅱ	松永	夏学期
健康支援ケアシステム論Ⅰ(分担)	松永	通年
健康支援ケアシステム論Ⅱ(分担)	松永	通年
看護教育論(分担)	能登	前期
看護研究方法論Ⅱ(分担)	能登	夏学期
看護組織・マネジメント論(分担)	能登	後期
看護研究方法論Ⅱ(分担)	田中	夏学期
看護研究方法論Ⅱ(分担)	藤田(香)	夏学期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

国際プレゼンテーション	後藤	通年
看護学特別研究	橋口	通年
保健学特別研究	橋口	通年
国際プレゼンテーション	橋口	通年
看護教育方法開発学Ⅱ	橋口	後期
保健学特別研究	藤田(君)	通年
看護学特別研究	藤田(君)	通年
国際プレゼンテーション	藤田(君)	通年
看護学特別研究	丸山	通年

4. 大学院修士課程修了者

松村 美奈	Exercise Self-Efficacy Scale (ESES) の日本語版における信頼性・妥当性の評価
古賀 悦子	終末期がん患者への看護師のコミュニケーションに関する研究 -マイクロカウンセリング技法に焦点をあてた看護の一考察-

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

系統医学Ⅱ:腎・高血圧	後藤	後期
国際保健と医療(分担)	後藤	後期
終末期医療・ターミナルケア論(分担)	後藤	後期
医学総論Ⅰ(分担)	後藤	冬学期
医学総論Ⅱ(分担)	後藤	冬学期
臨床病態学	後藤	後期
公衆衛生学	後藤	春学期
人体の構造と機能Ⅰ	後藤	前期

臨床倫理(分担)	橋口	後期
看護研究Ⅱ(分担)	橋口	夏学期
看護理論(分担)	橋口	夏学期
看護学概論	橋口	春学期
看護過程論(分担)	橋口	後期
看護教育論	橋口	前期
成人慢性期看護論Ⅰ	藤田(君)	春学期
成人慢性期看護論Ⅱ	藤田(君)	前期
成人看護学概論	藤田(君)	秋学期
がん看護論	藤田(君)	夏学期
医療倫理・看護倫理	藤田(君)	夏学期
インフォームド・コンセント(分担)	丸山	前期
医療倫理学Ⅰ(分担)	丸山	後期
医療倫理学Ⅱ(分担)	丸山	後期
基幹教育セミナー	丸山	前期
バイオエシックス入門(春)集中講義(分担)	丸山	前期
バイオエシックス入門(夏学期)(分担)	丸山	前期
課題協学科目	丸山	後期
コミュニケーション論	丸山	冬学期
公衆衛生看護管理論(分担)	松尾	秋学期
看護管理	松尾	秋学期
看護学概論(分担)	松尾	春学期
成人急性期看護論Ⅰ	松永	春学期
成人急性期看護論Ⅱ	松永	前期
成人看護学概論(分担)	松永	秋学期
クリティカルケア論	松永	秋学期
看護研究Ⅰ(分担)	能登	春学期
看護理論(分担)	能登	夏学期
看護過程論	能登	後期
精神看護学概論	青本	冬学期
精神保健・疾病論	青本	前期
医療倫理・看護倫理(分担)	青本	夏学期
精神看護学各論	青本	前期
精神看護学各論(分担)	中島	前期
精神保健・疾病論(分担)	中島	前期
成人急性期看護論Ⅰ(分担)	吉田	春学期
成人急性期看護論Ⅱ(分担)	吉田	前期
クリティカルケア論(分担)	吉田	秋学期
成人慢性期看護論Ⅱ(分担)	吉田	前期
精神保健・疾病論(分担)	木原	前期
看護研究Ⅰ(分担)	松本	春学期
看護理論	松本	夏学期
看護管理(分担)	松本	秋学期
看護過程論(分担)	松本	後期
成人慢性期看護論Ⅱ(分担)	田中	前期

がん看護論(分担)	田中	夏学期
成人看護学概論(分担)	田中	秋学期
成人急性期看護論Ⅱ(分担)	田中	前期
成人慢性期看護論Ⅰ(分担)	相星	春学期
成人慢性期看護論Ⅱ(分担)	相星	前期
成人慢性期看護論Ⅰ(分担)	薬師寺	春学期
成人慢性期看護論Ⅱ(分担)	薬師寺	前期
看護学概論(分担)	道面	春学期
看護理論(分担)	道面	夏学期
看護研究Ⅰ(分担)	道面	春学期
看護過程論(分担)	道面	後期
看護過程論(分担)	藤田(香)	後期

7. 学部の実験・実習・演習

基礎看護技術学Ⅰ(分担)	橋口	前期
基礎看護学実習Ⅰ	橋口	前期
基礎看護技術学Ⅱ(分担)	橋口	後期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	橋口	後期
老年看護学実習(分担)	藤田(君)	前期
看護研究Ⅳ アドバンス	藤田(君)	通年
成人・老年看護学実習Ⅰ	藤田(君)	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ(分担)	藤田(君)	後期
インフォームド・コンセント(分担)	丸山	前期
医療倫理学Ⅰ(分担)	丸山	後期
医療倫理学Ⅱ(分担)	丸山	後期
基幹教育セミナー	丸山	前期
基礎看護技術学Ⅰ(分担)	松尾	前期
基礎看護技術学Ⅱ(分担)	松尾	後期
総合実習(分担)	松尾	前期
看護過程論(分担)	松尾	後期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	松尾	前期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	松尾	後期
看護研究Ⅲ(分担)	松尾	通年
成人・老年看護学実習Ⅰ(分担)	松永	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ	松永	後期
老年看護学実習(分担)	松永	前期
総合実習(分担)	松永	通年
基礎看護技術学Ⅰ(分担)	能登	前期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	能登	前期
総合実習	能登	前期
基礎看護技術学Ⅱ(分担)	能登	後期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	能登	後期
精神看護学実習(分担)	青本	後期
総合実習(分担)	青本	前期
老年看護学実習(分担)	吉田	前期

成人・老年看護学実習Ⅰ(分担)	吉田	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ(分担)	吉田	後期
総合実習(分担)	吉田	通年
基礎看護技術学Ⅰ	松本	前期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	松本	前期
基礎看護技術学Ⅱ(分担)	松本	後期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	松本	後期
総合実習(分担)	松本	前期
成人・老年看護学実習Ⅰ(分担)	田中	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ(分担)	田中	前期
総合実習(分担)	田中	前期
老年看護学実習(分担)	田中	前期
成人・老年看護学実習Ⅰ(分担)	相星	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ(分担)	相星	後期
老年看護学実習(分担)	相星	前期
総合実習(分担)	相星	前期
看護研究Ⅲ(分担)	薬師寺	前期
老年看護学実習(分担)	薬師寺	前期
成人老年看護学実習Ⅰ(分担)	薬師寺	後期
成人老年看護学実習Ⅱ(分担)	薬師寺	後期
総合実習(分担)	薬師寺	前期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	道面	前期
基礎看護技術学Ⅰ(分担)	道面	前期
基礎看護学実習Ⅱ	道面	後期
基礎看護技術学Ⅱ	道面	後期
総合実習(分担)	道面	前期
看護研究Ⅲ(分担)	道面	通年
総合実習(分担)	中島	前期
精神看護学実習(分担)	中島	後期
基礎看護技術学Ⅰ(分担)	藤田(香)	前期
基礎看護技術学Ⅱ(分担)	藤田(香)	後期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	藤田(香)	前期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	藤田(香)	後期
総合実習(分担)	藤田(香)	前期

8. 卒業論文作成者

林 みなみ	日本の医療機関における診療看護師(NP: Nurse Practitioner)の現状と今後の課題に関する研究
北野 真衣	外来化学療法を受ける患者に対して求められるセルフケア行動支援について
森下 怜美	成人を対象とした静脈穿刺の成功・不成功の関連要因
林田 菜穂	医療従事者の個人防護具着用が熱ストレス及び作業パフォーマンスに及ぼす影響
前岡 彩芽	へき地で看護・医療を行う看護師が抱える困難
角 結菜	被災後の経過とともに出現した乳幼児の反応
日高 彩美	災害時における糖尿病患者の困難と病状悪化の要因について
西村 柚香	摂食障害患者に対する認知行動療法的介入における看護師の関わり

山内 美央	統合失調症のきょうだいの抱える思いと必要な支援について
宮里 果那	思春期のうつ病発症の要因に関する文献検討
園田 夏紀	認知症高齢者における疼痛評価スケールに関する文献検討
畑村 佳奈	感染症流行下における看護師のバーンアウトへの効果的な対策－COVID-19 の現状から－
東 葉月	頭頸部癌に対する化学放射線療法に伴う口腔粘膜炎の予防とケア－患者が日常的に行うことのできる予防に焦点を当てて－
野尻 万琴	看護学生が臨地実習中に遭遇するインシデントの実態に関する文献検討
内藤 朱里	がん性疼痛がある患者に対する麻薬の服薬指導の現状
本田 怜奈	肝臓・腎臓移植後レシピエントの自己管理行動の実態と関連要因に関する文献検討
品川 雪乃	生体間臓器移植におけるドナーの QOL に関する文献検討
山口 璃珠	造血幹細胞移植患者の QOL に関する文献検討
木本 らら	造血幹細胞移植を受ける患者の体験や思いについての文献検討
酒井 里奈	2 型糖尿病患者の自己効力感が自己管理にもたらす影響に関する文献検討
稲毛 龍太郎	高齢者の服薬の状況と支援に関する文献検討
細川 舞音	小児における主観的疼痛評価に関する文献検討
近藤 舞	炎症性腸疾患患者の就業上の困難と支援に関する文献検討
中村 美紀	看護場面におけるコミュニケーションに関する文献検討－非言語に焦点を当てて－
山下 莉奈	月経周期が女性のパフォーマンスに与える影響
上田 有紗	周術期における術後の口腔ケアの実態と有効性についての文献検討
平 静	高齢者の大腿骨骨折経験と退院後の生活の再構築における心身の変化
那須 真那	意思決定における事前指示書の可能性に関する文献検討－心不全患者・家族の看護に焦点を当てて－
衣笠 真由	外科手術を受けたがん患者と家族の体験と支援について
稲満 咲子	チーム医療によるせん妄予防・治療のための介入内容と効果
照喜名広海	外国人患者への看護で重要となる文化の違いに関する文献検討
小椋 夏樹	2 型糖尿病患者が自宅での食事療法を継続する為に必要な要因と看護介入の検討
権藤 みづき	急性期のせん妄患者の家族の体験と家族に対する看護
加来 美遥	地域在住高齢者の買い物・食事摂取状況と身体機能との関連についての文献検討
末崎 美風	経カテーテル的大動脈弁置換術後患者の QOL に関する検討
小嶋 龍葵	男性看護師が感じる困難に関する文献検討

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

道面 バスケットボール(保健学科)

3. 研究活動

1. 主要研究事項

- | | | |
|---|---------------------|----|
| 1 | 高血圧予防のためのデータベース活用研究 | 後藤 |
| 2 | 家庭血圧と臓器障害に関する研究 | 後藤 |

3	心血管疾患発症予防につながる危険因子・防御因子の同定に関する研究	後藤
4	高血圧と血管内皮機能障害	後藤
5	医療従事者における個人防護衣着用と熱ストレス	橋口
6	医薬品添付文書の活用における実態とその要因	橋口
7	女性の下肢疲労、むくみ発生に関する研究	橋口
8	低強度身体活動量の尺度開発	藤田(君)
9	人工股関節全置換術患者における身体活動量	藤田(君)
10	がん患者の周術期口腔ケアと感染制御に関する研究	藤田(君)
11	コミュニケーション教育・研究－看護のためのマイクロカウンセリング－	丸山
12	古医書・貴重書の書誌的研究－史料を活用した倫理教育・研究－（九州大学医学部における史料研究－新しい「医の倫理」教育方法論の構築－）	丸山
13	死生観の国際比較研究	丸山
14	生殖補助医療における生命倫理研究	丸山
15	緑内障患者の視線動向に関する研究	松尾
16	看護職のキャリアディベロップメントに向けた支援の検討	松尾
17	認知症と視覚情報との関連についての研究	松尾
18	緑内障患者の点眼アドヒアランス向上に関する研究	松尾
19	婦人科がん治療後で下肢リンパ浮腫のある患者の低強度を含む身体活動量と睡眠、および健康関連 QOL の評価	松永
20	座位行動・軽強度活動に関する研究	松永
21	Based Ergonomics によるセンサーデバイスを用いた看護場面の測定・検証・評価	能登
22	高齢者の転倒予防に向けた運動感覚・日常生活動作モニターによる運動機能評価	能登
23	精神障がい者と生活する家族員と共に行う心理教育プログラムの開発－診断後間もない時期の単家族に焦点を当てて－	青本
24	成人女性における月経周期に伴う下肢のむくみの発現変化と女性ホルモンとの関係	中島
25	ライフステージからみる成人女性における下肢のむくみと月経周期の関連	中島
26	糖尿病透析予防指導外来における身体活動量の介入支援	吉田
27	依存症中間施設通所者の回復促進方法の検討	木原
28	アルコール依存症者の感情体験	木原
29	末梢静脈カテーテル留置における効果的な静脈怒張を促すための研究	松本
30	新型コロナウイルス流行禍における臓器移植後患者の感染予防と抑うつに関する研究	田中
31	肝移植患者の身体活動量と QOL に関する研究	田中
32	家族看護学全般に関する研究難治性疾患患者・家族の支援臨床看護師の教育・研究活動に関する研究	相星
33	日本語版 15D 尺度の信頼性・妥当性の検証	薬師寺
34	人工関節全置換術患者におけるデジタルヘルスを活用した看護支援モデルの構築	薬師寺
35	日本における国民皆保険制度における人工股関節全置換術の費用対効果	薬師寺
36	人工関節患者における術前の期待とその到達度、QOL に関する調査	薬師寺
37	「看護の教育的関わりモデル」 PLC ・ 技法	道面

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

後藤 健一

- 「基盤研究(C)」多職種連携による高血圧発症予防に関する研究， 後藤(代表)
- 「基盤研究(B)」心房細動患者の至適降圧レベルを検討する無作為化比較試験， 後藤(分担)
- 「基盤研究(C)」若年高血圧に関連する口腔内・腸内細菌を探索し予防と治療につなげる研究， 後藤(分担)

橋口 暢子

- 「基盤研究(C)」Sleep Health の概念を用いた CPAP アドヒアランス向上への支援， 橋口(分担)
- 「基盤研究(C)」成人女性のライフサイクルにおける下肢のむくみと月経周期の関連， 橋口(分担)
- 「挑戦的研究(萌芽)」人間工学的アプローチによる看護師の情報取得向上を目指した医薬品情報のデザイン展開， 橋口(代表)
- 「基盤研究(B)」高齢者の入浴事故防止に向けた生活指導ガイドラインの作成， 橋口(代表)

藤田 君支

- 「基盤研究(C)」肝移植後の低活動ライフスタイルを変容する看護介入プログラムの開発， 藤田(君)(分担)
- 「基盤研究(B)」頭頸部がん術後を中心とした RCT による周術期口腔ケアの感染制御効果の検証， 藤田(君)(代表)
- 「基盤研究(C)」高齢糖尿病患者における座位行動改善への介入方法の開発と検証， 藤田(君)(分担)
- 「基盤研究(C)」C 型肝炎ウイルス排除後患者のセデンタリーライフスタイルと肝がん発症との関連， 藤田(君)(分担)
- 「基盤研究(C)」人工関節術後高齢者における身体不活動ライフスタイル予防の包括的看護モデルの開発， 藤田(君)(代表)
- 「基盤研究(C)」働き盛り世代の仕事と認知症介護の両立への備えを促す VR 学習プログラムの開発と検証， 藤田(君)(分担)
- 「基盤研究(C)」日常生活におけるノンエクササイズアクティビティを測定する尺度の開発と検証， 藤田(君)(分担)

松尾 和枝

- 「挑戦的研究(萌芽)」人間工学的アプローチによる看護師の情報取得向上を目指した医薬品情報のデザイン展開， 松尾(分担)
- 「若手研究」原発開放隅角緑内障患者の主観的・客観的視覚を基盤とした治療支援プログラムの開発， 松尾(代表)

松永 由理子

- 「基盤研究(C)」日常生活におけるノンエクササイズアクティビティを測定する尺度の開発と検証， 松永(代表)

- 「基盤研究(C)」慢性閉塞性肺疾患患者の自己管理能力における精神・心理的特性の実践的分析，松永(分担)
- 「基盤研究(C)」慢性閉塞性肺疾患管理に特化した自己効力感尺度の開発とその臨床応用可能性の検討，松永(分担)
- 「基盤研究(C)」人工関節術後高齢者における身体不活動ライフスタイル予防の包括的看護モデルの開発，松永(分担)
- 「基盤研究(C)」在宅の要介護高齢者と家族介護者への補完代替療法としての有効な看護介入モデルの開発，松永(分担)
- 「基盤研究(B)」COPD プロアクティブリサーチシステム構築のための横断的、および縦断的探索，松永(分担)

能登 裕子

- 「基盤研究(C)」リスクゼロ段階からの転倒予防介入指針の開発-身体感覚と運動機能のズレによる層別化，能登(代表)

中島 紀江

- 「基盤研究(C)」成人女性のライフサイクルにおける下肢のむくみと月経周期の関連，中島(代表)
- 「基盤研究(C)」ライフステージからみる成人女性における下肢のむくみと月経周期の関連，中島(分担)

吉田 恵美

- 「研究活動スタート支援」糖尿病透析予防指導外来における低活動患者への身体活動量の介入支援，吉田(代表)

木原 深雪

- 「基盤研究(C)」アルコール依存症者の感情活用能力育成プログラムの開発と有効性の検討，木原(代表)

松本 美晴

- 「若手研究」PIVC における穿刺静脈の血管怒張を促すために有効な温罨法の加温条件の検討，松本(代表)

田中 さとみ

- 「研究活動スタート支援」新型コロナウイルス流行禍における臓器移植後患者の感染予防と抑うつに関する研究，田中(代表)
- 「基盤研究(B)」頭頸部がん術後を中心とした RCT による周術期口腔ケアの感染制御効果の検証，田中(分担)
- 「基盤研究(C)」肝移植後の低活動ライフスタイルを変容する看護介入プログラムの開発，田中(分担)

薬師寺 佳菜子

- 「基盤研究(B)」頭頸部がん術後を中心とした RCT による周術期口腔ケアの感染制御効果の検証, 薬師寺(分担)
- 「研究活動スタート支援」人工膝/股関節全置換術患者におけるデジタルヘルスを活用した看護支援モデルの構築, 薬師寺(代表)

3. 学内研究経費の受入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ なし

5. その他の外部研究資金の受入れ

後藤健一

- 日本医療開発機構(AMED) 高血圧発症予防に向けた先制保健介入モデルの開発, 後藤(分担)

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

○ 学会誌・学術専門誌

- 中島紀江, 檜木ゆうか, 立石礼望, 藤田香奈恵, 松本美晴, 松尾和枝, 小崎智照, 橋口暢子: 成人女性における下肢のむくみと月経周期の関連, 女性心身医学, 27, 3, 295 - 304, 2023 年 03 月.
- Nobuko Hashiguchi, Yutaka Tochihara, Akira Takeda, Yukari Yasuyama: Effects of indoor summer dehumidification and winter humidification on the physiological and subjective responses of the elderly, JOURNAL OF THERMAL BIOLOGY, 111, , - , 2023 年 01 月.
- Miharu Matsumoto, Nobuko Hashiguchi, Hiromitsu Kobayashi: Short- and long-term reproducibility of peripheral superficial vein depth and diameter measurements using ultrasound imaging., BMC Med Imaging, 22, 1, - , 2022 年 12 月.
- Yutaka Tochihara, Hitoshi Wakabayashi, Joo-Young Lee, Titis Wijayanto, Nobuko Hashiguchi and Mohamed Saat: How humans adapt to hot climates learned from the recent research on tropical indigenes, Journal of Physiological Anthropology, 41, 27, - , 2022 年 07 月.
- Rumi Tanaka, Kanako Y, Satomi Tanaka, Michihiro Tsubaki, Kimie Fujita: Reliability and Validity of Light-Intensity Physical Activity Scales in Adults: A Systematic Review, Measurement in Physical Education and Exercise Science, 27, 2, 136 - 150, 2022 年 09 月.

- Satomi Tanaka, Kimie Fujita, Kanako Yakushiji, Noboru Harada, Tomoharu Yoshizumi: Changes in Physical Activity Due to Fear of COVID-19 and Its Impact on Depression Among Post-Liver Transplant Patients in Japan: A Longitudinal Survey Study, *Ann Transplant*, 27, , 1 – 9, 2022 年 12 月.
- Miki Nagafuchi, Hirokazu Takahashi, Keizo Anzai, Miki Hidaka, Tsuyoshi Matsushita, Kimie Fujita: Tailored notification encouraging examinees with abnormal glucose levels in health checkups to seek medical care, *Diabetology International*, 13, , 262 – 271, 2022 年 06 月.
- Michio Ando, Hiroko Kukihara, Masami Maruyama, Ilhak Lee, Niwako Yamawaki: Comparison of concept about Good Death and view of life and death among Japanese, Korea, and American at COVID-19, *World Journal of Nursing Research*, , 2022 年 04 月.
- Shojiro Egoshi, Jun Horie, Akinori Nakagawa, Yuriko Matsunaga, Shinichiro Hayashi: Relationships of walking and non-walking physical activities in daily life with cognitive function and physical characteristics in male patients with mild chronic obstructive pulmonary disease, *Clin Med Insights Circ Respir Pulm Med.*, , 2022 年 12 月.
- Kohei Kajiwara , Jun Kako J, Makoto Yamanaka, Hiroko Noto: Palliative Care among Informal Caregivers on Persons with Dementia: A Systematic Review, *Japanese journal of international nursing care research*, 21, 1, 91 – 99, 2022 年 04 月.
- 吉田 恵美, 薬師寺 佳菜子, 永渕 美樹, 田中 るみ, 梶野 美保, 藤田 君支: 後方視的調査による糖尿病透析予防指導と血糖管理および腎機能との関連, *日本糖尿病教育・看護学会誌*, 26, 2, 121 – 128, 2022 年 11 月.
- Rumi Tanaka, Kanako Yakushiji, Satomi Tanaka, Michihiro Tsubaki, Kimie Fujita: Reliability and Validity of Light-Intensity Physical Activity Scales in Adults: A Systematic Review, *Taylor & Francis*, , 2022 年 04 月.
- Miyako Oike, Chieko Domen: Survey report on the development of a competency model for nurse educators in Japan, *日本医学看護学教育学会誌*, , 2022 年 04 月.

○ 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Yuriko Matsunaga-Myoji, Kimie Fujita, Yasuko Tabuchi , Masaaki Mawatari: Relationship between daily physical activity and health-related quality of life after revision total hip arthroplasty, *EAFONS 2022*, 2022 年 04 月, Taiwan.
- Yuriko Matsunaga-Myoji, Kimie Fujita, Yasuko Tabuchi, Shuya Ide, Masaaki Mawatari: Knee function and health-related quality of life in older patients after total knee arthroplasty in Japan, *EAFONS 2023*, 2023 年 03 月, Japan.
- Kanako Yakushiji, Satomi Tanaka, Yuriko Matsunaga-Myoji, Kimie Fujita: Fulfillment of expectations and satisfaction in patients who have undergone total hip arthroplasty in Japan, *EAFONS 2022*, 2022 年 04 月, Taiwan.

- Miyuki Ushio, Kiyoko Makimoto, Chiyo Matsuoka, Kimie Fujita, Satomi Tanaka: Amount of physical activity in daily life after liver transplant and gender differences in physical activity, EAFONS2023, 2023年03月, Japan.
 - Satomi Tanaka, Kanako Yakushiji, Kimie Fujita: Fear, attitudes, physical activity in liver transplant patients during the coronavirus disease 2019 pandemic, The 25TH East Asian Forum of Nursing Scholars Conference (EAFONS 2022), 2022年04月, Taiwan.
- **大学・研究機関などの刊行誌** なし
- **調査研究報告**
- Kageyu Noro, Marino Menozzi, Akihisa Watanabe, Hideki Oyama, Hiroko Noto, et al: Report of the International Symposium on Medical Care and Ergonomics, JES System Conference 2022(分担執筆), 人間工学, 2022年06月.
- **国内学会での講演, 発表**
- 井上美奈子, 後藤健一, 北園孝成: 本邦の職域男性において、朝食抜きと喫煙の習慣が肥満発症に与える影響, 第15回福岡県医学会総会, 2023年02月, .
 - 井上美奈子, 土橋卓也, 坂田智子, 荒川仁香, 富永光裕, 有馬久富, 後藤健一, 北園孝成: 妊婦における食塩・カリウム摂取量が妊娠高血圧症候群の発症に及ぼす影響, 第44回日本高血圧学会総会, 2022年10月, 国立京都国際会館.
 - 井上美奈子, 坂田智子, 有馬久富, 大和いくみ, 茨木愛, 後藤健一, 北園孝成: 日本人職域男性において、朝食抜き・喫煙の習慣が肥満発症に与える影響, 第44回日本高血圧学会総会, 2022年10月, 国立京都国際会館.
 - 松本美晴, 橋口暢子, 小林宏光: 末梢静脈カテーテル留置を成功に導くための熟練看護師のわざ, 日本看護技術学会 第20回学術集会 講演抄録集 P91, 2022年11月, オンライン開催.
 - 橋口暢子, 若林斉, 安永幸枝, 濱田正美, 甲斐梓, Titis Wijayanto: 看護師の個人防護具着用時の熱ストレスとその関連要因, 日本生理人類学会第83回大会(京都大学) P1-04, 2022年10月, .
 - 丸山マサ美: 博多人形師と解剖学ー博多人形師と九州帝国大学医科大学解剖学教室櫻井恒次郎教授“美術解剖学”ー, 六史学会, 2022年12月, 順天堂大学.
 - 古賀悦子, 丸山マサ美: 終末期医療のコミュニケーションに関する研究ーマイクロカウンセリング技法に焦点をあてた看護の一考察ー, 日本生命倫理学会, 2022年11月, 関西学院大学.
 - 丸山マサ美: 博多人形師と解剖学ー博多人形師と九州帝国大学医科大学解剖学教室櫻井恒次郎教授“美術解剖学”ー, 日本看護歴史学会, 2022年08月, 東京 KFC Hall.
 - 丸山マサ美, 木村利人, 鈴木美香, 川勝和哉: 高・大学連携におけるバイオエシックス教育, 日本生命倫理学会, 2022年11月, 関西学院大学.
 - 松尾和枝: 開放隅角緑内障患者が点眼治療中断に至る理由の質的探索的研究, 第38回日本視機能看護学会学術総会, 2022年11月, 広島.

- 能登裕子、村木里志：地域高齢者の運動感覚と日常生活動作モニターによる運動機能評価，日本人間工学会第63回大会，2022年07月，尾道市役所本庁舎(広島県尾道市)。
- 能登裕子：気軽に実験しませんか Part III(教育講演)～看護技術における実験研究のひろがり～Session2 看護操作における接触圧力測定の実際と実験研究への可能性，第4回看護人間工学会学術集会，2022年09月，森ノ宮医療大学。
- 池田 智，増満 誠，青本 さとみ，山下 真範，掛田 遥，田代 恵莉，清田 由起子，松枝美智子：COVID-19 感染拡大「第5波」時における病院看護職員の基本属性と離職意向の関連，日本看護研究学会 第48回学術集会，2022年10月，。
- 吉田 恵美，藤田 君支：糖尿病透析予防指導外来における初回指導と指導効果，第27回日本糖尿病教育・看護学会学術集会，2022年09月，。
- 井上智恵，長谷川直人，岡美智代，近藤ふさえ，滝口成美，道面千恵子，安酸史子，小林貴子，小平京子，小田和美，太田美帆，伊藤ひろみ，伊波早苗，横山悦子，東めぐみ，大澤栄実，恩幣宏美：療養支援が”すんなりいかない”ときの突破口～看護の教育的関わりモデルの「教育的関わり技法」，第27回日本糖尿病教育・看護学会学術集会，2022年09月，大阪国際会議場(ハイブリット開催)。

○ 学会以外での講演，発表

- 後藤健一：健康経営と健康管理，西日本鉄道安全衛生大会，2023年02月，。
- 後藤健一：保健学部門における国際化推進への取り組み，第6回 医系地区 国際化フォーラム，2023年3月
- 吉田恵美：第40回日本循環器看護学会教育セミナー「慢性腎臓病(CKD)を持つ患者のケア」，日本循環器看護学会，セミナー・研修会，2022年6月。

著作

1. 単行本

- 前田ひとみ、若村智子、初治沙矢香、夏目美貴子、小松万喜子、松本智晴、小島大資、操華子、糸川紅子、習田明裕、野村亜由美、前田耕助、鶴田明美、橋口暢子、山本麻起子：(共著) 看護研究 ナーシング・グラフィカ 基礎看護学④ 7章 研究成果のまとめと公表，2023年01月，メディカ出版。
- 橋口暢子ほか：人間の許容・適応限界事典，2022年11月，朝倉書店。
- 坂井健雄、丸山マサ美ほか：(共著) 医学史事典日本医史学会編，2022年07月，。
- 能登裕子：(共著) 付録 静脈路確保、安部真治 他編、新・医用放射線技術実験 臨床編 第4版(第5刷)，2023年02月，共立出版。
- 能登裕子：(共著) 第VIII章生活・健康-21. 看護・介護、村木里志他編、人間の許容・適応限界辞典，2022年11月，朝倉書店。

2. 総説

- 後藤健一：高血圧緊急症と切迫症，臨床と研究，2023年01月。

- Kenichi Goto and Takanari Kitazono: Chloride Ions, Vascular Function and Hypertension, Biomedicines 2022, 10(9), 2316;; 2022年09月.

3. 解説, 書評など

- Kenichi Goto, Takanari Kitazono: Alterations in Vascular Chloride Channels and Transporters, Encyclopedia, 2022年09月.
- 丸山マサ美: 井口潔先生の“白寿記念桜”, NPO ヒトの教育の会, 2022年04月.
- 徳重あつ子, 工藤大祐, 能登裕子, 伊部亜希, 水戸優子, 野呂影勇: 第4回 看護人間工学会学術集会 教育講演 気軽に実験しませんか Part III～看護技術における実験研究のひろがり～(分担執筆), 看護人間工学会誌, 2023年03月.
- 吉田恵美: ちがいがわかる食事・体重・服薬管理 保存期腎不全と透析導入期のセルフケア支援 6 栄養管理, 透析ケア, 29(3), 2023年02月.

受賞 なし

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究 なし
2. 受託研究 なし
3. 取得特許 なし
4. 兼業 なし
5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張 なし
2. 外国人研究者の受入れ
 - 訪問教授・研究員 なし
 - 訪問研究者 なし
3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 橋口, 基幹 CHC 倫理専門委員会委員.
- 橋口, 研究活動基礎支援専門委員.
- 丸山, QFC-SP 委員.

2. 部局委員

- 後藤, 病院地区国際推進室室長.
- 橋口, 模擬患者養成専門部会委員.
- 橋口, 模擬患者養成部会委員.
- 橋口, 看護キャリアセンター会議 副委員長.
- 藤田(君), 看護キャリアセンター会議 委員
- 丸山, 安全・衛星委員会委員.
- 丸山, 保健学科看護学専攻 19 期担任.
- 能登, 百人部会委員.
- 田中, 看護学専攻卒業研究委員.
- 薬師寺, Kite Net/LAN 管理担当.

3. 部門・コース内委員

- 後藤, 保健学部門地域・国際連携委員会委員長.
- 後藤, 統合基礎看護学講座講座長.
- 後藤, 看護学分野国際 WG 委員長.
- 橋口, 実習委員.
- 橋口, 財務委員会委員.
- 橋口, 入試実施委員.
- 橋口, 分野長.
- 橋口, 看護学分野国際 WG 委員.
- 橋口, 人事委員会・教員活動評価委員会委員.
- 藤田(君), 財務委員会委員.
- 藤田(君), 施設・環境委員長
- 藤田(君). 実習委員長
- 松永, 実習委員.
- 能登, 将来計画、点検・評価・年報委員.
- 青本, 実習委員(後期)
- 松本, 地域国際連携・FD 実行委員.
- 田中, 広報委員会委員.

- 相星, 統合基礎看護学講座会計.
- 相星, 地域・国際連携推進・FD 実行委員.
- 道面, 九州大学医学部保健学科二十周年記念誌編集委員.
- 道面, 看護研究委員.
- 道面, 実習委員.
- 吉田, 九州大学病院看護キャリアセンター運営委員会構成員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 橋口, 放送大学, 客員教員.
- 藤田(君), 京都大学大学院, 非常勤講師
- 藤田(君), メンタルヘルスケア・スペシャリスト養成講座, 非常勤講師
- 丸山, 聖マリア学院大学大学院修士課程, 非常勤講師.
- 丸山, 純真学園大学, 非常勤講師.
- 松尾, 福岡県保健医療介護部医療指導課医師・看護職員確保室/福岡県専任教員養成講習会, 非常勤講師.
- 松尾, 放送大学, 非常勤講師.
- 能登, 福岡県看護協会新人看護職員教育担当者研修, 集中講義.
- 能登, 福岡県看護協会認定看護管理者教育課程ファーストレベル, 集中講義.
- 青本, 福岡看護高等専修学校, 非常勤講師.
- 吉田, 九州大学病院腎疾患治療部, 日本腎臓財団透析療法従事職員研修, 講師.

2. 学協会

- 後藤, 日本高血圧学会, デジタル技術を活用した血圧管理に関する指針 指針作成委員, 国内.
- 後藤, 日本高血圧学会, 専門医資格・施設認定・カリキュラム小委員会委員, 国内.
- 後藤, 日本高血圧学会, 専門医制度委員会委員, 国内.
- 後藤, 日本高血圧学会, 診療・保険委員会委員, 国内.
- 後藤, 日本高血圧学会, 評議員, 国内.
- 橋口, 日本看護科学学会, 代議員, 国内.
- 橋口, 日本看護技術学会, 編集委員, 国内.
- 橋口, 人間一生活環境系学会, 理事, 国内.
- 藤田(君), Japan Journal of Nursing Science, 編集委員, 国際.
- 藤田(君), 日本看護科学学会, 表彰委員, 代議員, 国内.
- 藤田(君), 日本看護研究学会, 評議員, 国内.
- 藤田(君), 日本糖尿病教育・看護学会, 編集委員, 代議員, 国内.
- 藤田(君), 日本老年看護学会, 評議員, 国内.
- 藤田(君), 日本慢性看護学会, 評議員, 国内.
- 丸山, 日本生命倫理学会, 評議員, 国内.
- 丸山, 日本看護歴史学会, 理事長(研究推進委員会・渉外委員会・六史学会), 国内.

- 丸山, 日本医学哲学倫理学会, 国内学術交流委員会委員, 国内.
- 丸山, 日本医学哲学倫理学会, 国際学術交流委員会委員, 国内.
- 丸山, 日本医学哲学倫理学会, 企画委員会委員, 国内.
- 松尾, 福岡県看護協会, 代議員, 国内.
- 松尾, 福岡県看護協会, 認定看護管理者教育運営委員会, 運営委員, 国内.
- 松尾, Phenomena in Nursing, 査読委員, 国内
- 松尾, 公益財団法人笹川保健財団, 研究助成審査委員, 国内
- 能登, 日本人間工学会, 理事, 国内.
- 能登, 日本人間工学会九州・沖縄支部, 理事, 国内.
- 能登, バイオメディカルファジイシステム学会, 監事, 国内.
- 能登, 日本人間工学会, 査読委員, 国内.
- 青本, 日本 CNS 学会, 評議員, 国内.
- 青本, 第 8 回日本 CNS 看護学会学術集会, 査読委員, 国内
- 青本, 福岡県実習指導者講習会, 講師, 国内
- 青本, 日本精神保健看護学会, 災害対策委員, 国内
- 吉田, 日本腎不全看護学会, 代議員, 国内.
- 吉田, 日本腎不全看護学会, 災害対策委員, 国内 .
- 薬師寺, 日本糖尿病教育・看護学会, 専任査読者, 国内.
- 相星, 日本家族看護学会第 29 回学術集会, 企画委員, 国内.
- 後藤, Frontiers in Physiology, 編集委員 (Editorial board of Vascular Physiology as Review Editor) , 国際.
- 橋口, 人間-生活環境系学会, 編集委員(英文誌編集委員) , 国内.
- 丸山, 日本医史学会, 編集委員 , 国内.
- 丸山, 日本看護歴史学会, 編集委員, 国内.
- 丸山, 日本看護研究学会, 査読委員, 国内.
- 丸山, Journal of Philosophy and Ethics in Health Care and Medicine, 編集委員, 国際.
- 丸山, Journal of Philosophy and Ethics in Health Care and Medicine, 査読委員 , 国際.
- 道面, 日本糖尿病教育・看護学会, 査読委員, 国内.

3. 官界

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 松永, 日本看護科学学会 (JANS) 若手の会 九州沖縄エリアコーディネーター.

5. 公開講座・公開講演会

- 後藤, 高血圧予防は生活習慣の改善から, 第 18 回 九州大学保健学科公開講座, 2022 年 10 月
- 後藤, Total management of Diabetes & Hypertension seminar, 2023 年 3 月
- 橋口, 実践漢方看護セミナー 日時:2022.11.12(土), 共催 九州大学病院 臨床教育研究センター きらめきプロジェクト/株式会社ツムラ 後援 九州大学病院看護部, TKP ガーデンシティ 博多より Web 配信, セミナー・研修会.

- 橋口, ステップアップセミナー 家庭内でも気をつけよう, 意外と多い不慮の事故 放送大学, 2023年2月

6. 初等中等教育への貢献

- 丸山, 令和4年度『ふくおか高校生知の創造塾』ファシリテーター, 講演・セミナー等.
- 丸山, QFC-SP 開講式、QFC プライマリコース講義 7月24日(日)九州大学 伊都キャンパス
- 丸山, 令和4年度科学倫理教育研修会 第1回運営指導委員会, 兵庫県立姫路東高等学校, 講演・セミナー等.
- 丸山, 高校生知の創造力育成セミナー事業 令和4年度「ふくおか高校生知の創造塾」第1回実施協議会 福岡県教育委員会主催, 福岡県庁行政1号館会議室, 講演・セミナー等.
- 丸山, QFC-SP(九州大学未来創成科学者育成プロジェクト)教員:Bio&Life コース

看護学分野

《広域生涯看護学》

教授	寺岡 佐和
教授	疋田 直子
教授	諸隈 誠一
教授	鳩野 洋子
准教授	前野 有佳里
准教授	植木 慎悟
講師	宮田 潤子
講師	岩木 三保
講師	末次 美子
講師	菊地 君与
助教	佐藤 洋子
助教	木村 一絵
助教	松藤 尋幹
助教	田代 恵莉
助教	藤井 紗也
助教	藤田 貴子
助教	酒井 久美子

1. 教育活動

1. 大学院講義

ヘルスサイエンス論(分担)	寺岡	前期
看護学研究方法論 I (分担)	寺岡	春学期
地域看護学特論 I (分担)	寺岡	前期
地域看護学特論 II	寺岡	後期
地域生活ケアシステム論 I (分担)	寺岡	前期
周産期の薬理学	疋田	冬学期
基礎助産学 I	疋田	前期
Women's Health 補完代替医療	疋田	春学期
Women's Health	疋田	春学期
助産管理 I	疋田	後期
先端医療論	諸隈	前期
看護研究方法論 I (分担)	諸隈	春学期
Women's Health	諸隈	春学期
母子発達ケアシステム論 I	諸隈	前期
病態情報解析学 I (分担)	諸隈	前期
発達看護学特論 II	諸隈	後期
助産診断・技術学 V	諸隈	秋学期
Women's Health ヘルスプロモーション特論 II	諸隈	秋学期
地域生活ケアシステム論 I	鳩野	前期

地域生活ケアシステム論Ⅱ(分担)	鳩野	後期
地域看護学特論Ⅰ	鳩野	前期
地域看護学特論Ⅱ(分担)	鳩野	後期
看護研究方法論Ⅰ	鳩野	春学期
地域看護学特論Ⅰ(分担)	前野	前期
地域生活ケアシステム論Ⅱ(分担)	前野	後期
看護研究方法論Ⅰ(分担)	前野	春学期
母子発達ケアシステム論Ⅰ(分担)	植木	前期
発達看護学特論Ⅰ	植木	前期
看護研究方法論Ⅰ(分担)	植木	春学期
発達看護学特論Ⅱ(分担)	植木	後期
周産期の薬理学(分担)	宮田	夏学期
発達看護学特論Ⅰ(分担)	宮田	前期
母子発達ケアシステム論Ⅰ(分担)	宮田	前期
基礎助産学Ⅰ(分担)	宮田	前期
先端医療論(分担)	宮田	前期
看護研究方法論Ⅱ(分担)	岩木	夏学期
地域看護学特論Ⅰ(分担)	岩木	前期
地域看護学特論Ⅱ(分担)	岩木	後期
地域母子保健Ⅰ	末次	後期
Women's Health ヘルスプロモーション特論Ⅰ	末次	後期
助産管理Ⅱ	末次	後期
助産マネジメント論Ⅱ	末次	後期
Women's Health (分担)	末次	前期
助産管理Ⅰ(分担)	末次	後期
助産マネジメント論Ⅰ(分担)	末次	後期
地域国際母子保健論Ⅱ	末次	冬学期
看護研究方法論Ⅱ(分担)	菊地	夏学期
Women's Health 補完代替医療(分担)	佐藤	春学期
助産診断・技術学Ⅴ(分担)	松藤	秋学期
助産診断・技術学Ⅴ(分担)	藤井	秋学期
Women's Health 補完代替医療(分担)	藤井	春学期
地域看護学特論Ⅰ(分担)	藤田(貴)	前期
地域看護学特論Ⅱ(分担)	酒井	後期
看護研究方法論Ⅱ(分担)	木村	夏学期
発達看護学特論Ⅰ(分担)	田代	前期

2. 大学院実験・実習

助産学実習Ⅰ	疋田	後期
助産学実習Ⅱ	疋田	後期
助産学総合実習Ⅰ(分担)	疋田	前期
助産学実習Ⅱ(分担)	末次	前期
助産学総合実習Ⅰ	末次	前期
助産学実習Ⅰ(分担)	末次	後期
助産学総合実習Ⅰ(分担)	佐藤	前期

助産学実習Ⅰ(分担)	佐藤	後期
助産学実習Ⅱ(分担)	佐藤	後期
助産学総合実習Ⅰ(分担)	松藤	前期
助産学実習Ⅰ(分担)	松藤	後期
助産学実習Ⅱ(分担)	松藤	後期
助産学総合実習Ⅰ(分担)	藤井	前期
助産学実習Ⅰ(分担)	藤井	後期
助産学実習Ⅱ(分担)	藤井	後期

3. 大学院演習

助産診断・技術学Ⅰ(分担)	疋田	前期
助産診断・技術学Ⅱ(分担)	疋田	前期
助産診断・技術学Ⅲ	疋田	前期
助産診断・技術学Ⅳ(分担)	疋田	前期
看護学特別研究	疋田	通年
国際プレゼンテーション	諸隈	通年
保健学特別研究	諸隈	通年
看護学特別研究	諸隈	通年
母子発達ケアシステム論Ⅱ	諸隈	後期
看護学特別研究	鳩野	通年
保健学特別研究	鳩野	通年
国際プレゼンテーション	鳩野	通年
助産診断・技術学Ⅰ	末次	前期
助産診断・技術学Ⅱ	末次	前期
助産診断・技術学Ⅲ(分担)	末次	前期
助産診断・技術学Ⅳ	末次	前期
看護学特別研究(末次講師)	末次	通年
看護学特別研究(菊地講師)	菊地	通年
助産診断・技術学Ⅰ(分担)	佐藤	前期
助産診断・技術学Ⅱ(分担)	佐藤	前期
助産診断・技術学Ⅲ(分担)	佐藤	前期
助産診断・技術学Ⅳ(分担)	佐藤	前期
助産診断・技術学Ⅰ(分担)	松藤	前期
助産診断・技術学Ⅱ(分担)	松藤	前期
助産診断・技術学Ⅲ(分担)	松藤	前期
助産診断・技術学Ⅳ(分担)	松藤	前期
助産診断・技術学Ⅰ(分担)	藤井	前期
助産診断・技術学Ⅱ(分担)	藤井	前期
助産診断・技術学Ⅲ(分担)	藤井	前期
助産診断・技術学Ⅳ(分担)	藤井	前期

4. 大学院修士課程修了者

平井 優衣	新型コロナウイルス感染症流行下における母親の抑うつ状態の関連要因
大力 舞	出産後の女性の出産体験の振り返りと出産体験満足度及び首尾一貫感覚との関係

永尾 昌美	不妊外来を受診する男性のプレコンセプションケア・ヘルスリテラシーの実態とその関連要因： 横断観察研究
石橋 綾乃	出産に関連する女性の思いに影響をもたらす助産師の関わり
藤本 紅葉	就労状況と児の栄養法に対する妊娠中の意思との関連
吉田 華奈	妊婦の自閉スペクトラム症傾向と児への愛着(ボンディング)との関連について
伊原 望美	月経前症候群／月経前不快気分障害と妊娠中のうつとの関連

5. 大学院博士課程修了者

松浦 仁美	Preventive role of community-level social capital in the need for long-term care and impairment in instrumental activities of daily living: a multilevel analysis
-------	---

6. 学部講義

国際保健と医療 (分担)	寺岡	後期
終末期医療・ターミナルケア論 (分担)	寺岡	秋学期
老年看護論各論Ⅱ (分担)	寺岡	前期
老年看護論各論Ⅰ	寺岡	冬学期
老年保健・疾病論	寺岡	秋学期
老年看護学概論	寺岡	夏学期
在宅看護論各論 (分担)	寺岡	前期
公衆衛生看護学概論 (分担)	寺岡	後期
公衆衛生看護管理論 (分担)	寺岡	秋学期
公衆衛生看護支援論Ⅱ (分担)	寺岡	前期
看護研究Ⅰ (分担)	寺岡	春学期
母性看護学概論	疋田	秋学期
国際保健と医療 (分担)	疋田	後期
人体の構造と機能Ⅱ	諸隈	前期
母性疾病論	諸隈	春学期
臨床医学論Ⅰ	諸隈	後期
臨床病態学 (分担)	諸隈	後期
国際保健と医療 (分担)	諸隈	後期
保健医療福祉行政論Ⅱ (分担)	鳩野	前期
疫学	鳩野	秋学期
公衆衛生看護学概論	鳩野	後期
公衆衛生看護活動展開論Ⅱ (分担)	鳩野	前期
公衆衛生看護活動展開論Ⅲ (分担)	鳩野	前期
在宅看護論各論	鳩野	前期
公衆衛生看護活動展開論Ⅰ	鳩野	夏学期
公衆衛生看護支援論Ⅱ	鳩野	前期
公衆衛生看護管理 (分担)	鳩野	秋学期
国際保健と医療 (分担)	鳩野	後期
看護研究Ⅰ	前野	春学期
看護研究Ⅲ (分担)	前野	通年
公衆衛生看護支援論Ⅰ (分担)	前野	春学期
公衆衛生看護支援論Ⅱ (分担)	前野	春学期
公衆衛生看護活動展開論Ⅱ	前野	前期

公衆衛生看護活動展開論Ⅲ	前野	前期
保健医療福祉行政論Ⅰ	前野	春学期
保健医療福祉行政論Ⅱ	前野	前期
公衆衛生看護管理(分担)	前野	秋学期
小児看護学概論	植木	冬学期
小児看護学各論Ⅰ	植木	前期
小児看護学各論Ⅱ	植木	前期
医療倫理・看護倫理(分担)	植木	夏学期
終末期医療・ターミナルケア論(分担)	植木	秋学期
臨床病態学(分担)	宮田	後期
臨床医学論Ⅱ	宮田	後期
総合診療・地域医療・性差医学入門(分担)	宮田	前期
総合医学Ⅲ 漢方診断学演習(分担)	宮田	後期
終末期医療・ターミナルケア論(分担)	宮田	秋学期
看護研究Ⅱ	宮田	夏学期
漢方医薬学	宮田	春学期
小児疾病論	宮田	前期
医学総論Ⅰ(分担)	宮田	秋学期
医学総論Ⅱ(分担)	宮田	冬学期
人体の構造と機能Ⅱ(分担)	宮田	前期
在宅看護論概論	岩木	秋学期
終末期医療・ターミナルケア(分担)	岩木	秋学期
疫学(分担)	岩木	秋学期
医療倫理・看護倫理(分担)	岩木	夏学期
公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担)	岩木	前期
在宅看護論各論(分担)	岩木	前期
看護研究Ⅱ(分担)	末次	夏学期
母性看護学各論Ⅰ	末次	後期
保健統計学	菊地	冬学期
看護研究Ⅱ	菊地	夏学期
国際保健と医療	菊地	後期
公衆衛生看護学概論(分担)	藤田(貴)	後期
公衆衛生看護支援論Ⅰ	藤田(貴)	春学期
公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担)	藤田(貴)	前期
看護研究Ⅰ(分担)	藤田(貴)	春学期
公衆衛生看護活動展開論Ⅲ(分担)	藤田(貴)	前期
保健医療福祉行政論Ⅱ(分担)	藤田(貴)	前期
公衆衛生看護活動展開論Ⅱ(分担)	藤田(貴)	前期
老年看護学概論(分担)	酒井	夏学期
在宅看護論各論(分担)	酒井	前期
老年看護学各論Ⅱ	酒井	前期
看護研究Ⅲ(分担)	酒井	前期
老年看護学概論(分担)	酒井	前期
老年保健・疾病論(分担)	酒井	秋学期
小児看護学概論(分担)	田代	後期

小児看護学各論Ⅰ(分担)	田代	後期
小児看護学各論Ⅱ(分担)	田代	前期
看護研究Ⅲ(分担)	田代	通年

7. 学部の実験・実習・演習

老年看護学実習(分担)	寺岡	前期
老年看護論各論Ⅱ(分担)	寺岡	前期
在宅看護論各論(分担)	寺岡	前期
総合実習(分担)	寺岡	前期
在宅看護論実習(分担)	寺岡	通年
母性看護学実習(分担)	疋田	後期
母性看護学各論Ⅱ(分担)	疋田	春学期
公衆衛生看護学実習Ⅰ(分担)	鳩野	前期
公衆衛生看護学実習Ⅱ(分担)	鳩野	前期
総合実習	鳩野	通年
在宅看護学各論(分担)	鳩野	前期
公衆衛生看護学実習Ⅰ(分担)	前野	前期
公衆衛生看護学実習Ⅱ(分担)	前野	前期
総合実習(分担)	前野	前期
小児看護学実習Ⅰ	植木	前期
小児看護学実習Ⅱ	植木	後期
総合医学Ⅲ 漢方診断学演習(分担)	宮田	後期
看護研究Ⅲ	宮田	通年
小児看護学実習Ⅰ(分担)	宮田	前期
小児看護学実習Ⅱ(分担)	宮田	後期
在宅看護論実習	岩木	通年
総合実習(在宅看護論)	岩木	前期
在宅看護論各論(分担)	岩木	前期
母性看護学実習(分担)	末次	後期
母性看護学各論Ⅱ(分担)	末次	春学期
母性看護学各論Ⅱ(分担)	佐藤	春学期
母性看護学実習	佐藤	後期
公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担)	木村	前期
在宅看護論各論	木村	前期
母性看護学各論Ⅱ	松藤	春学期
母性看護学実習(分担)	松藤	後期
母性看護学各論Ⅱ(分担)	藤井	春学期
母性看護学実習(分担)	藤井	後期
在宅看護論実習(分担)	藤田(貴)	通年
公衆衛生看護学実習Ⅰ	藤田(貴)	前期
公衆衛生看護学実習Ⅱ	藤田(貴)	前期
総合実習(分担)	藤田(貴)	前期
老年看護学実習	酒井	前期
成人老年看護学実習Ⅰ(分担)	酒井	後期
成人老年看護学実習Ⅱ(分担)	酒井	後期

総合実習(分担)	酒井	前期
在宅看護学各論(分担)	酒井	前期
小児看護学実習Ⅰ(分担)	田代	前期
小児看護学実習Ⅱ(分担)	田代	後期
総合実習(分担)	田代	前期

8. 卒業論文作成者

渡邊 瑞生	学校における月経教育の実際と学生のニーズに関する文献検討
高橋 理子	認知症高齢者を介護する家族の介護継続意思に影響を及ぼす要因に関する文献検討
久間 由紀乃	女性がん患者の仕事と治療と家庭の両立支援における困難に関する文献研究
東原 藍子	「妊娠中の体重増加指導の目安」が改定されたことで妊娠中の体重増加は変化したか？:縦断観察研究
古賀 さくら	不妊治療を受ける日本人女性の QOL に影響する要因:文献研究
田仲 菜々子	自閉スペクトラム症児の感覚の偏りと偏食への対応についての文献検討
東 優花	ダブルケアを担う介護者の抱える困難についての文献検討
高山 葵	市町村における特定健診未受診見ものの特性と効果的なアプローチの文献検討
下川 佳華	養育支援を必要とする母親を見極めるための保健師の視点に関する文献検討
村上 美沙	看護師の精神的健康に影響を及ぼす原因
濱田 彩花	地域在住高齢者の歩行機能の実態と転倒予防の検討
執行 美帆	注射や採血を受ける子どもに対するプレパレーションの効果についての文献検討
高田 彩夏	在宅移行期にある患児の母親に行う医療的ケアの指導に関する文献検討
中野 美紀	精神疾患患者に対する看護師の疼痛マネジメントに関する文献検討
米田 麻美	発達上の課題を持つ児への保育の実態と看護師支援の検討
津嘉山 はな	小児がん患児への予後告知における看護師の目指すべき姿一親と医療者の思いの分析より一
増田 凜	入院患児に付き添う家族の思いの変遷に関する文献研究一社会、政策、看護の変化による影響に焦点を当てて一
善明 愛希	妊婦健康診査を受診しないまたは受診回数が少ない妊婦の背景要因
岸川 捺佳	新型コロナウイルス感染症流行下における NICU 入院児の両親の親役割獲得への影響と効果的な支援
尾関 優花	NICU に入院した低出生体重児の父親の父親役割獲得過程
後藤 菜々美	帝王切開を受けた女性における産後うつとの現状と関連する要因についての文献検討
辻川 也哉子	極低出生体重児の母親に対する愛着形成を促進させる看護介入に関する文献研究
宮本 夏希	受動喫煙の精神的影響について
石黒 りょう	通信による保健指導における効果と課題に関する文献検討
伊藤 祭	がん患者のアドバンスケアプランニングにおける看護師の支援に関する文献検討
上家 里緒	認知症高齢者に口腔内清掃を実施するための対応に関する文献検討
渡邊 日向	低・中所得国の母子保健において継続ケアを達成するための取り組みに関する文献検討
西田 愛梨	在留外国人の育児における困難に関する文献検討
畑中 鈴乃	妊婦の食事とメンタルヘルスの関連について:横断的観察研究
丸吉 百合恵	筋萎縮性側索硬化症患者の個人の QOL 評価に関する文献検討
多嶋田 悠	COVID-19 パンデミックが地域在住高齢者に与えた影響
岡崎 萌	日本における専門看護師の研究の動向

山本 桂	女性の不妊症と生活習慣・体質に関する文献研究
大城戸 未来	処置中の子どもの苦痛を軽減させるのに効果的な援助に関する文献検討
吉田 美咲	本邦における新人訪問看護師の教育ニーズに関する文献検討
古川 結惟	乳児を育てる母親の育児不安の関連要因と支援に関する文献検討
仁田原 風花	母乳育児による母親への心理的影響についての文献検討

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	小規模多機能居宅介護を活用した認知症共生プラットフォームの形成と展開に関する研究	寺岡
2	住民ボランティアの認知症予防と認知症者理解に関する研究	寺岡
3	モンゴル国妊婦の喫煙・受動喫煙が周産期アウトカムに与える影響	疋田
4	母体の生活習慣が妊娠合併症、胎児および生後発達に及ぼす影響に関する研究	諸隈
5	胎児行動学	諸隈
6	地方自治体の統括保健師の役割	鳩野
7	行政保健師のアドボカシー	鳩野
8	動作解析で検証する口唇口蓋裂児への効果的な哺乳技術の確立と習得	植木
9	総排泄腔異常症患者と家族に対する継続的包括的ケアシステムの構築	宮田
10	難病医療に携わるコーディネーターの教育支援	岩木
11	訪問看護師の難病ケアコンピテンシー	岩木
12	周産期メンタルヘルスとボンディング障害の包括的アプローチ	末次
13	バングラデシュ農村部の妊婦に対する遠隔健診	菊地
14	カンボジアにおける子供の HIV に関するクラスターランダム化比較試験	菊地
15	妊娠糖尿病妊婦のセルフケアに対する自己効力感	菊地
16	SDGsのための母子継続ケア予測モデルの構築	菊地
17	日本における COVID-19 問題による社会・健康格差評価研究	菊地
18	乳幼児栄養を改善するためのコミュニティー・ヘルス・ワーカーへのスーパービジョン	菊地
19	バングラデシュ農村部の妊婦に対する遠隔健診	佐藤
20	妊娠糖尿病妊婦のセルフケアに関する研究	佐藤
21	幼児の問題行動が減少することを目指した地域における子育てプログラムに関する研究	木村
22	育児支援に関する研究	木村
23	助産学母乳育児支援	松藤
24	検査・処置時における子どもの権利擁護に関する小児病棟看護師の働きかけ	田代
25	小児がん患者・家族に対する小児病棟看護師の復学支援の実態	田代
26	パーキンソン病患者の医療・介護サービス利用が与える影響に関する定量的評価	藤田(貴)
27	レセプトデータを使用した健康指標への評価	藤田(貴)
28	喫煙が健康に与える影響	藤田(貴)

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

寺岡 佐和

- 「基盤研究(C)」小規模多機能居宅介護を活用した認知症共生プラットフォームの形成と展開に関する研究, 寺岡(代表)
- 「基盤研究(C)」住民ボランティアの認知症予防と認知症者理解を目的とした園芸活動プログラムの開発, 寺岡(代表)

疋田 直子

- 「若手研究」モンゴル国妊婦の喫煙・受動喫煙が周産期アウトカムに与える影響, 疋田(代表)
- 「基盤研究(B)」周産期コホートネットワークの基盤拡大とデータ利活用プラットフォームの構築, 疋田(分担)
- 「基盤研究(C)」助産師が行っている産痛緩和法の実態把握とエビデンスの再検証, 疋田(分担)

鳩野 洋子

- 「基盤研究(C)」都道府県および市町村における統括保健師の役割の明確化とその推進に関する研究, 鳩野(代表)
- 「基盤研究(C)」地域共生社会における発達障害児家族を支える地域高齢者による支援モデルの検討, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」住民ボランティアの認知症予防と認知症理解を目的とした園芸活動プログラムの開発, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」子育て世代のがんサバイバーのコミュニティ・エンパワメントモデル開発に関する研究, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」5日間連続夜勤を開始する新規採用職員の疲労・ストレス・眠気に関する縦断研究, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」公衆衛生看護におけるアドボカシーおよび関連要因の明確化に関する研究, 鳩野(代表)

諸隈 誠一

- 「基盤研究(B)」成分や粒径別粒子状物質の妊娠への影響をバイオマーカーでとらえる環境影響評価研究, 諸隈(分担)
- 「基盤研究(C)」周産期の抑うつに影響を及ぼす要因: 夫婦のコミュニケーションスタイルとの関連, 諸隈(分担)
- 「基盤研究(C)」生体リズムに着目した発達障害の解析—胎児期から幼児期までの縦断研究—, 諸隈(分担)

前野 有佳里

- 「基盤研究(C)」介護サービス事業者の成長を可能にする保健師の実地指導技術指標の開発, 前野(代表)

- 「基盤研究(B)」社会教育・福祉・予防医療の連携とコミュニティ・エンパワーメントの実証的比較研究，前野(分担)

植木 慎悟

- 「若手研究」動作解析で検証する口唇口蓋裂児への効果的な哺乳技術の確立と習得，植木(代表)
- 「基盤研究(C)」感染対策と子どもの権利擁護、親の負担軽減の両立を目指した入院ガイドラインの開発，植木(分担)
- 「基盤研究(C)」排泄障害をもつ女性患者の女性としての生き方を知る，植木(分担)
- 「基盤研究(C)」子どもを亡くした家族のビリーブメントプログラム開発，植木(分担)

宮田 潤子

- 「基盤研究(C)」女性医師のワークモチベーションを上昇させる動機づけモデルの樹立，宮田(分担)
- 「基盤研究(C)」排泄障害をもつ女性患者の女性としての生き方を知る，宮田(代表)

岩木 三保

- 「若手研究」難病療養者の在宅看護に必要なコンピテンシーモデルの作成，岩木(代表)
- 「基盤研究(C)」地域包括ケアシステムにおける尿失禁看護の検討とクリティカルパスの開発，岩木(分担)
- 「基盤研究(C)」透析患者の主体的自己管理行動を支援するヘルスコミュニケーションモデル開発，岩木(分担)

末次 美子

- 「基盤研究(C)」ボンディング障害の全容解明を目指した周産期総合的アプローチ，末次(代表)
- 「基盤研究(B)」周産期コホートネットワークの基盤拡大とデータ利活用プラットフォームの構築，末次(分担)

菊地 君与

- 「基盤研究(C)」SDGsのための母子継続ケア予測モデルの構築，菊地(代表)
- 「国際共同研究強化(B)」母子継続ケアのためのICTを活用した遠隔健診の展開について，菊地(代表)
- 「基盤研究(C)」乳幼児栄養を改善するためのコミュニティー・ヘルス・ワーカーへのスーパービジョン，菊地(分担)

佐藤 洋子

- 「若手研究」妊娠糖尿病発症および周産期合併症に関連する生活因子調査，佐藤(代表)
- 「国際共同研究強化(B)」母子継続ケアのためのICTを活用した遠隔健診の展開について，佐藤(分担)

藤田 貴子

- 「若手研究」パーキンソン病患者の医療・介護サービス利用と予後に関する定量的評価，藤田(貴)(代表)

酒井 久美子

- 「基盤研究(C)」寝たきり非経口摂取高齢者に対する口腔ケア;継続効果の検証と実装研究, 酒井(代表)
- 「基盤研究(B)」頭頸部がん術後を中心とした RCT による周術期口腔ケアの感染制御効果の検証, 酒井(分担),
- 「基盤研究(C)」虚弱高齢者に対する口腔ケアシステムの作成, 酒井(代表)

3. 学内研究経費の受入れ

- 「国立大学改革強化推進補助金」アジア地域における周産期保健医療開発及びグローバル人材育成, 諸隈(代表)、菊地(分担)
- 「令和4年度 研究補助者雇用支援[短期]」ボンディング障害の全容解明を目指した周産期総合的アプローチ, 末次(代表)
- 「外国語論文校閲経費支援」哺乳困難な口唇口蓋裂児への哺乳技術, 植木(代表)
- 「九州大学アジアオセアニア研究教育機構(PHC モジュール)」菊地(分担)
- 「外国語論文校閲経費支援」カンボジアの HIV 患児における口腔及び全身の健康に対する口腔介入のインパクト:ランダム化比較試験, 菊地(代表)

4. 奨学寄付金の受入れ なし

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「理化学研究所」新生児・乳児におけるシート型生体センサーを用いた行動期評価に関する研究 諸隈
- 「富山大学」アクティブラーニングによる症例検討モデル授業ガイド開発研究 宮田
- 「旭硝子財団」バングラデシュにおける女性のための持続可能な遠隔健診システムの構築 菊地

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

- 学会誌・学術専門誌
 - Akemi Abe, Yoko Hatono, Sawa Teraoka: Developing a scale for Japanese public health nurses supporting resident groups toward community-building, *Journal of Public Health Nursing*, , 2023年01月.
 - Sawa TERAOKA, Yoko HATONO: Effects of a Horticultural Activity Program on the Lives of Community-Dwelling Older Japanese Women with Dementia, *インターナショナル Nursing Care Research*, 21, 4, 9 - 18, 2022年11月.
 - Naoko Hikita, Ritsuko Iso, Kiyoko Mizuhata, Akemi Isoyama, Ayumi Kobayashi, Rika Muroi: Physical and Mental Effects of Foot Baths Among Women in Labor: Protocol for a Pre-Post Test Experimental Design, *JMIR Research Protocols*, 12, , e39985 - e39985, 2023年01月.

- Naoko Hikita, Kiyoko Mizuhata, Ritsuko Iso, Akemi Isoyama: Midwives' perception of the effects of footbaths for women in labor: A cross-sectional study, *Journal of Nursing Education and Practice*, 13, 4, 23 – 23, 2022年12月.
- Manami Matsubara, Megumi Haruna, Kaori Yonezawa, Moeri Yokoyama, Emi Tahara-Sasagawa, Naoko Hikita, Yoshie Nakamura, Yoko Mizuno, Hiromi Sanada, Nao Tamai, Masatoshi Abe, Kosuke Kashiwabara: Development and validation of an infant facial skin assessment tool: a prospective observational study, *BMC Pediatrics*, 22, 1, – , 2022年10月.
- Yokoyama M, Yonezawa K, Matsubara M, Hikita N, Sasagawa E, Haruna M.: The factors related to recovery time of diaper dermatitis in infants: A prospective observational study, *Jpn J Nurs Sci.*, , 2022年06月.
- Tasuku Okui, Yoko Sato, Seiichi Morokuma, Naoki Nakashima: Association of maternal nationality with preterm birth and low birth weight rates: analysis of nationwide data in Japan from 2016 to 2020., *Maternal health, neonatology and perinatology*, 9, 1, 3 – 3, 2023年03月.
- Kazushige Nakahara, Seiichi Morokuma, Kana Maehara, Hikohiro Okawa, Yasuko Funabiki, Kiyoko Kato: Association of fetal eye movement density with sleeping and developmental problems in 1.5-year-old infants., *Scientific reports*, 12, 1, 8236 – 8236, 2022年05月.
- Minami Noda, Yoko Sato, Yoshiko Suetsugu, Seiichi Morokuma: Interoception is associated with anxiety and depression in pregnant women: A pilot study, *PLoS One*, May 6;17(5):e0267507, 2022年05月.
- Kazushige Nakahara, Takehiro Michikawa, Seiichi Morokuma, Norio Hamada, Masanobu Ogawa, Kiyoko Kato, Masafumi Sanefuji, Eiji Shibata, Mayumi Tsuji, Masayuki Shimono, Toshihiro Kawamoto, Shouichi Ohga, Koichi Kusuhara, Japan Environment and Children's Study Group: Association of physical activity and sleep habits during pregnancy with autistic spectrum disorder in 3-year-old infants, *Communications medicine.*, Apr 5;2:35, , – , 2022年04月.
- Tsuruda Karen Yoko Hatono: Mental health status of public health nurses and its related factors under the coronavirus disease 2019 pandemic in Japan, *Journal of International Nursing Research*, , 2023年01月.
- Yoko Hatono: A Study on Individual and Organizational Factors related to Work Engagement among Public Health Nurses in Japan, *インターナショナル Nursing Care Research*, 21(3):53-62, 3, 53 – 62, 2022年10月.
- 鳩野洋子、弓場英嗣、島田美喜、尾島俊之、増田和茂: 新型コロナウイルス感染拡大第2波までの市町村保健部門の体制や取り組み, *日本公衆衛生雑誌*, 69, 8, 625 – 633, 2022年08月.
- Ueki S, Fujita A, Kumagai Y, Hirai Y, Tashiro E, Miyata J: Bottle-feeding techniques for children with cleft lip and palate experiencing feeding difficulties, *International Journal of Nursing Sciences*, 10, 1, 82 – 88, 2022年12月.

- Ooshige N, Matsunaka E, Ueki S.: Pregnant nurses' experiences of working shifts: a qualitative systematic review protocol., *JB1 Evidence Synthesis*, 21, 2, 457 – 464, 2022年09月.
- Koto Y, Ueki S, Yamakawa M, Sakai N: Experiences of patients with lysosomal storage disorders who are receiving enzyme-replacement therapy and the experiences of their family members: a qualitative systematic review, *JB1 Evidence Synthesis*, 20, 6, 1474 – 1510, 2022年6月.
- Mosaburo Kainuma, Makoto Kikukawa, Nobuaki Egashira, Satoshi Morimoto, Junko Miyata, Takao Shimazoe: Development of Versatile and Interactive Model Lessons in Kampo Medicine Education., *The Tokai journal of experimental and clinical medicine*, 47, 4, 154 – 161, 2022年12月.
- Kimiyo Kikuchi, Rafiqul Islam, Yoko Sato, Mariko Nishikitani, Rieko Izukura, Nusrat Jahan, Fumihiko Yokota, Subaru Ikeda, Nazneen Sultana, Meherun Nessa, Morshed Nasir, Ashir Ahmed, Kiyoko Kato, Seiichi Morokuma, Naoki Nakashima: Telehealth Care for Mothers and Infants to Improve the Continuum of Care: Protocol for a Quasi-Experimental Study, *JMIR Research Protocols*, 11, 12, e41586 – e41586, 2022年12月.
- Kimiyo Kikuchi, Takehiro Michikawa, Seiichi Morokuma, Norio Hamada, Yoshiko Suetsugu, Kazushige Nakahara, Kiyoko Kato, Masafumi Sanefuji, Eiji Shibata, Mayumi Tsuji, Masayuki Shimono, Toshihiro Kawamoto, Shouichi Ohga, Koichi Kusuhara; Japan Environment and Children's Study Group: Association of sleep quality with temperament among one-month-old infants in The Japan Environment and Children's Study, *PLoS One*, 17, 9, – , 2022年09月.
- Kimiyo Kikuchi, Rafiqul Islam, Mariko Nishikitani, Yoko Sato, Rieko Izukura, Fumihiko Yokota, Nusrat Jahan Khan, Meherun Nessa, Ashir Ahmed, Seiichi Morokuma, Naoki Nakashima: Women's health status before and during the COVID-19 pandemic in rural Bangladesh: A prospective longitudinal study, *PLoS One*, , 2022年05月.
- Islam R, Kikuchi K, Sato Y, Izukura R, Nishikitani M, Jahan N, Nessa M, Yokota F, Ahmed A, Nakashima N: Portable Health Clinic System for maternal and child health care in COVID-19 pandemic situation, *Stud Health Technol Inform*, 295, , 213 – 216, 2022年06月.
- Islam R, Yokota F, Kikuchi K, Nishikitani M, Izukura R, Sato Y, Rahman M, Sultana N, Nessa M, Ahmed A, Nakashima N: Standardization of Personal Health Records in the Portable Health Clinic System, *Stud Health Technol Inform*, 163-167, 2022年06月.
- Islam R, Yokota F, Nishikitani M, Kikuchi K, Sato Y, Izukura R, Rahman M, Chowdhury R, Ahmed A, Nakashima N: Portable Health Clinic COVID-19 system for remote patient follow-up ensuring clinical safety, *Computer Methods and Programs in Biomedicine Update*, 2, , 100061 – , 2022年06月.
- Yumi Harano, Yasutaka Mitamura, Peng Jiang, Takako Fujita, Akira Babazono: Risk heterogeneity of bullous pemphigoid among dipeptidyl peptidase-4 inhibitors: A population-based cohort study using Japanese Latter-Stage Elderly Healthcare Database., *Journal of diabetes investigation*, , 2023年03月.

- Yunfei Li, Akira Babazono, Aziz Jamal, Ning Liu, Takako Fujita, Rui Zhao, Yukari Maeno, Ya Su, Lifan Liang, Lan Yao: The impact of lifestyle guidance intervention on health outcomes among Japanese middle-aged population with metabolic syndrome: A regression discontinuity study, *Social Science & Medicine*, , 2022年12月.
 - Sung-A Kim, Akira Babazono, Takako Fujita, Aziz Jamal: Impact of Income Disparity on Utilization of Home-Based Care Services Among Older Adults in Japan: A Retrospective Cohort Study., *Population health management*, 25, 5, 639 – 650, 2022年10月.
- 国際会議・国際学会などのプロシーディングス
- Karen Tsuruda, Yoko Hatono: Mental Health Status of Public Health Nurses and ts Related Factors Under the COVID-19 Pandemic in Japan, 7th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science Conference, 2022年10月, Taiwan.
 - Yokota F, Anai A, Lazuardi L, Majid N, Wulandari H, Meliala A, Nishikitani M, Kikuchi K, Sato Y, Ikeda S, Ahmed A, Islam R, Nakashima N: Associations between Preventive Health Behaviors and Mental Disorders during the First COVID-19 Wave in Indonesia, *Asia Pacific Association for Medical Informatics 2022*, 2022年10月, Taiwan.
 - Islam R, To S, Izukura R, Sato Y, Nishikitani M, Kikuchi K, Yokota F, Ahmed A, Miyazaki M, Nakashima N.: Establishing an Evaluation Platform of Portable Medical Sensors for Telehealth Systems, *Asia Pacific Association for Medical Informatics 2022*, 2022年10月, Taiwan.
 - Ansar E, Kikuchi K.: Promoting continuum of care in maternal, newborn and child health in Ghana: Evidence-based policymaking and client-centered service integration, 7th Global Symposium on Health System Research, 2022年10月, Colombia.
 - Kikuchi K: Portable Health Clinic for Digital Health: Current Practices and Opportunities, *Portable Health Clinic for Maternal, Newborn and Child Health*, *Asia Pacific Association for Medical Informatics 2022*, 2022年10月, Taiwan.
 - Ueki S, Kitao M, Kumagai Y, FujitaY: Effectiveness of Triple P for parental difficulties of mothers having children with cleft lip and/or palate, 14th International Cleft Congress of Cleft Lip and Palate and Related Craniofacial Anomalies, 2022年7月
 - Yamakawa M, Bhatarakakoon P, Hu Y, Oh EG, Ueki S, Sakai I: Promoting Implementation of Evidence-Based Practice: Asian JBI Centre Initiatives, 2023年3月
 - Hikita N, Mizuhata K, Iso R, Isoyama A: Midwives' perception of the effects of footbaths on women in labor: A cross-sectional study, *East Asian Forum of Nursing Scholars*, 2023年3月
 - Sakai K, Himeno T : Oral condition assessment of older people bedridden and not taking oral intake, using OHAT-J, oral moistness, and oral bacterial counts, *East Asian Forum of Nursing Scholars*, 2023年3月
- 大学・研究機関などの刊行誌 なし
- 調査研究報告 なし

○ 国内学会での講演, 発表

- 諸隈誠一: 胎児の発達と母児のつながりについて, 第17回ソフロジー法研究会学術集会, 2022年11月, 福岡(オンライン).
- Ayako Ogata, Yoko Hatono: Changes in fatigue of newly hired staff started five consecutive night shifts: comparison between day shift and first night nurses, 26th East Asia Forum of Nursing Scholars (EAFONS) Conference, 2023年03月, Tokyo.
- Yoko Hatono, Hiroko Suzuki, Taeko Shimazu: Testing of the content validity of advocacy activities in groups and communities conducted by public health nurses in Japan, 26th East Asia Forum of Nursing Scholars (EAFONS) Conference, 2023年03月, Tokyo.
- Hitomi Matsuura, Yoko Hatono: The relationship between community-level social capital familiar to older adults and the prevention of long-term care, 26th East Asia Forum of Nursing Scholars (EAFONS) Conference, 2023年03月, Tokyo.
- 鶴田華恋、鳩野洋子: COVID-19 感染拡大下において保健所保健師が経験した困難, 第11回日本公衆衛生看護学会, 2022年12月, 仙台.
- 春山早苗、鳩野洋子、江角伸吾、大神あゆみ、金谷志子、佐藤紀子、山縣千開: いまさら聞けない研究倫理, 第11回日本公衆衛生看護学会, 2022年12月, 仙台.
- 嶋津多恵子、鳩野洋子、麻原きよみ、吉野純子、遠藤直子: モデルプログラムを用いた A 県地域保健従事者 プリセプター研修の評価, 第11回日本公衆衛生看護学会, 2022年12月, 仙台.
- 池田敏子, 新田章子, 鳩野洋子: 外国人結核患者の服薬継続に伴う困難さについての文献検討, 第11回日本公衆衛生看護学会, 2022年12月, 仙台.
- 新田章子, 池田敏子, 鳩野洋子: 若年認知症を支える家族介護者の困りごとに関する文献検討, 第11回日本公衆衛生看護学会, 2022年12月, 仙台.
- 中山貴美子、鳩野洋子、合田加代子、草野恵美子: 乳幼児をもつがんサバイバーである母親のエンパワメント尺度原案の作成, 第42回日本看護科学学会, 2022年12月, 広島.
- 尾島俊之、鳩野洋子、島田美喜、弓場英嗣、増田和茂: 新型コロナウイルス感染症流行による市町村の保健事業や地域住民の健康の変化, 第81回日本公衆衛生学会, 2022年10月, 山梨.
- 鳩野洋子、鶴田華恋: COVID-19 感染パンデミック下における保健所保健師の離職意図とその関連要因, 日本看護研究学会, 2022年08月, 松山(オンライン).
- 鳩野洋子、鶴田華恋: COVID-19 感染拡大に対応する新任と管理的立場の保健師が抱えた困難, 日本地域看護学会, 2022年08月, 富山.
- 鈴木茜、嶋津多恵子、鳩野洋子、麻原きよみ、吉野純子、遠藤直子: A 市における組織特性に合わせたプリセプター保健師研修の実践, 日本地域看護学会, 2022年08月, 富山.
- 植木慎悟、藤田紋佳、宮田潤子: 口唇裂・口蓋裂をもつ哺乳困難な新生児に対する医療者の哺乳技術の実態, 第32回日本小児看護学会学術集会, 2022年7月, 福岡市.
- 宮田潤子、貝沼茂三郎、近藤琢也、田尻達郎: 苓桂朮甘湯と甘麦大棗湯の併用が有効であった過換気症候群の1例, 第84回日本臨床外科学会総会, 2022年11月, 福岡市.

- 宮田潤子、近藤琢也、小幡聡、日野祐子、貝沼茂三郎、田尻達郎：卵巣機能不全に対するホルモン補充療法中の更年期様症状に漢方治療が奏功した総排泄腔遺残の一成人例，第26回日本小児外科漢方研究会，2022年10月，岡山市。
- 宮田潤子、貝沼茂三郎、金岡麻希、近藤琢也、入江敬子、田尻達郎：看護師の漢方医学への関心とセルフケアに関する調査研究(第2報)，第72回日本東洋医学会学術総会，2022年05月，Web オンデマンド(札幌市開催)。
- 宮田潤子、小幡聡、桐野浩輔、木下義晶、田尻達郎、田口智章：総排泄腔遺残症での適切な支援構築に向けた患者と医師のニーズに関するアンケート調査，第59回日本小児外科学会学術集会，2022年05月，東京都。
- 松瀬 大、原田 幸子、岩木 三保、齋藤 聖子、深川 知栄、橋本 侑、磯部 紀子：難病診療連携コーディネーターの配置状況と業務実態 5年前の調査と比較した近年の傾向と問題点，日本難病医療ネットワーク学会 第10回学術集会，2022年11月，東京。
- Kikuchi K: Impact of the PHC-MCH Care Service to the Rural Communities in Bangladesh, 九州大学アジアウィーク・Current Status, Outcomes and Challenges of the Portable Health Clinic Research & Development Activities, 2022年11月，オンライン。
- 名西恵子、柴沼晃、菊地君与、安岡潤子、本郷寛子、大川純代、田淵貴大：COVID-19パンデミックによる健康な母子への母乳育児支援と母乳率への影響，日本公衆衛生学会，2022年10月，三重。
- Sato Y, Ashir A, Yokota F, Kikuchi K, Islam R, Nishikitani M, Izukura R, Nakashima N: Global DX promotion with digital health, Kyushu University Vision 2030 キックオフシンポジウム，2022年9月，福岡。
- 佐藤洋子：バングラデシュ農村部に在住する妊婦の若年性に関連する課題，日本看護科学学会，2022年12月，広島(オンライン)。
- 藤田貴子、馬場園明：高齢パーキンソン病患者における睡眠薬処方実態の評価，第81回日本公衆衛生学会総会，2022年10月，山梨。
- 前野有佳里、馬場園明：生活習慣病予防健診受診者のBMIと睡眠呼吸障害の関連，第81回日本公衆衛生学会総会，2022年10月，山梨(オンライン)。

○ 学会以外での講演，発表

- 宮田潤子：総排泄腔遺残症患者に対するピアサポートの促進とその有用性に関する研究，第29回ヘルスリサーチフォーラム(ファイザーヘルスリサーチ振興財団)，2022年12月，Web。
- 宮田潤子：女性のヘルスケアと漢方～看護師のアンケート調査から見えてきたこと～，看護薬理学カンファレンス2022 in 福岡，2022年3月。
- 宮田潤子：患者の話を“聴いて”学ぶー小児漢方治療・総排泄腔遺残症支援に関連してー，九州大学病院第45回小児緩和ケアチーム勉強会，2022年7月

著作

1. 単行本

- 諸隈誠一：(共著) 母性看護学，2022年10月，株式会社メヂカルフレンド社。

- 応用心理学ハンドブック編集委員会 編, 前野 有佳里 他: (共著) 応用心理学ハンドブック 第10章 看護・医療と応用心理学 Topic 15 看護医療現場における暴力——支援者への攻撃, 2022年09月, 福村出版.
- 吉田 敬子, 錦井 友美, 末次 美子, 山下 洋: (共著) 周産期メンタルヘルスにおけるボンディング障害—日本語版スタッフフォード面接を用いた新しいアプローチ, 2022年11月, 金剛出版.
- Islam R, Ahmed A, Yokota F, Kikuchi K, Izukura R, Sato Y, Nishikitani M, Nohara Y, Nakashima N.: (共著) Bangladesh: eHealth and Telemedicine. In: Hübner, U.H., Mustata Wilson, G., Morawski, T.S., Ball, M.J. (Eds) Nursing Informatics. Health Informatics, 2022年07月, Springer, Cham.

2. 総説

- 鳩野洋子, 弓場英嗣, 島田美喜, 尾島俊之, 増田和茂: COVID-19 禍における住民の健康の影響と保健センターの対応上の工夫, 保健師ジャーナル, 2022年04月.

3. 解説, 書評など

- 植木 慎悟: 若手研究者による若手研究者のための 英語論文執筆の Tips(Vol.8) 若手研究者が英語論文の執筆で取り組んでいること、考えていること—著者の独自調査から考える—, 看護研究, 2023年2月.
- 植木 慎悟: 若手研究者による若手研究者のための 英語論文執筆の Tips(Vol.7) めざすべきトップジャーナルとは, 看護研究, 2022年12月.
- 植木 慎悟, 山上 優紀: 若手研究者による若手研究者のための英語論文執筆の Tips(Vol.6) 査読者としての経験, 看護研究, 2022年10月.
- 植木 慎悟: 若手研究者による若手研究者のための英語論文執筆の Tips(Vol.4) 投稿後のステータスの読み方, 看護研究, 2022年06月.
- 小幡 聡, 近藤 琢也, 馬庭 淳之介, 福田 篤久, 川久保 尚徳, 柳 佑典, 永田 公二, 宮田 潤子, 松浦 俊治, 田尻 達郎: 【どうする?小児の便秘・下痢】便秘の原因となる器質的疾患の診断と長期的な治療戦略 Hirschsprung 病類縁疾患, 小児内科, 2023年03月.
- 寺岡 佐和: (共著) 2023年版 保健師国家試験問題集, 2022年04月, 医学書院.
- 前野 有佳里: (共著) 2023年版 保健師国家試験問題集, 2022年04月, 医学書院.

受賞 なし

報道

- 諸隈, KBC テレビ, 「とっても健康らんど「低出生体重児」」, 2022年10月.
- 諸隈, 日本経済新聞 電子版, 「PM2.5と妊娠糖尿病との関連性について報告」, 2022年10月.
- 諸隈, 読売新聞オンライン 時事メディカル, 「妊娠中の生活習慣で子の自閉症リスク上昇 エコチル調査」, 2022年04月.

- 諸隈, 毎日新聞, 「つわりがあると赤ちゃんは大きく生まれるのに、重いつわり(妊娠悪阻)では赤ちゃんが小さく生まれる」の謎を解明～症状が治まったあと(妊娠中期後)の“妊婦の体重の伸び悩み”がカギか～, 2022年04月.
- 宮田, 九大広報, 「九大広報」における九州大学の各学部教員紹介ページに医学部の教員として紹介された., 2022年04月.
- 菊地, 東洋経済, 「東洋経済 ACADEMIC SDGs に取り組む大学特集 Vol.4」にて九州大学アジア・オセアニア研究教育機構のSDGs への取り組み例として掲載された., 2022年07月.
- 菊地, 九州大学 学術研究・産学官連携本部, 「国際ネットワークを構築するには? 九大教員の24のグッドプラクティス」として掲載された, 2022年09月.

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 諸隈, 新生児・乳児におけるシート型生体センサーを用いた行動期評価に関する研究, 理化学研究所, 2021年01月～2023年03月, 公開.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 佐藤, Grameen Caledonian College of Nursing (Bangladesh), 大学・研究所訪問, 2023年03月

2. 外国人研究者の受入れ

- 訪問教授・研究員 なし
- 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 寺岡, 大学院基幹教育実施会議構成員.
- 宮田, 広域生涯看護学講座 HP 委員.

2. 部局委員

- 宮田, 医療系統合教育委員会委員.
- 宮田, 九州大学病院臨床教育研修センターきらめきプロジェクト副プログラム責任者.

3. 部門・コース内委員

- 寺岡, 財務委員会委員.
- 寺岡, 広域生涯看護学講座長.
- 寺岡, 大学院委員会委員長.
- 寺岡, 教務委員会副委員長.
- 疋田, 学生委員会委員.
- 疋田, 大学院委員会委員.
- 諸隈, 広報委員会委員長.
- 鳩野, 入学試験実施委員会副委員長.
- 鳩野, 人事委員会・教育活動評価委員会委員.
- 鳩野, 九州大学病院看護部交流教員受入れ担当.
- 鳩野, 看護学専攻卒業研究委員会オブザーバー.
- 鳩野, 副分野長.
- 鳩野, 実習委員会委員.
- 前野, 学生委員会委員.
- 植木, 広報委員会委員.
- 植木, 実習委員会委員.
- 宮田, 看護研究委員長.
- 宮田, 看護研究委員.
- 岩木, 保健学科 20 周年記念誌 編集委員.
- 岩木, 施設・環境委員会委員.
- 岩木, 実習委員会委員.
- 末次, 看護学分野図書委員.
- 末次, 看護学分野教務委員.
- 末次, FD 実行委員会委員.
- 菊地, 看護学分野国際 WG 委員.
- 佐藤, 看護教育研究推進 WG 委員.
- 佐藤, 実習委員会委員.
- 木村, 支線 LAN・KITE 連絡員.
- 木村, 看護研究委員会委員.
- 松藤, 看護学専攻卒業研究委員.
- 田代, 大学院院生係.
- 藤井, 保健学科 20 周年記念誌 編集委員.
- 藤井, Kite Net・LAN 管理担当.
- 藤田(貴), 実習委員会委員.
- 酒井, 実習委員会委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 疋田, 獨協医科大学助産学専攻科, 非常勤講師.
- 諸隈, 第一薬科大学, 非常勤講師.
- 諸隈, 同志社大学・赤ちゃん学研究センター, 非常勤講師.
- 植木, 横浜市立大学大学院医学研究科小児看護学分野, 非常勤講師.
- 宮田, 原看護専門学校, 非常勤講師.
- 岩木, 福岡国際医療福祉大学・看護学部, 非常勤講師.

2. 学協会

- 寺岡, 一般社団法人日本認知症ケア学会, 運営委員, 国内.
- 寺岡, 一般社団法人日本認知症ケア学会, 九州1地域部会 副部会長, 国内
- 諸隈, 日本産科婦人科学会, 代議員, 国内.
- 諸隈, 日本母性衛生学会, 代議員, 国内.
- 諸隈, 日本周産期・新生児医学会, 評議員, 国内.
- 諸隈, 日本発達神経科学会, 理事, 国内.
- 諸隈, 日本あかちゃん学会, 理事, 国内.
- 鳩野, 日本公衆衛生看護学会, 倫理委員会副委員長, 国内.
- 鳩野, 日本公衆衛生看護学会, 理事, 国内.
- 末次, 日本家族看護学会, 運営委員, 国内.
- 末次, 日本家族看護学会, 第29回日本家族看護学会学術集会 企画委員, 国内.
- 末次, 福岡母性衛生学会, 幹事, 国内.
- 木村, PCIT&CARE 九州地区研究会, 副会長 (CARE 担当), 国内.
- 寺岡, 日本公衆衛生看護学会誌, 査読委員, 国内.
- 疋田, 日本助産学会誌, 査読委員, 国内.
- 疋田, 日本助産学会誌, 編集委員, 国内
- 疋田, 福岡母性衛生学会, 理事, 国内
- 鳩野, 公衆衛生看護学.JP, 編集委員, 国内.
- 鳩野, 福岡医学雑誌, 編集委員, 国内.
- 鳩野, 日本地域看護学会, 査読委員, 国内.
- 鳩野, 日本公衆衛生看護学会, 査読委員, 国内.
- 鳩野, 日本看護研究学会誌, 査読委員, 国内.
- 菊地, 日本国際保健医療学会 代議員, 国内
- 菊地, Frontiers in Public Health, Guest Editor, 国際.
- 菊地, Plos One, Academic Editor, 国際.
- 菊地, Plos Global Public Health, Academic Editor, 国際.
- 菊地, PeerJ, 編集委員, 国際.
- 菊地, BMC Medicine, 編集委員, 国際.
- 菊地, Scientific Reports, 編集委員, 国際.
- 藤田(貴), 医療福祉経営マーケティング研究会, 編集委員, 国内.

- 植木, 日本小児看護学会, 運営委員, 国内.
- 植木, 日本小児看護学会, 第32回日本小児看護学会学術集会 企画委員, 国内.
- 植木, 日本看護科学学会, 和文誌専任査読委員, 国内.
- 植木, 日本口蓋裂学会, 国際学会委員会委員, 国内
- 植木, 日本小児看護学会, 専任査読者, 国内
- 岩木, 日本難病看護学会, 査読委員, 国内
- 岩木, 日本難病看護学会, 評議員, 国内
- 岩木, 日本難病看護学会, 「学会認定難病看護師」認定制度運営委員会 委員, 国内
- 岩木, 日本難病看護学会, 「学会認定難病看護師」実行委員会 委員, 国内
- 岩木, 日本難病医療ネットワーク学会, 理事, 国内
- 岩木, 日本難病医療ネットワーク学会, 教育委員会難病医療コーディネータープロジェクトチーム委員, 国内
- 酒井, 日本老年看護学会, 生涯学習支援研究委員会:基礎編研修小委員会委員, 国内
- 酒井, 福岡県看護協会, 福岡県看護学会研究発表支援員, 国内
- 前野, 日本公衆衛生看護学会, 査読委員, 国内.
- 前野, 日本応用心理学会, 査読委員, 国内.
- 宮田, 日本小児外科学会, 評議員, 国内
- 宮田, 日本小児外科学会, ガイドライン委員, 国内
- 宮田, 日本小児外科漢方研究会, 幹事
- 宮田, 日本小児医療保健協議会(四者協), 「子どもとICT、子どもたちの健やかな成長を願って」委員会委員

3. 官界

- 鳩野, 国立大学協議会看護部会大学院委員会委員長, 国立看護系大学協議会.
- 鳩野, 国立大学協議会看護部会大学院委員会副委員長, 国立看護系大学協議会.
- 鳩野, 市町村保健師の管理者能力育成の推進に向けたアドバイザー支援事業委員, 厚生労働省.
- 鳩野, 福岡市保健福祉審議会委員, 福岡市.
- 鳩野, 福岡県地域保健従事者人材育成推進委員会委員長, 福岡県.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 鳩野, 九州大学病院看護教育推進ワーキング委員, 2022-01-01.

5. 公開講座・公開講演会

- 鳩野, 「福岡県国保連合会管理者研修」, 福岡県国民健康保険組合連合会, , セミナー・研修会.
- 鳩野, 「三重県保健師管理者研修」, 三重県, , セミナー・研修会.
- 鳩野, 「福岡県地域保健従事者プリセプター研修」, 福岡県, , セミナー・研修会.
- 鳩野, 「長崎県地域保健従事者プリセプター研修」, 長崎県, , セミナー・研修会.
- 鳩野, 「保健師中堅前期研修」, 福岡市, , セミナー・研修会.
- 鳩野, 「関東甲信越ブロック保健師管理者研修」, 埼玉県, , セミナー・研修会.

- 宮田, 「第3回総排泄腔疾患オンライン市民公開講座」, 九州大学大学院医学研究院小児外科学分野九州大学大学院医学研究院保健学部門看護学分野, Web開催, 公開講座.
- 木村, 「第1回「ポストコロナにおける大人と子どもの絆を深める」講演会「大人と子どもの絆を深める-CAREに触れてみよう-」」, PCIT&CARE九州地区研究会, オンライン, 講演会・公開討論.
- 木村, 「第4回 専門家向けI-CAREワークショップ」, PCIT&CARE九州地区研究会, オンライン, セミナー・研修会.
- 木村, 「中央区子どもと親の絆 CAREプログラム職員研修」, 福岡市中央区子育て支援課, 福岡市中央区保健福祉センターあいにふ, セミナー・研修会.
- 菊地, 「SocialTech Summit 2023」, 福岡県, シンポジウム
- 前野, 「保健師初任期研修」, 福岡県, セミナー・研修会.
- 前野, 「保健師中堅前期研修」, 福岡県, セミナー・研修会.
- 前野, 「認定看護管理者教育課程ファーストレベル」, 福岡県看護協会, セミナー・研修会.
- 前野, 「令和5年度社会教育主事講習」, 九州大学学務部学務企画課, セミナー・研修会.

6. 初等中等教育への貢献 なし

3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野

医用量子線科学分野

《基礎放射線科学》

教授	有村 秀孝
教授	藤淵 俊王
准教授	納富 昭弘
准教授	高橋 昭彦
講師	近藤 雅敏
助教	河窪 正照

1. 教育活動

1. 大学院講義

保健医療とデータ科学	有村	夏学期
Data Sciences in Health and Medicine	有村	夏学期
医学物理情報理論	有村	前期
量子線理工科学 I	有村	前期
Information Theory for Medical Physics	有村	前期
Quantum Radiation Science and Technology I	有村	前期
Quantum Radiation Science and Technology I	藤淵	前期
Data Sciences in Health and Medicine	藤淵	夏学期
Radiological protection	藤淵	夏学期
量子線理工科学 I	藤淵	前期
放射線防護学	藤淵	夏学期
保健医療とデータ科学	藤淵	夏学期
量子線理工科学 I	納富	前期
Quantum Radiation Science and Technology I	高橋	前期
Fundamental Theory of Electromagnetic Wave	高橋	前期
量子線理工科学 I	高橋	前期
基礎電磁波論	高橋	前期
国際社会とチーム医療	河窪	前期
International Society and Multidisciplinary Care	河窪	前期
国際社会とチーム医療	河窪	前期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

国際プレゼンテーション	有村	通年
保健学特別研究	有村	通年
医用量子線科学特別研究	有村	通年
Thesis Research on Health Science in Asia	有村	通年
Advanced International Presentation	有村	通年

量子線治療科学演習	有村	前期
医用量子線理工学演習	有村	前期
医用画像情報科学演習	有村	前期
International Presentation	有村	前期
Practice in Quantum Radiation Therapy	有村	前期
Practice in Quantum Radiation Technology	有村	前期
Practice in Medical Image and Information Sciences	有村	前期
量子線理工科学Ⅱ	藤淵	後期
Quantum Radiation Science and Technology Ⅱ	藤淵	後期
Thesis Research on Health Science in Asia	藤淵	通年
Practice in Radiological protection	藤淵	前期
Practice in Quantum Radiation Technology	藤淵	前期
Practice in Quantum Radiation Therapy	藤淵	前期
医用量子線科学特別研究	藤淵	通年
放射線防護学演習	藤淵	前期
医用量子線理工学演習	藤淵	前期
量子線治療科学演習	藤淵	前期
保健学特別研究	藤淵	通年
国際プレゼンテーション	藤淵	通年
医用線量計測学 (分担)	納富	秋学期
基礎量子力学 (分担)	納富	後期
医用量子線科学特別研究 (分担)	納富	通年
医用量子線理工学演習 (分担)	納富	前期
Practice in Quantum Radiation Technology	高橋	前期
医用量子線科学特別研究	高橋	通年
医用量子線理工学演習	高橋	前期

4. 大学院修士課程修了者

江頭 舞	MR 画像トポロジー特徴量を用いた脳転移腫瘍の原発巣予測 Prediction of Primary Sites for Brain Metastases Using Magnetic Resonance Image
兒玉 拓巳	体幹部定位放射線治療を受けたステージⅠ期非小細胞肺癌患者の計画 CT 画像におけるトポロジー特徴量を用いた再発予測 Relapse Predictability of Topology Features on Planning Computed Tomography Images Prior to Stereotactic Body Radio Therapy for Stage I Non-Small Cell Lung Cancer Patients
平川 勇也	前立腺がんにおける仮想ダイナミック造影 MR 画像合成法 Synthetic approach of virtual dynamic contrast enhanced MR images for prostate cancer
内野 恭美	免疫チェックポイント阻害剤治療を受けた非小細胞肺癌患者における腫瘍細胞数経時変化曲線の推定 Estimation of time-variant number of tumor cells in non-small cell lung cancer patients treated with immune checkpoint inhibitors
清水 美里	モンテカルロシミュレーションを用いた心臓カテーテル検査における臓器線量評価法の検討
中嶋 美沙希	心臓カテーテル検査における3次元散乱線分布の可視化と表示ツールによる比較
岸田 大典	マルチピンホールカメラを用いたリアルタイムでの散乱線の可視化に関する検討

Ceyda Cumur (Turkey)	Dose estimation for cone-beam computed tomography in image-guided radiation therapy using mesh-type reference computational phantoms
長友 勇樹	治療用炭素線の光学的な線量分布観測におけるクエンチング現象の検討 Examination of quenching phenomenon in optical dose distribution observation of therapeutic carbon-ion

5. 大学院博士課程修了者

永見 範幸	Dual segmentation models for poorly and well-differentiated hepatocellular carcinoma using two-step transfer deep learning on dynamic contrast-enhanced CT images ダイナミック造影 CT 画像における 2 段階転移深層学習を用いた低・高分化肝細胞がんのデュアルセグメンテーションモデル
山之内 雅幸	Prediction of intracranial aneurysm rupture risk using non-invasive radiomics analysis based on follow-up magnetic resonance angiography images 経過観察中の MRA 画像を用いた低侵襲 Radiomics 解析による脳動脈瘤破裂リスク予測

6. 学部講義

基礎医療統計	有村	夏学期
放射線技術科学入門 I	有村	前期
放射線治療技術学 I	有村	前期
放射線物理学	有村	前期
物理数学 I	有村	前期
放射線治療・核医学機器学	有村	前期
放射線診断機器学	有村	後期
放射線技術科学入門 II	有村	後期
医用画像情報学	有村	後期
放射線管理学	藤淵	後期
放射線技術科学入門 II	藤淵	後期
臨床解剖薬理学	藤淵	冬学期
放射線治療技術学 I	藤淵	前期
放射線技術科学入門 I	藤淵	前期
基礎医療統計	藤淵	夏学期
原子核物理学 (分担)	納富	後期
放射線技術科学入門 II	納富	後期
放射線治療計測学 (分担)	納富	後期
放射線医学技術学概論	納富	夏学期
放射線治療・核医学機器学	納富	前期
放射線計測学 (分担)	納富	前期
放射性同位元素検査学・実習 (分担)	納富	前期
放射線技術科学入門 I	納富	前期
放射線物理学 (分担)	納富	前期
放射線技術科学入門 II	高橋	後期
電気電子工学入門	高橋	前期
放射線治療・核医学機器学	高橋	前期
物理数学 II	高橋	春学期

放射線技術科学入門Ⅰ	高橋	前期
放射線技術科学入門Ⅱ	近藤	後期
放射線診断機器学	近藤	後期
臨床解剖薬理学	近藤	冬学期
医療安全学	近藤	秋学期
医用画像評価学	近藤	後期
品質管理論	近藤	後期
基礎医療統計	近藤	夏学期
放射線技術科学入門Ⅰ	近藤	前期
X線CT画像技術学	近藤	春学期
基礎医療統計	河窪	夏学期
放射線技術科学入門Ⅰ	河窪	前期
放射線治療・核医学機器学	河窪	前期
臨床解剖薬理学	河窪	冬学期
品質管理論	河窪	後期
品質管理論	河窪	後期
臨床解剖薬理学	河窪	冬学期
放射線治療・核医学機器学	河窪	前期
放射線技術科学入門Ⅰ	河窪	前期
基礎医療統計	河窪	夏学期

7. 学部の実験・実習・演習

放射線機器学実験	有村	春学期
医用画像情報学実習	有村	夏学期
臨地実習	有村	通年
卒業研究	有村	通年
放射化学実験	藤淵	冬学期
画像解剖学演習	藤淵	後期
放射線画像技術学実習	藤淵	後期
放射線治療技術学実習	藤淵	後期
臨地実習	藤淵	通年
放射線管理学実験	藤淵	春学期
放射線計測学実験（分担）	納富	前期
放射線機器学実験	高橋	春学期
放射化学実験	近藤	冬学期
画像解剖学演習	近藤	後期
放射線機器学実験	近藤	春学期
放射線画像技術学実習	近藤	後期
医用画像評価学	近藤	後期
臨地実習	近藤	通年
卒業研究	近藤	通年
医用画像情報学実習	河窪	夏学期
放射線管理学実験	河窪	春学期
画像解剖学演習	河窪	後期
放射線画像技術学実習	河窪	後期

放射線治療技術学実習	河窪	後期
卒業研究	河窪	通年
臨地実習	河窪	通年

8. 卒業論文作成者

光島 千稀	体幹部定位放射線治療を受けた I 期非小細胞肺癌患者の数学的モデルによる治療効果予測
富 洋(China)	前立腺癌病理組織画像から求めた細胞密度と MRI 画像特徴量の関係
江田 惇哉	非小細胞肺癌患者に対する体幹部定位放射線治療における線量分布を用いた放射線肺炎の予測
荒木 英寿	肝細胞癌患者の分子標的薬治療における治療効果予測
檜作 響子	三次元可視化ソフトを利用した透視装置における散乱線の方向ベクトルの表示
長友 亜未	Augmented Reality 技術を用いた血管造影撮影時の 3 次元散乱線分布の可視化
立花 悠稀	モンテカルロシミュレーションによるモバイルガンマカメラの基本性能評価
川島 理愛	WebVR を利用した X 線透視における散乱線可視化放射線防護教材の開発
川野零旺	ホウ素添加液体シンチレータによる中性子捕獲反応分布の光学的観測に関する基礎的検討
守口碧仁	ホウ素添加液体シンチレータを用いた臨床 BNCT 場でのホウ素線量分布の光学的観測の試み
森口 光	CsI の自己放射化法と CCD カメラを用いた Linac 周辺の光中性子空間強分布評価
橋本 玲奈	モンテカルロシミュレーションを用いた Lu-177 の吸収線量分布
熊本 伊吹	Th-227 SPECT 画像化における Ra の影響 ~コリメータ比較による検討~
石王丸 花	モンテカルロシミュレーションを用いた 188ReSPECT の撮影条件の検討
中村 美咲	Synthetic MRI の撮像ごとの信頼性と再現性における 2D と 3D シーケンス間比較
本松 晃	CT の仮想単色 X 線画像における実効エネルギー選択によるヨード密度の推定精度改善
真崎 春花	SPECT の深層学習により生成された仮想 PET と PET との客観的画像類似性の評価
土谷 青	SPECT から深層学習により生成された仮想 PET による心筋ストレイン解析

9. 研究生

武 錦岳	研究生	留学生
Han Ruotong	研究生	留学生

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

藤淵	当日引率	放射線 3 年生を対象とした玄海町次世代エネルギーパーク・あすびあ
納富	当日引率	放射線 3 年生を対象とした玄海町次世代エネルギーパーク・あすびあ
高橋	当日引率	放射線 3 年生を対象とした玄海町次世代エネルギーパーク・あすびあ
近藤	申請書類作成、当日引率	放射線 3 年生を対象とした玄海町次世代エネルギーパーク・あすびあ
近藤	司会	The 17th International Forum of Health Sciences in Kyushu University

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	がん治療のレディオミクス(肺がん, 頭頸部癌, 前立腺がん)	有村
2	多次元データ支援放射線治療法の開発(肺がん, 前立腺がん, 子宮頸がん)	有村
3	類似症例に基づく放射線治療自動立案法の開発	有村
4	無症候性未破裂脳動脈瘤の検出支援システムの開発	有村
5	放射線治療のための類似症例自動検索方法の開発	有村
6	高精度放射線治療計画支援システムの開発	有村
7	多発性硬化症のためのコンピューター支援診断システムの開発	有村
8	アルツハイマー病検出のためのコンピューター支援診断システムの開発	有村
9	医用放射線による患者およびスタッフの放射線防護、モニタリング、放射性廃棄物に関する研究放射線の可視化に関する研究	藤淵
10	硼素中性子捕捉療法(BNCT)の物理工学的研究	納富
11	モンテカルロシミュレーションを用いた核医学画像評価に関する研究	高橋
12	ヒストグラム解析を用いた Synthetic MRI における定量値の検討	近藤
13	Dual Energy CT における仮想単色 X 線画像を用いた逆問題の検討	近藤
14	医用画像解析	河窪

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」遺伝子変異検出から予後予測へつなぐ画像生検の開発, 有村(代表), 千円.
- 「基盤研究(C)」深層学習を応用した肺癌放射線治療後の肺臓炎重症度予測と治療法最適化システムの開発(代表:塩山 善之, 九州大学, 医学研究院), 有村(分担), 千円.
- 「基盤研究(B)」放射線教育の STEAM 化による EBPM 支援プログラムの開発, 藤淵(分担), 千円.
- 「基盤研究(C)」XR 技術を活用した医療放射線技術教育教材の開発と実践, 藤淵(代表), 700 千円.
- 「基盤研究(C)」ホウ素中性子捕捉療法の品質保証の為のホウ素線量分布直接測定法の開発, 納富(代表), 1200 千円.
- 「若手研究」シネ MRI による体循環右室リモデリング解析の CRT 効果予測における有用性の確立, 河窪(代表), 600 千円.

3. 学内研究経費の受入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ なし

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「株式会社 A-Line 線量管理システムの機能追加に関する研究」藤淵, 60 千円.

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Hidemi KAMEZAWA, Hidetaka ARIMURA: Recurrence prediction with local binary pattern-based dosiomics in patients with head and neck squamous cell carcinoma, *Physical and Engineering Sciences in Medicine (Published: 05 December 2022)*, 2022年12月. (査読あり)
- Noriyuki Nagami, Hidetaka Arimura, Junichi Nojiri, Cui Yunhao, Kenta Ninomiya, Manabu Ogata, Mitsutoshi Oishi, Keiichi Ohira, Shigetoshi Kitamura, Hiroyuki Irie.: Dual segmentation models for poorly and well-differentiated hepatocellular carcinoma using two-step transfer deep learning on dynamic contrast-enhanced CT images, *Physical and Engineering Sciences in Medicine (Published: 05 December 2022)*, 2022年12月. (査読あり)
- Quoc Cuong Le, Hidetaka Arimura, Kenta Ninomiya, Takumi Kodama, Tetsuhiro Moriyama: Can persistent homology features capture more intrinsic information about tumors from 18F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography images of head and neck cancer patients?, *Metabolites 12(972) 1-12*, , 2022年10月. (査読あり)
- Masayuki Yamanouchi, Hidetaka Arimura, Takumi Kodama, Akimasa Urakami: Prediction of Intracranial Aneurysm Rupture Risk Using Non-Invasive Radiomics Analysis Based on Follow-Up Magnetic Resonance Angiography Images: A Preliminary Study, *APPLIED SCIENCES-BASEL 12(17)*, 2022年09月. (査読あり)
- 森山和俊、有村秀孝、小林和馬、Quoc Cuong Le, 浦上暉允、二宮健太、兒玉拓巳、岡本裕之、井垣浩: ヘッセ指数画像に基づく脳転移腫瘍の原発巣推定の可能性, *医用画像情報学会雑誌*, 2022年39巻3号 p. 57-67, , 2022年09月. (査読あり)
- Kodama Takumi, Arimura Hidetaka, Shirakawa Yumi, Ninomiya Kenta, Yoshitake Tadamas, Shioyama Yoshiyuki.: Relapse predictability of topological signature on pretreatment planning CT images of stage I non-small cell lung cancer patients before treatment with stereotactic ablative radiotherapy., *Thoracic cancer 13(15) 2117-2126*, 2022年08月. (査読あり)
- Ceyda Cumur, Toshioh Fujibuchi, Hiroyuki Arakawa, Keisuke Hamada: Dose estimation for cone-beam computed tomography in image-guided radiation therapy for pelvic cancer using adult mesh-type reference computational phantoms, *Radiological Physics and Technology*, 2023年03月. (査読あり)
- Zhang Yi, Inoue Yuuta, Fardous Jannatul, Doi Ryota, Ijima Takahiro, Fujibuchi Toshioh, Yamashita Yo-ichi, Aishima Shinichi, Ijima Hiroyuki: Prevention and repair of ultraviolet B-induced skin damage in hairless mice via transdermal delivery of growth factors immobilized in a gel-in-oil nanoemulsion, *ACS Omega*, 2023年03月. (査読あり)
- Kiyoshi Nomura, Masashi Takahashi, Toshioh Fujibuchi, Yuya Koike, Masayuki Hara, Shogo Higaki, Ikuo Kobayashi, Souichirou Yoshino: Application of liquid scintillation light guide (LSLG) to scattered X-ray measurement from dental panoramic radiography system, *Applied Radiation and Isotopes*, 194, 2023年02月. (査読あり)

- Choirul Anam, Ariij Naufal, Toshioh Fujibuchi, Kosuke Matsubara, Geoff Dougherty: Automated development of the contrast–detail curve based on statistical low–contrast detectability in CT images, *Journal of Applied Clinical Medical Physics*, 2022 年 06 月. (査読あり)
- Hiroshi Yoshitani, Toshioh Fujibuchi, Choirul Anam: Visualization of dose distribution and basic study of dose estimation using plastic scintillator and digital camera, *Biomedical Physics & Engineering Express*, 2022 年 06 月. (査読あり)
- Ceyda Cumur, Toshioh Fujibuchi, Keisuke Hamada: Dose estimation for cone–beam computed tomography in image–guided radiation therapy using mesh–type reference computational phantoms and assuming head and neck cancer, *Journal of Radiological Protection*, , 2022 年 06 月. (査読あり)
- 納富昭弘: 中性子の基礎知識:高エネルギー光子線治療に伴う中性子の発生, *医学物理*, 42, 3, 149 – 155, 2022 年 09 月. (査読あり)
- Akihiko Takahashi, Ryosuke Kajiyama, Shingo Baba, Masayuki Sasaki: Monte Carlo simulation study to explore optimum conditions for Astatine-211 SPECT, *Radiological Physics and Technology*, 16, 1, 102 – 108, 2023 年 02 月. (査読あり)
- Yasuhiro Onizuka, Yuki Sakai, Takashi Shirasaka, Masatoshi Kondo, Toyoyuki Kato: Possible Radiation Dose Reduction in Abdominal Plain CT Using Deep Learning Reconstruction, *日本放射線技術学会雑誌*, , 2023 年 03 月. (査読あり)
- Yuna Katsuyama, Tsukasa Kojima, Takashi Shirasaka, Masatoshi Kondo, Toyoyuki Kato: Characteristics of the deep learning–based virtual monochromatic image with fast kilovolt–switching CT: a phantom study., *Radiological physics and technology*, 16, 1, 77 – 84, 2023 年 03 月. (査読あり)
- Tsukasa Kojima, Takashi Shirasaka, Yuzo Yamasaki, Masatoshi Kondo, Hiroshi Hamasaki, Ryoji Mikayama, Yuki Sakai, Toyoyuki Kato, Akihiro Nishie, Kousei Ishigami, Hidetake Yabuuchi: Importance of the heart rate in ultra–high–resolution coronary CT angiography with 0.35 s gantry rotation time, *JAPANESE JOURNAL OF RADIOLOGY*, 40, 8, 781 – 790, 2022 年 04 月. (査読あり)
- Shirasaka T, Kojima T, Yamane S, Mikayama R, Kawakubo M, Funatsu R, Kato T, Ishigami K, Funama Y.: Effect of iodine concentration and body size on iodine subtraction in virtual non–contrast imaging: A phantom study, *Radiography (Lond)*, 29, 3, 557 – 563, 2023 年 03 月. (査読あり)
- 河窪 正照、長尾 充展、山本 篤志、中尾 梨沙子、松尾 有香、金子 恒一郎、渡邊 絵里、坂井 晶子、佐々木 雅之、坂井 修二.: 高解像 ^{13}N –アンモニア PET 画像の feature–tracking による右心室ストレインと心筋虚血との関連, *心臓核医学*, 23, 1, 13 – 17, 2023 年 03 月. (査読あり)
- Yamamoto A, Nagao M, Kawakubo M, Ando K, Nakao R, Matsuo Y, Sakai A, Kaneko K, Momose M, Sakai S, Yamaguchi J.: Prediction of cardiovascular events using myocardial strain ratio derived from N–13–ammonia positron emission tomography, *Eur Radiol*, 2022 年 12 月. (査読あり)

- Kawakubo M, Waki H, Shirasaka T, Kojima T, Mikayama R, Hamasaki H, Akamine H, Kato T, Baba S, Ushiro S, Ishigami K.: A deep learning model based on fusion images of chest radiography and X-ray sponge images supports human visual characteristics of retained surgical items detection., *Int J Comput Assist Radiol Surg.*, 2022 年 12 月. (査読あり)
- Michinobu Nagao, Masateru Kawakubo, Risako Nakao, Eri Watanabe, Masami Yoneyama, Nobuhisa Hagiwara, and Shuji Sakai.: Myocardial Strain Derived from 13N-ammonia Positron Emission Tomography: Detection of Ischemia-Related Wall Motion Abnormality, *Annals of Nuclear Cardiology*, , 2022 年 11 月. (査読あり)
- Sato T, Sakamoto I, Hiasa K, Kawakubo M, Ishikita A, Umemoto S, Kang JM, Sawatari H, Chishaki A, Shigeto H, Tsutui H.: High-echoic line tracing of transthoracic echocardiography accurately assesses right ventricular enlargement in adult patients with atrial septal defect, *The International Journal of Cardiovascular Imaging*, , 2022 年 08 月. (査読あり)
- Wibowo A, Triadyaksa P, Sugiharto A, Sarwoko A E, Nugroho A F, Arai H, Kawakubo M.: Cardiac Disease Classification Using Two-Dimensional Thickness and Few-Shot Learning Based on Magnetic Resonance Imaging Image Segmentation, *Journal of Imaging*, 8, 7, 194 -, 2022 年 07 月. (査読あり)
- Kawakubo M, Moriyama D, Yamasaki Y, Abe K, Hosokawa K, Moriyama T, Triadyaksa P, Wibowo A, Nagao M, Arai H, Nishimura H, Kadokami T.: Right ventricular strain and volume analyses through deep learning-based fully automatic segmentation based on radial long-axis reconstruction of short-axis cine magnetic resonance images, *Magnetic Resonance Materials in Physics, Biology and Medicine*, , 2022 年 05 月. (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Takumi Kodama, Hidetaka Arimura, Yuko Shirakawa, Kenta Ninomiya, Tadamasa Yoshitake, Yoshiyuki Shioyama: Topological prediction models for relapse of stage I patients with non-small cell lung cancer prior to stereotactic ablative radiotherapy (Poster), SPIE Medical Imaging 2023, San Diego, 2023 年 02 月, UnitedStatesofAmerica.
- Kyomi Uchino, Hidetaka Arimura, Kentaro Tanaka, Hidetake Yabuuchi: Temporal Prediction of Tumor Growth Trajectory in Non-small Cell Lung Cancer Patients Treated with Immune Checkpoint Inhibitors, (Poster, Dec.11), 22nd Asia-Oceania Congress on Medical Physics (AOCMP 2022), December 10-12, 2022 in Taipei, 2022 年 12 月, Taiwan.
- Hiroshi Hamasaki, Hidetaka Arimura, Yuzo Yamasaki, Takayuki Yamamoto, Mitsuhiro Fukata, Tetsuya Matoba, Toyoyuki Kato, Kousei Ishigami: Noninvasive Prediction of Myocardial Ischemia Based on Fractional Flow Reserve Derived from Coronary Computed Tomography, (Poster, Dec.11), 22nd Asia-Oceania Congress on Medical Physics (AOCMP 2022), December 10-12, 2022 in Taipei, 2022 年 12 月, Taiwan.
- Hidetaka Arimura: Mathematical characterization of cancer in imaging biopsy (Invited Speech, Dec.11), 22nd Asia-Oceania Congress on Medical Physics (AOCMP 2022), December 10-12, 2022 in Taipei, 2022 年 12 月, Taiwan.

- Hidetaka Arimura: Imaging biopsy for extraction of tumor traits (Keynote Speech, Dec.7), Malaysian Congress of Radiology 2022, December 7–9, 2022 in Penang, 2022年12月, Malaysia.
- Hidetaka Arimura: Envisioning mathematical tumor characterization for imaging biopsy (Keynote Speech, Sep.13), 5th International Conference of Computer and Informatics Engineering (IC2IE), Indonesia, 2022年09月, Indonesia.
- Takahiro Iwasaki, Hidetaka Arimura, Kenta Ninomiya, Hideyuki Iwanaga: Computational triage of severe patients caused by coronavirus disease 2019 pneumonia on CT images with radiomic signatures.(ePoster, July10–14), AAPM2022 (LIVE and IN-PERSON at Washington), 2022年07月, Japan.
- Yunhao Cui, Hidetaka Arimura, Tadamasu Yoshitake, Yoshiyuki Shioyama, Hidetake Yabuuchi: Exploration of Generalization of Dense V-Networks On A Small Training Dataset In Segmenting Gross Tumor Volumes On 3D Planning CT Images for Lung Cancer Stereotactic Body Radiotherapy(Oral, Online, June13), WC2022 (Hybrid Congress in Singapore), 2022年06月, Japan.
- Takumi Kodama, Hidetaka Arimura, Yuko Shirakawa, Kenta Ninomiya, Tadamasu Yoshitake, Yoshiyuki Shioyama: Progression Predictability Based on Planning Computed Tomography Images for Early Stage Non-Small Cell Lung Cancer Patients with Stereotactic Ablative Radiotherapy(Oral, Online, June13), WC2022 (Hybrid Congress in Singapore), 2022年06月, Japan.
- Yuki Nagatomo, Akihiro Nohtomi, Tomoyuki Seo, Yoshikazu Tsunashima, Takeshi Himukai, Hiroshi Sato, Yoshiyuki Shioyama: Examination on dose-rate dependence of water luminescence for irradiation of therapeutic carbon-ion at lower energy than Cerenkov-light threshold, 第123回日本医学物理学会学術大会 1stICRPT, 2022年04月, Japan.
- Hideya Maeda, Akihiro Nohtomi, Genichiro Wakabayashi, Yoshinori Sakurai, Takushi Takata: Optical imaging of dose distribution $^{10}\text{B}(n,\alpha)^7\text{Li}$ reaction using boron-added liquid scintillator for boron neutron capture therapy, 第123回日本医学物理学会学術大会 1st ICRPT, 2022年04月, Japan.
- Atsushi Yamamoto, Michinobu Nagao, Masateru Kawakubo, Kiyoe Ando, Risako Nakao, Yuka Matsuo, Akiko Sakai, Mitsuru Momose, Koichiro Kaneko, Kenji Fukushima, Shuji Sakai, Nobuhisa Hagiwara.: Ammonia PET-derived Right Ventricular Strain: Prognostic Value in Coronary Artery Disease, SNMMI 2022 Annual Meeting, 2022年06月, Canada.
- Atsushi Yamamoto, Michinobu Nagao, Masateru Kawakubo, Kiyoe Ando, Risako Nakao, Yuka Matsuo, Akiko Sakai, Mitsuru Momose, Koichiro Kaneko, Kenji Fukushima, Shuji Sakai, Nobuhisa Hagiwara.: Myocardial Energy Estimated by PET Strain and Myocardial Flow Reserve: New Strategy for Coronary Artery Disease, SNMMI 2022 Annual Meeting, 2022年06月, Canada.
- Tomohiko Horie, Natsuo Konta, Masateru Kawakubo, Hiroshi Hamano, Han Soo Chang, Tetsu Niwa, Kagayaki Kuroda, Mitsunori Matsumae: Quantitative evaluation of spinal cord

cine-MRI with optical flow analysis, Joint Annual Meeting ISMRM-ESMRMB & ISMRT 31st Annual Meeting, 2022 年 05 月, UnitedKingdom.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告 なし

e. 国内学会での講演, 発表

- YiZhi Tong, Hidetaka Arimura, YunHao Cui, Takumi Kodama, Tadamasu Yoshitake, Yoshiyuki Shioyama, Hidetake Yabuuchi: Automated segmentation of stage I non-small cell lung cancer regions in radiation treatment planning CT image, 医用画像情報学会 MII the 195Meeting, 2023 年 02 月, 名古屋国際センター.
- 光島 千稀、有村 秀孝、白川 友子、吉武 忠正、江頭 舞: I 期非小細胞肺癌患者の体幹部定位放射線治療による治療効果予測, 第 17 回九州放射線医療技術学術大会, 2022 年 11 月, アクロス福岡.
- 江田惇哉、有村秀孝、兒玉拓巳、吉武忠正、廣瀬 貴章: 体幹部定位放射線治療後の非小細胞肺癌患者に対する放射線肺炎の予測, 第 17 回九州放射線医療技術学術大会, 2022 年 11 月, アクロス福岡.
- Yunhao Cui, Hidetaka Arimura, Yuko Shirakawa, Tadamasu Yoshitake, Yoshiyuki Shioyama, Hidetake Yabuuchi: Deep learning-based measurement of volume-based consolidation-to-tumor ratios on planning CT images of lung cancer SBRT patients (Poster), 第 124 回日本医学物理学会学術大会 (長崎), 2022 年 09 月, 長崎ブリックホール.
- 平川勇也、有村秀孝、Yunhao Cui、高山幸久、西江昭弘、石神康生: CycleGAN を用いた前立腺癌患者における仮想造影 MR 画像合成, 第 41 回日本医用画像工学会大会 JAMIT, 2022 年 07 月, 名古屋大学 東山キャンパス.
- 内野恭美、有村秀孝、田中謙太郎、藪内英剛: ICI 治療の NSCLC 患者における肺腫瘍細胞数の経時変化曲線の推定, 第 41 回日本医用画像工学会大会 JAMIT, 2022 年 07 月, 名古屋大学 東山キャンパス.
- 兒玉拓巳、有村秀孝、二宮健太、白川友子、吉武忠正、塩山善之 : トポロジー画像解析による体幹部定位放射線治療を受けたステージ I 非小細胞肺癌患者の進行予測, 第 41 回日本医用画像工学会大会 JAMIT, 2022 年 07 月, 名古屋大学 東山キャンパス.
- Hidetaka Arimura: 放射線診断分野における AI 時代の若手研究者への期待 Expectations for young investigators in the age of AI in diagnostic field (Invited Speaker), The 123rd Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (Yokohama), 2022 年 04 月, Pacifico Yokohma.
- Yu Jin, Hidetaka Arimura, Takumi Kodama: A Radiogenomic Signature for Prediction of Lung Cancer Prognosis: Association Between HOPX Gene Expression and CT Image Features, The 123rd Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (Yokohama), 2022 年 04 月, Pacifico Yokohma.
- Koujiro Ikushima, Hidetaka Arimura, Ryuji Yasumatsu, Hidemi Kamezawa, Kenta Ninomiya: Radiomic feature-based prediction model for malignancy grade of parotid gland cancer in

- preoperative magnetic resonance images, The 123rd Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (Yokohama), 2022 年 04 月, Pacifico Yokohma.
- Takahiro Iwasaki, Hidetaka Arimura, Kentaro Tanaka, Hideyuki Iwanaga: Radiomic classification of severity caused by coronavirus disease 2019 pneumonia based on CT images, The 123rd Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (Yokohama), 2022 年 04 月, Pacifico Yokohma.
 - Rintaro Furuta, Hidetaka Arimura, Kentaro Tanaka, Mai Egashira: Prediction of Time Variant Trajectory of Lung Tumor Growth During TKI Targeted Therapy, The 123rd Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (Yokohama), 2022 年 04 月, Pacifico Yokohma.
 - 前田英哉, 納富昭弘, 呼尚徳, 柿野諒, 秋田和彦, 小野公二: ホウ素添加液体シンチレータと CCD カメラを用いた臨床 BNCT 場におけるホウ素線量分布の光学イメージング, 第 37 回研究会「放射線検出器とその応用」, 2023 年 01 月, オンライン発表.
 - 前田英哉, 納富昭弘, 呼尚徳, 柿野諒, 秋田和彦, 小野公二: 液体シンチレータを用いたホウ素線量分布可視化の試み(2)熱外中性子場での測定, 第 18 回日本中性子捕捉療法学術大会, 2022 年 10 月, つくば国際会議場.
 - 納富昭弘, 前田英哉, 若林源一郎, 高田卓志, 櫻井良憲: 液体シンチレータを用いたホウ素線量分布可視化の試み(1)熱中性子場での測定, 第 18 回日本中性子捕捉療法学術大会, 2022 年 10 月, つくば国際会議場.
 - 納富昭弘: 医療施設における中性子の計測評価と課題, 第 124 回日本医学物理学会学術大会, 2022 年 09 月, 長崎ブリックホール.
 - 山根崇史, 前田英哉, 納富昭弘, 若林源一郎, 高田卓志, 櫻井良憲: ホウ素添加液体シンチレータを用いたホウ素線量分布の光学イメージングの基礎的検討, 次世代放射線シンポジウム 2022(-第 34 回- 放射線夏の学校), 2022 年 08 月, 近畿大学.
 - 前田英哉, 納富昭弘, 呼尚徳, 柿野諒, 秋田和彦, 小野公二: ホウ素添加液体シンチレータを用いた臨床 BNCT 場でのホウ素線量分布の光学イメージングの試み, 次世代放射線シンポジウム 2022(-第 34 回- 放射線夏の学校), 2022 年 08 月, 近畿大学.
 - 高橋昭彦 馬場眞吾 佐々木雅之: アスタチン-211SPECT のモンテカルロシミュレーション研究, 第 42 回核医学技術学会総会学術大会, 2022 年 09 月, 国立京都国際会館.
 - 赤坂玲河 高橋昭彦 関川裕矢 馬場眞吾 佐々木雅之: Lu-177 β 線の吸収線量分布の計算機シミュレーション, 第 42 回日本核医学技術学会総会学術大会, 2022 年 09 月, 国立京都国際会館.
 - 江口範士朗 高橋昭彦 馬場眞吾 佐々木雅之: Th-227 画像の病変検出能評価:モンテカルロシミュレーション研究, 第 42 回日本核医学技術学会総会学術大会, 2022 年 09 月, 国立京都国際会館.
 - 赤坂玲河 高橋昭彦 関川祐矢 馬場眞吾 佐々木雅之: Lu-177 の SPECT 画像における散乱補正の影響, 第 78 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2022 年 04 月, みなとみらい横浜.

- 江口範士朗 高橋昭彦 馬場眞吾 佐々木雅之: Th-227 SPECT 画像化のモンテカルロシミュレーション, 第 78 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2022 年 04 月, みなとみらい横浜.
- 近藤雅敏、本松晃、中村美咲、赤嶺寛地、小島宰、舩津亮平、白坂崇、加藤豊幸: デュアルエネルギーCT での仮想単色 X 線画像を用いたヨード密度値の逆推定, 第 17 回九州放射線医療技術学術大会, 2022 年 11 月, アクロス福岡.
- 河窪 正照, 山崎 誘三, 長尾 充展, 阿部 弘太郎, 細川 和也, 永田 弾, 山村 健一郎, 豊村 大亮, 山本 篤志, 新井 英雄, 門上 俊明.: Right Ventricular Myocardial Strain Derived from Cardiac Magnetic Resonance Imaging and Positron Emission Tomography, 第 87 回日本循環器学会学術集会, 2023 年 03 月, 福岡国際会議場・福岡サンパレス・マリンメッセ福岡・福岡国際センター(福岡市).
- 中尾 梨沙子, 長尾 充展, 河窪 正照, 山本 篤志, 百瀬 満, 坂井 晶子, 坂井 修二, 山口 淳一.: Virtual Myocardial PET Created from Deep Learning of SPECT and PET Datasets: Potential for SPECT Artifact Correction, 第 87 回日本循環器学会学術集会, 2023 年 03 月, 福岡国際会議場・福岡サンパレス・マリンメッセ福岡・福岡国際センター(福岡市).
- 山本 篤志, 長尾 充展, 河窪 正照, 安藤 聖恵, 中尾 梨沙子, 坂井 晶子, 百瀬 満, 福島 賢慈, 坂井 修二, 山口 淳一.: Risk Stratification in Coronary Artery Disease Using Myocardial Flow Reserve and Right Ventricular Strain Derived from Semiconductor NH3-PET, 第 87 回日本循環器学会学術集会, 2023 年 03 月, 福岡国際会議場・福岡サンパレス・マリンメッセ福岡・福岡国際センター(福岡市).
- 河窪 正照、脇 大登、白坂 崇、小島 宰、三賀山 諒司、濱崎 洋志、赤嶺寛地、加藤 豊幸: 胸部 X 線画像の深層学習モデルによる体内手術遺残物の検出特性, 第 38 回日本診療放射線技師学術大会, 2022 年 09 月, 神戸コンベンションセンター(神戸市).
- 河窪 正照: 心臓 MRI を用いた肺高血圧症における右室リモデリング評価, 第 133 回関西 IVR 撮影技術研究会定例会, 2022 年 07 月, WEB 開催.
- 山本 篤志, 長尾 充展, 河窪 正照, 安藤 聖恵, 中尾 梨沙子, 松尾 有香, 福島 賢慈, 百瀬 満, 金子 恒一郎, 坂井 修二, 萩原 誠久.: Myocardial Energy Estimated by Ammonia PET: New Strategy for Coronary Artery Disease (YIA 最優秀賞), 第 32 回日本心血管画像動態学会, 2022 年 05 月, 東京コンベンションホール(東京都中央区).
- 河窪 正照、脇 大登、白坂 崇、小島 宰、三賀山 諒司、濱崎 洋志、加藤 豊幸: 胸部エックス線画像の深層学習による外科手術に伴う体内遺残物検出システムの開発(銅賞), 第 78 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2022 年 04 月, パシフィコ横浜.

f. 学会以外での講演, 発表 なし

著作

a. 単行本

- 藤淵 俊王: (共著) 診療放射線技師 スリム・ベーシック 放射線医学概論, 2023 年 03 月, メジカルビュー社.

- 佐々木智成、藤淵俊王、渥美和重、納富昭弘、鈴木啓司、大浦弘樹、日高恭平、福永淳一、船津奈緒美、佐藤弘史、熊田博明、廣瀬貴章、松本亮二、横山雄一：（共著）診療放射線技術選書 放射線治療技術学，2022年12月，南山堂。

b. 総説

- 有村 秀孝、廣瀬 貴章、兒玉拓巳、古田凜太郎：医療へのラジオミクス AI の貢献 一連載：医療 AI 技術の現在と未来一，週間医学のあゆみ vol282, No.11, 1033-1038, 2022.9.10, 2022年09月。
- 藤淵 俊王：仮想現実技術による散乱線分布の可視化と放射線防護教育への活用，医用画像情報学会雑誌 Vol.39, No.2, 19-23, 2022年06月。

c. 解説, 書評など

- 藤淵 俊王：放射線防護教育への ICT 活用事例の紹介，Isotope News, No.783, 71-74, 2022年10月。
- 藤淵 俊王：「被ばく線量管理・放射線防護」に関するぜひ読むべき論文、興味深い示唆に富む論文，Rad Fan, 7月臨時増刊号 第20巻 第8号, 87-91, 2022年06月。
- 藤淵 俊王：放射線診療における医療従事者の被ばく—正しい知識から安心と安全を見直す—，保健の科学，2022年06月。
- 藤淵 俊王：DXと放射線防護教育，NL だより，2022年04月。
- 藤淵 俊王：医療現場における職業被ばくの現状と課題，新医療 No.568, 86-89, 2022年04月。
- 山根 志穂, 近藤 雅敏, 日置 一仁, 白坂 崇, 加藤 豊幸：Dual energy CT において脂肪含有率が virtual non-contrast 画像に及ぼす影響，日本 CT 技術学会雑誌，2022年07月。
- 勝山 裕菜, 小島 宰, 白坂 崇, 近藤 雅敏, 加藤 豊幸：Deep learning を用いた Dual energy CT における仮想単色 X 線画像の画質評価，日本 CT 技術学会雑誌，2022年07月。
- Arai H, Kawakubo M, Kadokami T: Editorial for: "Image-Based Biological Heart Age Estimation Reveals Differential Aging Patterns Across cardiac chambers", J Magn Reson Imaging, 2023年03月。
- 河窪正照：第78回日本放射線技術学会総会学術大会表彰 Cypos 賞銅賞を受賞して，公益社団法人日本放射線技術学会九州支部会誌，2023年01月。
- Arai H, Kawakubo M, Kadokami T: Editorial for: "First-Pass Myocardial Perfusion With Increased Anatomic Coverage at 3T Using Autocalibrated Multiband Imaging", J Magn Reson Imaging, 2022年04月。

受賞

- 有村，「"Noninvasive Prediction of Myocardial Ischemia Based on Fractional Flow Reserve Derived from Coronary Computed Tomography"」，AOCMP 2022, Best Student Award, Hamasaki H. Arimura, et al. "Noninvasive Prediction of Myocardial Ischemia Based on Fractional Flow

Reserve Derived from Coronary Computed Tomography”, AOCMP 2022, Taipei, Dec.10-12, 2022, 2022 年 12 月.

- 有村, 「Highly Cited Award, Arimura H. ”Radiomics with artificial intelligence for precision medicine in radiation therapy” JASTRO Japanese Society for Radiation Oncology Hiroshima, Nov.10, 2022.」, 日本放射線腫瘍学会第 35 回学術大会 Highly Cited Award, Arimura H. ”Radiomics with artificial intelligence for precision medicine in radiation therapy”, 日本放射線腫瘍学会第 35 回学術大会、広島、2022/11/10, 2022 年 11 月.
- 河窪, 「胸部エックス線画像の深層学習による外科手術に伴う体内遺残物検出システムの開発」, CyPos 賞 銅賞, 第 78 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2022 年 05 月.

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 藤淵, 線量管理システムの機能追加に関する研究, 株式会社 A-Line, 2022 年 04 月～2023 年 03 月, 公開.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許

- 画像変換装置、画像変換方法及び画像変換プログラム, 長尾充展、河窪正照, 特願 2023-002460.

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 有村, 近藤 University of Malaya, 5-8 March 2023 (Malaysia), 大学・研究所訪問, 2023 年 03 月
- 有村, SPIE Medical Imaging, San Diego, CA, 19-23 Feb.2023 (United States of America), 国際会議, 2023 年 02 月

2. 外国人研究者の受入れ

- a. 訪問教授・研究員 なし
- b. 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ

Ceyda Cumur (トルコ) 修士課程

Danc Quac Soai(ベトナム)	博士課程
Han Ruotong (中国)	研究生
Nafise Hasoomi(イラン)	研究生
武 錦岳(中国)	研究生

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 有村, マス・フォア・イノベーション卓越大学院プログラム実施委員.
- 有村, 九州がんプロ養成基盤推進プラン医学物理士養成コース担当者.
- 藤淵, 放射線障害防止委員会委員.

2. 部局委員 なし

3. 部門・コース内委員

- 有村, 医用量子線科学分野 分野長.
- 有村, 財務委員会 委員.
- 有村, 人事委員会 委員.
- 有村, 20周年記念誌編集委員会 委員.
- 藤淵, 人事委員会 委員.
- 藤淵, 教務委員会 委員長.
- 藤淵, 学生委員会 副委員長.
- 納富, 学生委員会 委員.
- 近藤, FD委員会 委員.
- 近藤, 地域国際連携推進委員会 委員.
- 近藤, 20周年記念誌編集委員会 委員.
- 河窪, FD委員会 委員.
- 河窪, 地域国際連携推進委員会 委員.
- 河窪, 20周年記念誌編集委員会 委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 有村, 群馬大学大学院・医学研究科生命医科学専攻, 非常勤講師.
- 納富, 福岡大学・医学部, 客員教員.
- 納富, 近畿大学 原子力研究所 客員准教授, 客員教員.
- 納富, 福岡市医師会看護学校, 客員教員.

2. 学協会

- 有村, 医用画像情報学会(MII), 理事, 国内.

- 藤淵, 日本保健物理学会, 第 56 回研究発表会 実行委員, 国内.
- 藤淵, 日本保健物理学会, 第 55 回研究発表会 大会長, 国内.
- 藤淵, 日本保健物理学会, 医療被ばく国民線量評価委員会 委員, 国内.
- 藤淵, 日本核医学技術学会, 評議員, 国内.
- 藤淵, 日本保健物理学会, コミュニケーション委員会 委員長, 国内.
- 藤淵, 日本保健物理学会, 連携協力 WG 委員, 国内.
- 藤淵, 日本放射線技術学会, 代議員, 国内.
- 納富, 日本医学物理学会, 理事 (英文誌担当理事), 国内.
- 納富, 日本医学物理学会, 理事, 国内.
- 納富, BNCT 推進協議会, 人材育成 WG 委員, 国内.
- 納富, 日本中性子捕捉療法学会, BNCT 人材育成委員会委員, 国内.
- 納富, Journal of Nuclear Science and Technology, 査読委員, 国内.
- 納富, Physics in Medicine and Biology, 査読委員, 国際.
- 納富, Proceedings of the Japan Academy, Series B, 査読委員, 国内.
- 納富, Medical Physics, 査読委員, 国際.
- 納富, 日本放射線技術学会誌, 査読委員, 国内.
- 納富, Journal of Radiation Research, 査読委員, 国際.
- 納富, Radiological Physics and Technology, 編集委員長, 国際.
- 近藤, 日本保健物理学会, 第 55 回研究発表会 実行委員, 国内.
- 河窪, Korean Society of Radiological Science (KSRS), Editor of the Journal of Radiological Science and Technology, 国際.
- 河窪, 日本放射線技術学会, 代議員, 国内.
- 河窪, 日本放射線技術学会, 計測部会 診断領域線量計標準センター 班員, 国内.

3. 官界

- 藤淵, 「原子力規制庁「放射線対策委託費(国際放射線防護調査)事業委員会」委員」.
- 藤淵, 「国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構「被ばく医療診療手引き編集委員会」委員」.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 有村, 新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン先端医用量子線技術科学コース講演会, コーディネーター

5. 公開講座・公開講演会

- 藤淵, 「令和 4 年度鹿児島県原子力防災訓練、放射線の基礎知識と原子力災害時の行動について」, 鹿児島県危機管理防災局原子力安全対策課、公益財団法人原子力安全技術センター, 八重地区コミュニティセンター, セミナー・研修会.
- 藤淵, 「福岡県防災業務関係者研修(バス等輸送業者向け)」, 福岡県、原子力安全技術センター, 福岡県中小企業振興センター, セミナー・研修会.
- 藤淵, 「福岡県原子力防災基礎研修(自治体職員等向け)」, 福岡県、原子力安全技術センター, 福岡県中小企業振興センター, セミナー・研修会.

6. 初等中等教育への貢献

- 近藤, 「【出前講座】目指せ！未来を切り拓く診療放射線技師」, 明治学園高等学校, 講演・セミナー等.

医用量子線科学分野

《医用放射線科学》

教授	佐々木 雅之
教授	杜下 淳次
教授	藪内 英剛
准教授	井手口 忠光
准教授	渥美 和重
助教	田中 延和

1. 教育活動

1. 大学院講義

ヘルスサイエンス論	佐々木	前期
臨床量子線科学 I	佐々木	前期
Clinical Quantum Science I	佐々木	前期
Health Science	佐々木	前期
臨床量子線科学 II	佐々木	後期
Molecular & Functional Imaging Technology	佐々木	後期
Clinical Quantum Science II	佐々木	後期
分子機能画像科学	佐々木	後期
保健学研究論	杜下	前期
臨床量子線科学 I	杜下	前期
Health Science Research	杜下	前期
Clinical Quantum Science I	杜下	前期
分子機能画像科学論	藪内	後期
Molecular & Functional Imaging Technology	藪内	後期
保健医療とデータ科学	藪内	夏学期
臨床量子線科学 I	藪内	前期
Data Sciences in Health and Medicine	藪内	夏学期
Clinical Quantum Science I	藪内	前期
Clinical Quantum Science I	渥美	前期
International Society and Multidisciplinary Care	渥美	前期
保健医療とデータ科学	渥美	夏学期
先端医療論	渥美	前期
国際社会とチーム医療	渥美	前期
臨床量子線科学 I	渥美	前期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

国際プレゼンテーション	佐々木	通年
-------------	-----	----

医療英語	佐々木	通年
保健学特別研究	佐々木	通年
分子機能画像科学演習	佐々木	前期
医用量子線科学特別研究	佐々木	通年
Practice in Molecular & Functional Imaging Technology	佐々木	前期
国際プレゼンテーション	杜下	通年
保健学特別研究	杜下	通年
医用量子線科学特別研究	杜下	通年
臨床量子線科学Ⅱ	藪内	後期
Clinical Quantum Science Ⅱ	藪内	後期
国際プレゼンテーション	藪内	通年
保健学特別研究	藪内	通年
分子機能画像科学演習	藪内	前期
医用量子線科学特別研究	藪内	通年
Practice in Molecular & Functional Imaging Technology	藪内	前期
医用量子線科学特別研究	井手口	通年
Practice in Quantum Radiation Therapy	渥美	前期
医用量子線科学特別研究	渥美	通年
量子線治療科学演習	渥美	前期

4. 大学院修士課程修了者

金 禮志	個人識別のための深層学習を用いた死後 CT2 次元投影画像からの骨の抽出
品川 晴哉	画像処理による X 線 CT スカウト画像から体内埋め込み金属の検出方法の開発
松下 友基	4D FreeBreathing を用いた MR spirometry の有用性の検討
追立 和久	Compressed SENSE MRI を用いた手関節・膝関節準静態撮像の有用性の検討
山中 宥樺	肺癌の VMAT-SBRT において、コリメータ角度に対する AcurosXB と AAA の線量分布の相違

5. 大学院博士課程修了者

小島 宰	Importance of the heart rate in ultra-high-resolution coronary CT angiography with 0.35s gantry rotation time
赤嶺 寛地	Improvement of the Visibility of Hepatocellular Carcinoma Lesions in Early Phase Abdominal Contrast-Enhanced Computed Tomography Images: Utilization of Optimal Pseudo-Colorization

6. 学部講義

医療安全学	佐々木	秋学期
臨床解剖薬理学	佐々木	冬学期
核医学検査学Ⅱ	佐々木	後期
放射化学	佐々木	秋学期
放射線技術科学入門Ⅱ	佐々木	後期
医学総論Ⅱ	佐々木	冬学期
医学総論Ⅰ	佐々木	秋学期
核医学検査学Ⅰ	佐々木	前期
放射性同位元素検査技術学	佐々木	春学期

放射線技術科学入門Ⅰ	佐々木	前期
放射線医学技術学概論	佐々木	夏学期
放射線技術科学入門Ⅰ	杜下	前期
放射線画像技術学Ⅰ	杜下	前期
放射線医学技術学概論	杜下	夏学期
医用画像評価学	杜下	後期
実践画像技術学	杜下	冬学期
放射線技術科学入門Ⅱ	杜下	後期
医学総論Ⅰ	藪内	秋学期
医学総論Ⅱ	藪内	冬学期
放射線技術科学入門Ⅱ	藪内	後期
画像解剖学Ⅰ	藪内	後期
臨床解剖薬理学	藪内	冬学期
画像解剖学Ⅱ	藪内	後期
人体の構造と機能Ⅱ	藪内	前期
人体の構造と機能Ⅲ	藪内	前期
放射線医学技術学概論	藪内	夏学期
放射線技術科学入門Ⅰ	藪内	前期
MR画像技術学	藪内	前期
放射線技術科学入門Ⅱ	井手口	後期
医用画像情報学	井手口	後期
医療安全学	井手口	秋学期
医用画像評価学	井手口	後期
品質管理論	井手口	後期
放射性同位元素検査技術学	井手口	春学期
放射線画像技術学Ⅱ	井手口	前期
放射線技術科学入門Ⅰ	井手口	前期
放射線技術科学入門Ⅱ	渥美	後期
人体の構造と機能Ⅱ	渥美	前期
医学総論Ⅰ	渥美	秋学期
医学総論Ⅱ	渥美	冬学期
放射線医学技術学概論	渥美	夏学期
放射線技術科学入門Ⅰ	渥美	前期
放射線治療技術学Ⅰ	渥美	前期
放射線生物学	渥美	前期
臨床解剖薬理学	渥美	冬学期
品質管理論	田中	後期
医用画像評価学	田中	後期
放射線技術科学入門Ⅱ	田中	後期
基礎医療統計	田中	夏学期
放射線画像技術学Ⅱ	田中	前期
放射線技術科学入門Ⅰ	田中	前期

7. 学部の実験・実習・演習

放射化学実験	佐々木	冬学期
--------	-----	-----

放射線画像技術学実習	杜下	後期
臨地実習	杜下	通年
卒業研究	杜下	通年
放射化学実験	井手口	冬学期
画像解剖学演習	井手口	後期
放射線画像技術学実習	井手口	後期
臨地実習	井手口	通年
卒業研究	井手口	通年
放射線機器学実験	井手口	春学期
放射線治療技術学実習	渥美	後期
放射化学実験	田中	冬学期
放射線画像技術学実習	田中	後期
医用画像評価学	田中	後期
画像解剖学演習	田中	後期
放射線計測学実験	田中	前期
臨地実習	田中	通年
卒業研究	田中	通年

8. 卒業論文作成者

原口 日菜子	PET/CT における反復する連続移動収集の加算の空間分解能への影響
丸森 陽南子	PET/CT における反復する連続移動収集を用いた広範囲動態撮影の基礎的検討
仲地 翔太	PET/CT における反復する連続移動収集の加算回数と画質の検討
土屋 星南	超高精細 CT の至適医用モニタ: 2MP, 8MP モニタの比較
小川 祥輝	性別推定のための生体指紋の検討: 死後 CT 画像の肋骨形状分析
小野 彰大	医用 LCD モニタの最大輝度劣化が低コントラスト検出能に及ぼす影響
宮崎 護	胸部単純 X 線撮影で X 線入射位置の違いが画像に与える影響に関する研究
溝上 駿輔	特発性肺線維症患者の予後予測における CT 定量パラメータの有用性の検討
西澤 直人	三角線維軟骨複合体 (TFCC) の描出能: T2*WI と脂肪抑制 T2WI の比較
北 健斗	マルチ施設データを用いた target EI 決定に関する研究～FNC が画質に与える影響～
仲山 明日香	マルチ施設データを用いた target EI 決定に関する研究～SSIM による画質解析
池松 璃乃	医療安全の視点から見たアイトラッキングによる患者撮影時の注視点解析 ～初学者と熟練者の比較～
藤野 なみ	アイトラッキングを用いた撮影ポジショニング時の注視点解析 ～初学者と熟練者の比較～
佐藤 聖一郎	肺癌に対する体幹部定位放射線治療におけるリーフマージンの検討
麻生 理沙子	肺癌の SBRT における照射法とアルゴリズムの違いによる線量分布の比較
立石 希美	異なる照明環境下における乳腺超音波エラストグラフィの色度測定に関する研究
御手洗 早紀	液晶ディスプレイの設定と乳腺超音波エラストグラフィの色度の関連性に関する研究

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	PET/CT, SPECT/CT を用いた分子イメージングによる腫瘍診断	佐々木
2	PET/CT, SPECT/CT を用いた分子イメージングによる中枢神経系の診断	佐々木
3	身元確認のための画像認識技術の開発	杜下
4	画像情報を用いた自動認識技術の開発	杜下
5	医療用液晶ディスプレイ装置の画質	杜下
6	デジタル X 線画像の画質評価法の開発	杜下
7	デジタルマンモグラフィの乳癌診断能の研究	藪内
8	乳腺腫瘍の MRI による診断	藪内
9	頭頸部腫瘍の MRI による診断	藪内
10	造影ダイナミック MRI と拡散強調 MRI を用いた乳癌の予後予測画像所見の研究	藪内
11	肺癌の化学療法効果を早期に予測する画像パラメーターの研究	藪内
12	デジタル X 線画像における新しい画像評価法の検討	井手口
13	自然言語処理を用いた検査オーダー支援に関する研究	井手口
14	食道癌に対する放射線治療	渥美
15	肺腫瘍に対する定位的放射線照射 (SRT)	渥美
16	前立腺癌に対する強度変調放射線治療 (IMRT)	渥美
17	画像誘導放射線治療 (IGRT)	渥美
18	超音波診断システムの撮像技術に関する研究	田中
19	デジタルラジオグラフィシステムの画質と被ばく線量の評価に関する研究	田中
20	液晶ディスプレイの特性の評価に関する研究	田中

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」高分解能半導体PET装置による高精度分子イメージング技術の開発, 佐々木(代表).
- 「基盤研究(C)」放射線画像認識技術を用いた死後画像の特定に関する研究, 杜下(代表).
- 「若手研究」深層学習による線量指標を用いた画質管理の基礎的研究, 田中(代表), 700 千円.

3. 学内研究経費の受入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ なし

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「EIZO 株式会社 医療用液晶モニタの画像特性に関する研究」杜下, 1110 千円.

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Mitsuha Fukami, Masayuki Sasaki, et al.: The application of compressed sensing reconstruction for myocardial perfusion image shortens the acquisition time: a simulation study. 69th Annual Meeting, *Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging*, June 11–14, 2022. Vancouver, Canada (Meeting Report)
- Kodai Kumamoto, Hideaki Sato, Yuji Tsutsui, Shinichi Awamoto, Yasuo Yamashita, Shingo Baba, Masayuki Sasaki: Continuous bed motion in a silicon photomultiplier-based scanner provides equivalent spatial resolution and image quality in whole body PET images at similar acquisition times using the step-and-shoot method, *J Nucl Med Technol.*, 50, 4, 335 – 341, 2022 年 12 月. (査読あり)
- Ueda Yasuyuki, Junji Morishita, Shohei Kudomi: Biological fingerprint for patient verification using trunk scout views at various scan ranges in computed tomography. *Radiological physics and technology* 2022 年 9 月. (査読あり)
- Koji OURA, Noriaki IKEDA, Yongsu YOON, Toyoyuki KATO, Junji MORISHITA: Potential for personal identification using the volume of the mastoid air cells extracted from post mortem computed tomographic images, *Legal Medicine*, 58, 2022 年 04 月. (査読あり)
- Yoichiro Ikushima, Shogo Tokurei, Shusaku Sato, Kojiro Ikushima, Noriyuki Hashimoto, Junji Morishita, and Hidetake Yabuuchi: Influence of Resolution of Display Monitor and Displayed-Image Size on Spatial Resolution of CT Images with Different Image Matrix Sizes: A Phantom Study, *Radiological Physics and Technology*, 2022 年 05 月. (査読あり)
- Yoichiro Ikushima, Shogo Tokurei, Hiroyuki Tarewaki, Junji Morishita, Hidetake Yabuuchi: A novel algorithm for comprehensive quality assessment of clinical magnetic resonance images based on natural scene statistics in spatial domain, *Magn Reson Imaging*. 2022 年 10 月 (査読あり)
- Tatsuhiko Wada, Chiaki Tokunaga, Osamu Togao, Akio Hiwatashi, Kazufumi Kikuchi, Masami Yoneyama, Kouji Kobayashi, Toyoyuki Kato, Kouji Yoshimoto, Kousei Ishigami, Hidetake Yabuuchi: Three-dimensional chemical exchange saturation transfer imaging using compressed SENSE for full *z*-spectrum acquisition. *Magn Reson Imaging*. 2022 年 10 月 (査読あり)
- Hiroki Fujiwara, Hidetake Yabuuchi H, Tatsuhiko Wada, Kouji Kobayashi, Touko Hoshuyama, Takeshi Kamitani, Kousei Ishigami. High-resolution magnetic resonance imaging of the triangular fibrocartilage complex using compressed sensing sensitivity encoding (SENSE), *Eur J Radiol*. 2022 年 4 月 (査読あり)
- Masateru Kawakubo, Michinobu Nagao, Atsushi Yamamoto, Risako Nakao, Yuka Matsuo, Kenji Fukushim, Eri Watanabe, Akiko Sakai, Masayuki Sasaki, Shuji Sakai.: ¹³N-ammonia positron emission tomography-derived endocardial strain for the assessment of ischemia

using feature-tracking in high-resolution cine imaging, *Journal of Nuclear Cardiology* 29, 5, 2103 – 2114, 2022 年 10 月. (査読あり)

- Masateru Kawakubo, Michinobu Nagao, Yamamoto A, Nakao R, Matsuo Y, Kaneko K, Watanabe E, Sakai A, Sasaki M, Sakai S.: (13) N-ammonia PET-derived right ventricular longitudinal strain and myocardial flow reserve in right coronary artery disease, *EUROPEAN JOURNAL OF NUCLEAR MEDICINE AND MOLECULAR IMAGING*, 49, 6, 1870 – 1880, 2022 年 05 月. (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Yeji Kim, Yongsu Yoon, Junji Morishita, Haruya Shinagawa, Yusuke Matsunobu, Noriaki Ikeda: Segmentation of bone structures in post-mortem computed tomography imaging by U-Net for personal identification, Korean Society of Radiation Science, 2022 年 05 月, Korea.
- Haruya Shinagawa, Junji Morishita, Yeji Kim, Noriaki Ikeda: Detection of implanted metals using local features from scout images of postmortem computed tomography, Korean Society of Radiation Science, 2022 年 05 月, Korea.
- Hiroshi Akamine, Junji Morishita, Masayuki Sasaki: Improvement of the visibility in computed tomography imaging using optimal pseudo-colorization, Korean Society of Radiation Science, 2022 年 05 月, Korea.
- Reiji KATAYAMA, Junji MORISHITA: Development of a measurement system in virtual reality space for medical education, Korean Society of Radiation Science, 2022 年 05 月, Korea.
- Hyuma KAMEKAWA, Noriaki IKEDA, Junji MORISHITA: Creation of pseudo-panorama dental images from postmortem X-ray CT imaging, Korean Society of Radiation Science, 2022 年 05 月, Korea.
- Yoichiro Ikushima, Shogo Tokure, Hiroyuki Tarewak, Junji Morishita, Hidetake Yabuuchi: Robust MR image quality assessment algorithm irrespective of the quality of reference images, Joint Annual Meeting ISMRM-ESMRMB, 2022 年 05 月, United Kingdom.
- Yamanaka Y, Inoue K, Suetsugu Y, Tateishi M, Hirose T, Fukunaga J, Yoshitake T, Sasaki T, Atsumi K: Differences between AcurosXB and AAA on collimator angle in VMAT-SBRT for lung lesions, AAPM (The American Association of Physicists in Medicine) 64th Annual Meeting, 2022 年 06 月, United States of America.
- Nobukazu Tanaka, Nariaki Tabata, Takafumi Ohfuji, Nami Imoto, Toyoyuki Kato, Tadimitsu Ideguchi: Evaluation of Emphasis of Noise Suppression Processing Technology Using Structural Similarity Index (座長推薦優秀研究発表), The 1st International Conference on Radiological Physics and Technology (ICRPT), 2022 年 04 月, Japan.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告

- 東出 了、井手口忠光：日本放射線技術史(第3巻)，日本放射線技術学会，2022年04月。

e. 国内学会での講演，発表

- 原口日菜子、丸森陽南子、仲地翔太、熊本航大、佐藤秀昭、山下泰生、馬場眞吾、佐々木雅之：PET/CTにおける反復する連続移動の加算の空間分解能への影響、第17回九州放射線医療技術学術大会，2022年11月，アクロス福岡。
- 仲地翔太、丸森陽南子、原口日菜子、熊本航大、佐藤秀昭、山下泰生、馬場眞吾、佐々木雅之：PET/CTにおける反復する連続移動収集の加算回数と画質の検討、第17回九州放射線医療技術学術大会，2022年11月，アクロス福岡。
- 丸森陽南子、仲地翔太、原口日菜子、熊本航大、佐藤秀昭、山下泰生、馬場眞吾、佐々木雅之：PET/CTにおける反復する連続移動収集を用いた広範囲動態撮影の基礎的検討、第17回九州放射線医療技術学術大会，2022年11月，アクロス福岡。
- 佐々木雅之：診療用放射線の安全利用のための研修「診療用放射線の安全利用の基本」、第22回日本核医学会春季大会、2022年5月、web開催。
- 瀬尾 友之、Yongsu Yoon、Yeji Kim、池田 典昭、衛藤 希、臼元 洋介、杜下 淳次：頭蓋骨の形態情報の活用による性別推定：深層学習の利用，第72回日本法医学会学術九州地方集会，2022年10月。
- 品川 晴哉、Yeji Kim、Yongsu Yoon、松延 佑将、衛藤 希、臼元 洋介、池田 典昭、杜下 淳次：Harris 関数を用いたPMCTのスカウト画像からの体内埋め込み金属の検出，第72回日本法医学会学術九州地方集会，2022年10月。
- Yeji Kim、Yongsu Yoon、松延 佑将、品川 晴哉、衛藤 希、臼元 洋介、池田 典昭、杜下 淳次：PMCTから再構築した2次元投影画像と深層学習を用いた骨抽出に関する研究，第72回日本法医学会学術九州地方集会，2022年10月，長崎大学医学部ポンペ会館。
- 金 禮志、ユン ヨンス、杜下淳次、池田典昭：深層学習を用いた個人識別のための死後CT画像からの骨の抽出，第78回日本放射線技術学会，2022年04月，横浜。
- 品川晴哉、杜下淳次、池田典昭：死後に撮影したX線CTの位置決め画像からの体内埋め込み金属の検出，第78回日本放射線技術学会，2022年04月，横浜。
- 藪内 英剛：肺癌診療におけるMRIの役割：新しい撮像技術と定量評価，第14回呼吸機能イメージング研究会学術集会，2023年01月，北海道大学学術交流会館(札幌市)。
- 松下友基、藪内英剛、徳永千晶、塩津弘倫、浅野波慧、扇浦拓也、追立和久。4D FreeBreathingを用いたMRスパイロメトリーの有用性の検討，第78回日本放射線技術学会総会学術大会。2022年4月，横浜市(パシフィコ横浜)。
- 追立和久、藪内英剛、村崎裕生、和田達弘、小林幸次、松下友基、稲富 輝。前十字靱帯の二種線維束の描出におけるCompressed SENSE MRIを用いた準静態撮影の有用性の検討，第50回日本磁気共鳴医学会。2022年9月，名古屋国際会議場。

- 松下友基, 藪内英剛, 徳永千晶, 塩津弘倫, 浅野波慧, 扇浦拓也, 追立和久. 4D FreeBreathing を用いた MR スパイロメトリーの有用性の検討, 第 50 回日本磁気共鳴医学会. 2022 年 9 月, 名古屋国際会議場(名古屋市).
- 西澤直人, 藪内英剛, 追立和久, 松下友基, 稲富輝, 土屋星南, 溝上 駿輔: 三角線維軟骨複合体 (TFCC) の描出能: T2*WI と脂肪抑制 T2WI の比較, 第 17 回九州放射線医療技術学術大会, 2022 年 11 月, アクロス福岡(福岡市).
- 土屋星南, 藪内英剛, 追立和久, 松下友基, 稲富輝, 溝上駿輔, 西澤直人: 超高精細 CT の至適医用モニタ: 2MP, 8MP モニタの比較, 第 17 回九州放射線医療技術学術大会, 2022 年 11 月, アクロス福岡(福岡市).
- 溝上駿輔, 藪内英剛, 追立和久, 松下友基, 稲富輝, 土屋星南, 西澤直人: 特発性肺線維症患者の予後予測における CT 定量パラメータの有用性の検討, 第 17 回九州放射線医療技術学術大会, 2022 年 11 月, アクロス福岡(福岡市).
- 稲富輝, 藪内英剛, 船津亮平, 齊藤裕也, 松下友基, 追立和久, 和田達弘, 小林幸次, 山崎誘三: Compressed SENSE を用いた高速撮像 REACT 肺 MR Angiography の至適撮像法の検討, 第 18 回呼吸機能イメージング研究会学術集会, 2023 年 1 月, 北海道大学学術交流会館(札幌市).
- 田畑成章, 立石賢, 板井宏孝, 井手口忠光: Cycle GAN(GAN)を用いた X 線撮影トレーニングツールの開発, 第 17 回九州放射線医療技術学術大会, 2022 年 11 月, 福岡市(アクロス福岡).
- 立石賢, 田畑成章, 板井宏孝, 井手口忠光: X 線 CT 画像における SSIM(MS-SSIM)を用いた新たな画像評価法の検討, 第 17 回九州放射線医療技術学術大会, 2022 年 11 月, 福岡市(アクロス福岡).
- 板井宏孝, 是枝大地, 田畑成章, 立石賢, 井手口忠光: デジタル X 線画像における新しい画質評価法の検討, 第 17 回九州放射線医療技術学術大会, 2022 年 11 月, 福岡市(アクロス福岡).
- 北 健斗, 仲山明日香, 田中延和, 田畑成章, 立石 賢, 加藤豊幸, 井手口忠光: マルチ施設データを用いた target EI 決定に関する研究 - FNC が画質に与える影響 -, 第 17 回九州放射線医療技術学術大会, 2022 年 11 月, 福岡市(アクロス福岡).
- 仲山明日香, 北 健斗, 田中延和, 田畑成章, 立石 賢, 加藤豊幸, 井手口忠光: マルチ施設データを用いた target EI 決定に関する研究 - SSIM による画質解析 -, 第 17 回九州放射線医療技術学術大会, 2022 年 11 月, 福岡市(アクロス福岡).
- 田中 延和: 超基本 Web 講座「デジタル画像の基礎から臨床までシームレスに学ぶ! - 第 7 回 -」『物理評価(3)ノイズ測定』デジタル撮影システムのノイズ測定について, 第 14 回九州医用画像コミュニティ, 2022 年 7 月, Web 開催.
- 立石 希美, 御手洗 早紀, 田中 延和: 乳腺超音波検査における照明環境とエラストグラフィの色度の関係, 第 17 回九州放射線医療技術学術大会, 2022 年 11 月, アクロス福岡.
- 御手洗 早紀, 立石 希美, 田中 延和: 医用液晶ディスプレイの色温度と階調特性の違いが乳腺超音波検査のカラー画像の色度に及ぼす影響, 第 17 回九州放射線医療技術学術大会, 2022 年 11 月, アクロス福岡.

- f. 学会以外での講演, 発表 なし

著作

a. 単行本

- 佐々木智成 藤淵俊王 渥美和重: (共著) 放射線治療技術学, 2022年12月, 南山堂.

b. 総説

- Go Akamatsu, Yuji Tsutsui, Hiromitsu Daisaki, Katsuhiko Mitsumoto, Shingo Baba, Masayuki Sasaki.: A review of harmonization strategies for quantitative PET, Annals of Nuclear Medicine, 2023年01月.

c. 解説, 書評など

- 井手口忠光: 研究室紹介(画像通信 Vol.45 No.2), 日本放射線技術学会 画像部会, 2022年10月.

受賞

- 佐々木, 「大学院生(深見光葉)が69th Annual Meeting of SNMMIにて2022 ERF SNMMI-TS Professional Development Grant Award for the SNMMI Annual Meeting for CNMT and ARRT(N) technologist and studentsを受賞した。’, 2022 SNMMI-TS Award, Society of Nuclear Medicine, 2022年06月.
- 杜下, 「指導する金イエジさん(韓国からの留学生)が受賞’, 学生賞(優秀賞), 日本放射線技術学会, 2022年05月.
- 井手口, 「優れた研究に対し、研究費を助成する制度。テーマ:深層学習を用いたシェッフェの一对比較法による画質評価:田畑 成章, 井手口忠光副賞:10万円’, 2023年度九州支部 Research Award, 公益社団法人日本放射線技術学会九州支部, 2023年03月.

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 杜下, 医療用液晶モニタの画像特性に関する研究, EIZO株式会社, 2006年05月~2023年03月, 非公開.
- 井手口, 田中, デジタル X線画像システムの画質と撮影関連データの有効利用に関する研究, 富士フイルムメディカル株式会社, 2019年03月~2023年03月.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし
5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張 なし
2. 外国人研究者の受入れ
 - a. 訪問教授・研究員 なし
 - b. 訪問研究者 なし
3. 留学生の受入れ
Yeji KIM(韓国) 修士課程
4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員 なし
2. 部局委員
 - 佐々木, 九州大学病院放射性医薬品委員会 委員.
 - 佐々木, 九州大学病院サイクロロン産生放射性同位元素の医学利用に関する委員会 委員.
 - 藪内, 医学研究院 副研究院長.
 - 田中, 安全・衛生委員会 委員.
3. 部門・コース内委員
 - 佐々木, 医学研究院保健学部門 施設環境委員会 委員長.
 - 杜下, 放射線安全管理委員会 委員.
 - 杜下, 広報委員会 副委員長.
 - 杜下, 大学院委員会 委員.
 - 藪内, 保健学部門長.
 - 藪内, 大学院委員会 委員.
 - 井手口, 医療系統合教育研究センター 委員.
 - 井手口, 教務委員会 委員.
 - 田中, 20周年記念誌編集委員会 委員.
 - 田中, 年報委員会 委員.
 - 田中, 将来計画、点検・評価委員会 委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 佐々木, 熊本大学医学部保健学科, 非常勤講師.
- 渥美, 久留米大学, 非常勤講師.

2. 学協会

- 佐々木, 日本核医学会, 理事, 国内.
- 佐々木, 日本核医学会, 評議員, 国内.
- 佐々木, 日本医学放射線学会, 評議員, 国内.
- 杜下, 日本放射線技術学会・日本医学物理学会 official journal, Radiological Physics and Technology 編集委員, 国内.
- 杜下, 医用画像情報学会, 理事, 国内.
- 杜下, Radiological Physics and Technology, 編集委員, 国際.
- 杜下, 放射線・医療安全管理学, 編集委員, 国内.
- 杜下, 医用画像検査技術学 第4版, 編集委員, 国内.
- 藪内, 日本医学放射線学会, 代議員, 国内.
- 藪内, 日本医学放射線学会, 教育委員, 専門医制度委員, 国内.
- 藪内, Japanese Journal of Radiology, 副編集長, 国内.
- 藪内, European Journal of Radiology, section editor (chest), 国際.
- 藪内, 日本磁気共鳴医学会, 代議員, 国内.
- 井手口, 日本医用画像情報学会, 理事, 国内.
- 井手口, 日本保健物理学会・日本放射線安全管理学会合同大会, 実行委員, 国内.

3. 官界 藪内, 福岡県じん肺診査医

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会 なし

6. 初等中等教育への貢献 なし

3-3. 教員の活動：検査技術科学分野

検査技術科学分野

《生体情報学》

教授	内海 健
教授	重藤 寛史
講師	小島 夫美子
講師	森 大輔
講師	田代 洋行
助教	安田 洋子

1. 教育活動

1. 大学院講義

生体情報解析検査学	重藤	後期
保健学研究論	重藤	前期
生体情報解析学 I	重藤	前期
Health Science Research	重藤	前期
International Society and Multidisciplinary Care	内海	前期
Health Science	内海	前期
生体情報解析学 I	内海	前期
ヘルスサイエンス論	内海	前期
国際社会とチーム医療	内海	前期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

生体情報解析学 II	重藤	後期
国際プレゼンテーション(重藤教授)	重藤	通年
保健学特別研究(重藤教授)	重藤	通年
生体情報解析検査学演習	重藤	前期
検査技術科学特別研究(重藤教授)	重藤	通年
検査技術科学特別研究	田代	通年
生体情報機能検査学演習	内海	前期
検査技術科学特別研究	内海	通年
保健学特別研究	内海	通年
国際プレゼンテーション	内海	通年

4. 大学院修士課程修了者

龍 美玖璃	細胞内 miR-22 発現と In vitro でのマイクロパーティクル数の変化に関する研究
門司 宜久	表面抗原とアネキシン V を用いた膀胱がん細胞株由来の中/大型細胞外

	小胞の特性評価
堂園 裕史	褐色脂肪細胞におけるhTFAM過剰発現は、細胞外小胞の分泌を増加させることにより、肥満抵抗性につながる
深堀 侑奈	ミトコンドリア機能障害によるフェロトーシス誘導機構
高橋 千紘	内側側頭葉てんかん患者の内側側頭葉と機能的関連の高い脳領域の抽出

5. 大学院博士課程修了者

佐藤 翼	High-echoic line tracing of transthoracic echocardiography accurately assesses right ventricular enlargement in adult patients with atrial septal defect
------	--

6. 学部講義

医学総論Ⅰ	重藤	秋学期
医学総論Ⅱ	重藤	冬学期
人体の構造と機能Ⅰ	重藤	前期
臨床検査学概論Ⅰ	重藤	春学期
生理機能検査学Ⅰ	重藤	前期
生理機能検査学Ⅱ	重藤	前期
生理機能検査学Ⅲ	重藤	前期
臨床化学Ⅱ	内海	前期
検査管理総論	内海	前期
先進臨床検査特論	内海	前期
人体の構造と機能Ⅰ	内海	前期
臨床検査学概論Ⅰ	内海	春学期
臨床化学Ⅰ	内海	後期
生物化学分析検査学特論	内海	後期
寄生虫学	小島	前期
臨床検査学概論Ⅰ	小島	春学期
臨床検査総論	小島	春学期
臨床検査学概論Ⅱ	田代	後期
生体情報計測学	田代	前期
生理機能検査学Ⅱ	田代	前期
医用工学・情報概論	田代	前期
医療安全・バイオリスク管理および実習	田代	冬学期
病原体学	森	前期
臨床検査学概論Ⅰ	安田	前期

7. 学部の実験・実習・演習

生理機能検査学実習	重藤	後期
生化学臨床化学実習	内海	後期
寄生虫学	小島	前期
国際感染症学および実習	小島	前期
一般検査学および実習	小島	後期
卒業研究	小島	通年

生体情報計測学実験	田代	後期
医用工学・情報概論実験	田代	秋学期
医療安全・バイオリスク管理および実習	森	冬学期
臨床微生物学および実習	森	前期
組織・病理検査学および実習Ⅲ	安田	後期
組織・病理検査学および実習Ⅰ	安田	後期
組織・病理検査学および実習Ⅱ	安田	前期
生体情報計測学実験	安田	後期

8. 卒業論文作成者

平井 野歩	複合体を形成するフェロトーシス関連遺伝子の発現がもたらす癌の予後への影響
安永 真理子	ミトコンドリア機能障害による心臓線維化の機序の解析
阿野 真由佳	側頭葉てんかん切除術後に発作が再発するメカニズムの解明
石田 梨花	携帯型脳波計による長時間脳波記録の試み
小島 涼	バイノーラルビートによる聴覚誘発脳磁界反応の計測
渡辺 真衣	4種プライマーによる Multiplex PCR を利用した Anisakis simplex 同胞種鑑別法の検討
浜田 璃子	Multiplex PCR を用いた Anisakis simplex 同胞種の新しい鑑別法の検討
古澤 賢人	中赤外線刺激人工網膜の検証系のための中赤外線レーザー装置特性評価
小宮 万季	網膜神経節細胞に光応答性を付与する DENAQ 合成における中間生成物 Nitroazobenzene S3 と Aminoazobenzene 6 の合成経路確立
渡邊 羽菜	胃癌細胞の RNA-seq データベースを利用した EMT 関連遺伝子の検索
秋山 由貴	マレーシアのウイルス性下痢症における Human sapovirus の分子疫学に関する研究
大迫 萌々子	マレーシア・サバ州における Hepatitis A virus の疫学調査
小林 海輝	マレーシアの小児下痢便における Human Astrovirus の疫学調査

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	ミトコンドリア蛋白 ABCB10 の生理機能解析	内海
2	ミトコンドリアーリソソーム機能関連の新規分子機構	内海
3	新規臨床化学測定法の開発	内海
4	脳磁計や電流刺激を用いた言語処理やてんかん活動の解明	重藤
5	アニサキスに関する研究	小島
6	人工視覚システムの開発	田代
7	ニューロモジュレーションを応用した医療治療機器の開発	田代

8	マレーシアにおける Dengue virus の分子疫学調査と新規検出法の開発	森
9	マレーシアにおける SFTS virus の疫学調査と新規検出法の開発	森
10	マレーシアにおける 5 歳以下小児下痢便を用いた分子疫学調査	森
11	膜タンパク質に着目した胃癌転移メカニズムの解明	安田

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(B)」ミトコンドリア機能異常による老化疾患の分子病態の解明と NMN による治療効果, 内海(代表), 5,400 千円.
- 「基盤研究(A)」ミトコンドリア病態解析に基づく臓器特異的ミトコンドリア異常診断法の開発, 内海(分担)
- 「基盤研究(C)」新規脳波バイオマーカーを用いた機械学習によるてんかんの診断手法の開発, 重藤(分担), .
- 「若手研究」マレーシアボルネオ島で流行するデング熱の監視と大規模疫学的解析, 森(代表), 1,600 千円.
- 「基盤研究(C)」失明疾患への治療応用を目指した光薬理学的網膜刺激法による神経応答様態の評価, 田代(連携), .
- 「若手研究」BMI デバイスの治療効果予測・評価のための光刺激—光記録神経活動撮像系の開発, 田代(代表), .

3. 学内研究経費の受入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「日本臨床微生物学会 2022 年度創立四半世紀記念研究成果発表奨励基金」森, 100 千円.

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「九州プロサーチ 検査実用化を目指したシーズ探索 及び有用性の検討」内海, 360 千円.
- 「クロレラ工業株式会社 クロレラのミトコンドリア機能及び解析」内海, 2,800 千円.
- 「(株)ニデック次世代人工視覚の研究」田代, 2,405 千円.
- 「(株)ニデック 次世代人工視覚の研究」田代, 3,000 千円.
- 「帝京大学 神経刺激方法の研究開発」田代, 432 千円.

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Hayashi, Chikako; Fukuda, Takao; Kawakami, Kentaro; Toyoda, Masaaki; Nakao, Yuki; Watanabe, Yukari; Shinjo, Takanori; Sano, Tomomi; Iwashita, Misaki; Yotsumoto, Karen; Shida, Miyu; Taketomi, Takaharu; Sanui, Terukazu; Uchiumi, Takeshi; Kanematsu, Takashi; Nishimura, Fusanori: miR-1260b inhibits periodontal bone loss by tar

- getting ATF6 beta mediated regulation of ER stress, *FRONTIERS IN CELL AND DEVELOPMENTAL BIOLOGY*, 10, , - , 2022 年 11 月. (査読あり)
- Miki, Kenji; Yagi, Mikako; Yoshimoto, Koji; Kang, Dongchon; Uchiumi, Takeshi: Mitochondrial dysfunction and impaired growth of glioblastoma cell lines caused by antimicrobial agents inducing ferroptosis under glucose starvation, *ONCOGENESIS*, 11, 1, 2022 年 10 月. (査読あり)
- Fujii, Masakazu; Setoyama, Daiki; Gotoh, Kazuhito; Dozono, Yushi; Yagi, Mikako; Ikeda, Masataka; Ide, Tomomi; Uchiumi, Takeshi; Kang, Dongchon: TFAM expression in brown adipocytes confers obesity resistance by secreting extracellular vesicles that promote self-activation, *ISCIENCE*, 25, 9, 2022 年 09 月. (査読あり)
- Igami, Ko; Uchiumi, Takeshi; Shiota, Masaki; Ueda, Saori; Tsukahara, Shigehiro; Akimoto, Masaru; Eto, Masatoshi; Kang, Dongchon: Extracellular vesicles expressing CEACAM proteins in the urine of bladder cancer patients, *CANCER SCIENCE*, 113, 9, 3120 - 3133, 2022 年 09 月. (査読あり)
- Kiyokoba R, Uchiumi T, Yagi M, Toshima T, Tsukahara S, Fujita Y, Kato K, Kang D.: Mitochondrial dysfunction-induced high hCG associated with development of fetal growth restriction and pre-eclampsia with fetal growth restriction, *Sci Rep*, , 2022 年 06 月. (査読あり)
- Tsukahara, Shigehiro; Shiota, Masaki; Takamatsu, Dai; Nagakawa, Shohei; Matsumoto, Takashi; Kiyokoba, Ryo; Yagi, Mikako; Setoyama, Daiki; Noda, Nozomi; Matsumoto, Shinya; Hayashi, Tetsutaro; Contreras-Sanz, Alberto; Black, Peter C.; Inokuchi, Junichi; Kohashi, Kenichi; Oda, Yoshinao; Uchiumi, Takeshi; Eto, Masatoshi; Kang, Dongchon: Cancer genomic profiling identified dihydropyrimidine dehydrogenase deficiency in bladder cancer promotes sensitivity to gemcitabine, *SCIENTIFIC REPORTS*, 12, 1, - , 2022 年 05 月. (査読あり)
- Keisuke Abe, Takafumi Shimogawa, Nobutaka Mukae, Koumei Ikuta, Tadahisa Shono, Atsuo Tanaka, Ayumi Sakata, Hiroshi Shigeto, Koji Yoshimoto, Takato Morioka: Detection of ictal and periictal hyperperfusion with subtraction of ictal-interictal 1.5-Tesla pulsed arterial spin labeling images co-registered to conventional magnetic resonance images (SIACOM), *Surgical neurology international*, 14, , 84 - 84, 2023 年 03 月. (査読あり)
- Toshiki Okadome, Takahiro Yamaguchi, Takahiko Mukaino, Ayumi Sakata, Katsuya Ogata, Hiroshi Shigeto, Noriko Isobe, Taira Uehara: The effect of interictal epileptic discharges and following spindles on motor sequence learning in epilepsy patients., *Frontiers in neurology*, 13, , 979333 - 979333, 2022 年 11 月. (査読あり)
- 山口高弘、重藤寛史: 日常臨床で遭遇する治療可能な認知症・認知症様状態 てんかん, *臨床と研究*, 99, 99, 32 - 36, 2022 年 11 月. (査読あり)
- 三好絢子, 田中秀明, 鎌田崇嗣, 萩原綱一, 大原信司, 重藤寛史, 赤松直樹: 高血糖が誘因でてんかん重積状態となった側頭葉てんかん術後の一例, *Journal of Japan Society of Neurological Emergencies & Critical Care (Web)*, 35, 1, - , 2022 年 11 月.

- Takahiko Mukaino, Taira Uehara, Jun Yokohama, Toshiki Okadome, Tomomi Arakawa, Setsu Yokoyama, Ayumi Sakata, Kei-Ichiro Takase, Osamu Togao, Naoki Akamatsu, Hiroshi Shigeto, Noriko Isobe, Jun-Ichi Kira: Atrophy of the hippocampal CA1 subfield relates to long-term forgetting in focal epilepsy., *Epilepsia*, 63, 10, 2623 – 2636, 2022 年 10 月. (査読あり)
- 上原 平, 向野 隆彦, 岡留 敏樹, 迎 伸孝, 酒田 あゆみ, 重藤 寛史, 飛松 省三, 村井 弘之: 海馬発作間欠期てんかん性放電は前頭部に睡眠紡錘波を誘発する, *臨床神経生理学*, 50, 5, 377 – 377, 2022 年 10 月.
- 山口 高弘, 岡留 敏樹, 向野 隆彦, 上原 平, 下川 能史, 重藤 寛史, 磯部 紀子: 突発性のてんかん性放電とは異なるてんかん性脳波異常を機械学習にて検出する試み, *臨床神経生理学*, 50, 5, 403 – 403, 2022 年 10 月.
- 宇佐美清英, 赤松直樹, 飯村康司, 井内盛遠, 今村久司, 榎日出夫, 木下真幸子, 國井尚人, 小林勝弘, 小林勝哉, 酒田あゆみ, 重藤寛史, 下竹昭寛, 神一敬, 菅野秀宣, 田中章浩, 千葉茂, 寺田清人, 飛松省三, 夏目淳, 原恵子, 人見健文, 本多正幸, 前原建寿, 松本理器, 三枝隆博, 矢部博興, 山野光彦, 池田昭夫: 臨床脳波の諸問題に関する情報共有と提言-脳波セミナー・アドバンスコース小委員会レポート-, *臨床神経生理学(Web)*, 50, 3, -, 2022 年 10 月.
- Tasuku Sato, Ichiro Sakamoto, Ken-ichi Hiasa, Masateru Kawakubo, Ayako Ishikita, Shintaro Umemoto, Min-Jeong Kang, Hiroyuki Sawatari, Akiko Chishaki, Hiroshi Shigeto, Hiroyuki Tsutsui: High-echoic line tracing of transthoracic echocardiography accurately assesses right ventricular enlargement in adult patients with atrial septal defect, *INTERNATIONAL JOURNAL OF CARDIOVASCULAR IMAGING*, 39, 1, 87 – 95, 2022 年 08 月. (査読あり)
- 岡留 敏樹, 山口 高弘, 向野 隆彦, 渡邊 恵利子, 酒田 あゆみ, 下川 能史, 迎 伸孝, 森岡 隆人, 磯部 紀子, 重藤 寛史: 慢性硬膜下電極記録に対し畳み込みニューラルネットワークを用いて行ったてんかん原性領域の自動推定, *てんかん研究*, 40, 2, 411 – 411, 2022 年 08 月.
- 向野 隆彦, 山口 高弘, 岡留 敏樹, 山田 絵美, 太田 真理, 三笥 良, 光藤 崇子, 田村 俊介, 平野 羊嗣, 梅尾 理, 萩原 綱一, 磯部 紀子, 重藤 寛史: 海馬回旋異常における構造的 MRI の特徴の検討, *てんかん研究*, 40, 2, 440 – 440, 2022 年 08 月.
- 宇佐美 清英, 赤松 直樹, 飯村 康司, 井内 盛遠, 今村 久司, 榎 日出夫, 木下 真幸子, 國井 尚人, 小林 勝弘, 小林 勝哉, 酒田 あゆみ, 重藤 寛史, 下竹 昭寛, 神 一敬, 菅野 秀宣, 田中 章浩, 千葉 茂, 寺田 清人, 飛松 省三, 夏目 淳, 原 恵子, 人見 健文, 本多 正幸, 前原 建寿, 松本 理器, 三枝 隆博, 矢部 博興, 山野 光彦, 池田 昭夫: 臨床脳波の諸問題に関する情報共有と提言 脳波セミナー・アドバンスコース小委員会レポート, *臨床神経生理学*, 50, 3, 107 – 112, 2022 年 06 月.
- Naoto Kuroda, Takafumi Kubota, Toru Horinouchi, Naoki Ikegaya, Yu Kitazawa, Satoshi Kodama, Izumi Kuramochi, Teppei Matsubara, Naoto Nagino, Shuichiro Neshige, Temma Soga, Yutaro Takayama, Daichi Sone, Kousuke Kanemoto, Akio Ikeda, Kiyohito Terada, Hiroko Goji, Shinji Ohara, Koichi Hagiwara, Takashi Kamada, Koji Iida, Nobutsune Ishikawa, Hideaki Shiraishi, Osato Iwata, Hidenori Sugano, Yasushi Imura, Takuichiro Higashi, Hiroshi Hosoyama, Ryosuke Hanaya, Akihiro Shimotake, Takayuki Kikuchi, Takeshi Yoshida, Hiroshi

Shigeto, Jun Yokoyama, Takahiko Mukaino, Masaaki Kato, Masanori Sekimoto, Masahiro Mizobuchi, Yoko Aburakawa, Masaki Iwasaki, Eiji Nakagawa, Tomohiro Iwata, Kentaro Tokumoto, Takuji Nishida, Yukitoshi Takahashi, Kenjiro Kikuchi, Ryuki Matsuura, Shin-Ichiro Hamano, Ayataka Fujimoto, Hideo Enoki, Kyoichi Tomoto, Masako Watanabe, Youji Takubo, Toshihiko Fukuchi, Hidetoshi Nakamoto, Yuichi Kubota, Naoto Kunii, Yuichiro Shirota, Eiichi Ishikawa, Nobukazu Nakasato, Taketoshi Maehara, Motoki Inaji, Shunsuke Takagi, Takashi Enokizono, Yosuke Masuda, Takahiro Hayashi: Impact of COVID-19 pandemic on epilepsy care in Japan: A national-level multicenter retrospective cohort study., *Epilepsia open*, 7, 3, 431 - 441, 2022年05月. (査読あり)

- Toshiki Okadome, Hajime Takeuchi, Takahiro Yamaguchi, Takahiko Mukaino, Hidenori Ogata, Katsuhisa Masaki, Hiroshi Shigeto, Noriko Isobe: Shadowboxing-induced reflex seizures in a patient with focal epilepsy., *Epilepsy & behavior reports*, 19, , 100543 - 100543, 2022年04月. (査読あり)
- Eriko Watanabe, Nobutaka Mukae, Ayumi Sakata, Takafumi Shimogawa, Hiroshi Shigeto, Taeko Hotta, Dongchong Kang, Koji Yoshimoto, Takato Morioka: High frequency oscillation analysis of intracranial 14 and 6 Hz-positive spikes and interictal epileptiform discharges in a patient with occipital lobe epilepsy, *Epilepsy and seizure*, 14, 1, 10 - 16, 2022年04月. (査読あり)
- Koichi Hagiwara, Takashi Kamada, Satoshi O Suzuki, Ayako Miyoshi, Hideaki Tanaka, Hiroshi Shigeto, Shinji Ohara, Naoki Akamatsu: Stereo-electroencephalography evidence of an eccentrically located seizure-onset zone around a polymorphous low-grade neuroepithelial tumor of the young: illustrative case., *Journal of neurosurgery. Case lessons*, 3, 17, -, 2022年04月. (査読あり)
- Goto K, Shimogawa T, Mukae N, Shono T, Fujiki F, Tanaka A, Sakata A, Shigeto H, Yoshimoto K, Morioka T. Implications and limitations of magnetic resonance perfusion imaging with 1.5-Tesla pulsed arterial spin labeling in detecting ictal hyperperfusion during non-convulsive status epilepticus. *Surg Neurol Int.* ;13:147. 2022年04月. (査読あり)
- Yonamoto A, Mukae N, Shimogawa T, Uehara T, Shigeto H, Sakata A, Mizoguchi M, Yoshimoto K, Morioka T. Good seizure outcome after focal resection surgery for super-refractory status epilepticus: Report of two cases. *Surg Neurol Int.* 13:164.2022年4月. (査読あり)
- Kiyotaka Sasagawa, Ryoma Okada, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Reflective high-sensitivity polarization changeimaging using a dual polarizer structure, *Optics Continuum*, 2, 14, 758 - 768, 2023年03月. (査読あり)
- Yuki Nakanishi, Kiyotaka Sasagawa, Ronnakorn Siwadamrongpong, Kenzo Shodo, Yasuo Terasawa, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Implantable AC-driven CMOS chip for distributed multichip retinal prosthesis capable of high-rate stimulation, *Japanese Journal of Applied Physics Special Issue: Solid State Devices and Materials (SSDM2022)*, 62, SC, 1077 -, 2023年02月. (査読あり)

- Pan Kaige, Hagiwara Takanori, Tso Kuang-chih, Siwadamrongpong Ronnakorn, Akbar Latiful, Nakano Yukari, Kono Takuro, Yasuo Terasawa, Haruta Makito, Takehara Hironari, Tashiro Hiroyuki, Sasagawa Kiyotaka, Wu Pu-Wei, Ohta Jun: A Flexible Retinal Device with CMOS Smart Electrodes Fabricated on Parylene C Thin-film and Bioceramic Substrate, *Japanese Journal of Applied Physics Special Issue: Solid State Devices and Materials (SSDM2022)*, 62, SC, 1022 - , 2023 年 01 月. (査読あり)
- Motoshi Sobue, Hirokazu Takata, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Ryo Kawasaki, Jun Ohta: Clear Fundus Images through High-speed Tracking using Glare-free IR Color Technology, *Journal of Robotics and Mechatronics*, 34, 5, 1152 - 1163, 2022 年 10 月. (査読あり)
- Motoshi Sobue, Hiroshi Otake, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Enhancing infrared color reproducibility through multispectral image processing using RGB and three infrared channels, *Optical Engineering*, 61, 6, 063107-1 - 063107-11, 2022 年 06 月. (査読あり)
- Takuro Kono, Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Tokio Ueno, Jun Ohta: Performance Comparison between Atomic-layer-deposited Al₂O₃/HfO₂ Nanolaminate and Parylene C for Implantable Devices with High Step Coverage Using Accelerated Life Testing, *Sensors and Materials*, 34, 4, 1577 - 1586, 2022 年 04 月. (査読あり)
- Honghao Tang, Hironari Takehara, Ze Wang, Noriaki Kishida, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Multi-channel Bandpass Filters for Reconstructed High-Resolution Spectral Imaging in Near-infrared Fundus Camera, *Sensors and Materials*, 34, 4, 1601 - 1615, 2022 年 06 月. (査読あり)
- Barbara Teixeira Sais, Makito Haruta, Kuang-Chih Tso, Mizuki Hagita, Takanori Hagiwara, Kenji Sugie, Ayaka Kimura, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Miniaturized Cell Fluorescent-imaging Device equipped with Multielectrode Array, *Sensors and Materials*, 34, 4, 1587 - 1599, 2022 年 04 月. (査読あり)
- Kyosuke Naganuma, Yasumi Ohta, Takaaki E. Murakami, Ryoma Okada, Mark Christian Guinto, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Yoshinori Sunaga, Yasemin M. Akay, Metin Akay, Jun Ohta: Multifunctional Implantable Device for Simultaneous Optical and Electrophysiological Measurements, *Sensors and Materials*, 34, 4, 1561 - 1575, 2022 年 04 月. (査読あり)
- Hironari Takehara, Ze Wang, Honghao Tang, Noriaki Kishida, Yusuke Horiki, Motoshi Sobue, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Near-infrared Colorized Imaging Technologies and Their Fundus Camera Applications, *The ITE Transactions on Media Technology and Applications*, 10, 2, 59 - 69, 2022 年 04 月. (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Ryoma Okada, Kiyotaka Sasagawa, Maya Mizuno, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: A polarization CMOS image sensor with on-pixel polarizer

- optimized for microwave electric-field imaging, 5th International Workshop on Image Sensors and Imaging Systems (IWISS2022), 2022 年 12 月, Japan.
- Kiyotaka Sasagawa, Ryoma Okada, Maya Mizuno, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: RF Electric Field Imaging Based on Electro-Optic Effect by Using a Global Shutter Polarization Camera, The 2022 Asia-Pacific Microwave Conference (APMC 2022), 2022 年 12 月, Japan.
 - Honghao Tang, Hironari Takehara, Yusuke Horiki, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Multi-Channel Near-Infrared Bandpass Mosaic Filter for Spectral Fundus Imaging, 2022 International Meeting for Future of Electron Devices, Kansai(IMFEDK2022), 2022 年 11 月, Japan.
 - Kenji Sugie, Ryoma Okada, Yasumi Ohta, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: An implantable multimodal sensor for optical and electrophysiological recording of mouse brain activity, 2022 IEEE Photonics Conference, 2022 年 11 月, Canada.
 - Ryoma Okada, Kiyotaka Sasagawa, Maya Mizuno, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: 10-GHz Imaging by an Electro-Optic Imaging System Based on Polarization CMOS Image Sensor, 2022 IEEE Photonics Conference, 2022 年 11 月, Canada.
 - Kaige Pan, Ronnakorn Siwadamrongpong, Takanori Hagiwara, Makito Haruta, Yukari Nakano, Takuro Kouno, Yasuo Terasawa, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Development of Thin Film Retinal Prosthesis with CMOS Smart Electrode Array, International Conference on Solid State Devices and Materials(SSDM2022), 2022 年 09 月, Japan.
 - Thanaree Treepetchkul, Ronnakorn Siwadamrongpong, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: A Wireless CMOS Imaging Device for Mouse Under Freely Moving Conditions, International Conference on Solid State Devices and Materials(SSDM2022), 2022 年 09 月, Japan.
 - Yuki Nakanishi, Kiyotaka Sasagawa, Ronnakorn Siwadamrongpong, Kenzo Shodo, Yasuo Terasawa, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Distributed CMOS chip for retinal prosthesis with high-rate stimulation, International Conference on Solid State Devices and Materials(SSDM2022), 2022 年 09 月, Japan.
 - Kiyotaka Sasagawa, Pakpuwadon Thanet, Mark C. Guinto, Yasumi Ohta, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Mouse Brain Imaging Using a Self-Reset CMOS Image Sensor over 70-dB SNR, 65TH IEEE INTERNATIONAL MIDWEST SYMPOSIUM ON CIRCUITS AND SYSTEMS (MWSCAS 2022), 2022 年 08 月, Online.
 - Ronnakorn Siwadamrongpong, Nicha Sato, Kenji Sugie, Yasumi Ohta, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Development of Compact Readout Device for Neural Observation System Using Fluorescence Imaging and Fast-Scan Cyclic Voltammetry, 2022 44th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine & Biology Society (EMBC), 2022 年 07 月, United Kingdom.

- Jun Ohta, Kiyotaka Sasagawa, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro: Implantable Optoelectronic Devices for Observation and Control of Biological Functions, 2022 MRS Spring Meeting & Exhibit, 2022 年 05 月, Online.
- Nicha Sato, Makito Haruta, Yasumi Ohta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Oratai Jongprateep, Jun Ohta: CuO Nanoparticulate Modified Microelectrode for Neurotransmitters Detection by Fast-Scan Cyclic Voltammetry, 2022 MRS Spring Meeting & Exhibit, 2022 年 05 月, United States of America.

c. 大学・研究機関などの刊行誌

九州大学病院ニュース 41 号 九州大学病院が福岡県てんかん支援拠点病院に指定されました, 2022 年 3 月, 重藤寛史.

d. 調査研究報告 なし

e. 国内学会での講演, 発表

- 迎伸孝, 下川能史, 要名本あゆみ, 渡邊恵利子, 酒田あゆみ, 重藤寛史, 吉本浩司, 森岡隆人: Super-refractory status epilepticus に対する焦点切除術により良好なてんかんコントロールを得られた 2 症例, 第 46 回 日本てんかん外科学会, 2023 年 01 月, .
- 下川能史, 迎伸孝, 柳田暢志, 重藤寛史, 酒田あゆみ, 渡邊恵利子, 森岡隆人, 吉本浩司: 定位的頭蓋内脳波を用いたてんかん焦点診断の自験例, 第 46 回 日本てんかん外科学会, 2023 年 01 月, 山口.
- Hidekatsu Iha, Shanaz Irwani Binti Sabri, Omar Kwang Kugan, Saliz Mazrina Binti Shaharom, Mohammad Saffree Jeffree, Kimberly Fornace, Daisuke Mori, Takaaki Yahiro, Isao Hamaguchi, Toshiki Watanabe, Timothy William, Chris J. Drakeley, Akira Nishizono, Kamruddin Ahmed: Epidemiological evidence of human T-lymphotropic virus type 1 prevalence in the northern area of Borneo, Malaysia: The latest update in 2022., 第 63 回日本熱帯医学会大会, 2022 年 10 月, 別府国際コンベンションセンター.
- 吉田 成寿, 萩原 隆仁, 潘 愷鵬, 須永 圭紀, 春田 牧人, 高野 拓郎, 中野 由香梨, 寺澤 靖雄, 田代 洋行, 竹原 浩成, 笹川 清隆, 太田 淳: フレキシブル人工視覚 CMOS スマート電極デバイスの多電極化に向けた実装プロセス開発, 第 70 回応用物理学会春季学術講演会, 2023 年 03 月, .
- 伊藤 佑樹, Schaeffer Daniel, 笹川 清隆, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 太田 淳: 刺入型蛍光イメージングデバイス用フロントライト構造の試作, 第 70 回応用物理学会春季学術講演会, 2023 年 03 月, 上智大学 四谷キャンパス.
- Siwadamrongpong Ronnakorn, Sato Nicha, 春田 牧人, 竹原 浩成, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: Miniaturized Multi-functional Sensing System with Implantable CMOS Imager and Fast-scan Cyclic Voltammetry, 令和 5 年電気学会全国大会, 2023 年 03 月, 名古屋大学 東山キャンパス.

- 潘 愷鵠, 萩原 隆仁, Ouyang Xinyuan, 高野 拓郎, 中野 由香梨, 寺澤 靖雄, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: CMOS スマート電極搭載フレキシブル人工視覚デバイスの防水性能向上を目指した作製プロセスの開発, 令和 5 年電気学会全国大会, 2023 年 03 月, 名古屋大学 東山キャンパス.
- 鎧 圭吾, 杉江 謙治, 春田 牧人, 竹原 浩成, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: 生体埋植イメージセンサ空間分解能向上にむけた角度選択画素構造の検討, 令和 5 年電気学会全国大会, 2023 年 03 月, 名古屋大学 東山キャンパス.
- 岡田 竜馬, 笹川 清隆, 水野 麻耶, 春田 牧人, 竹原 浩成, 田代 洋行, 太田 淳: 高感度偏光イメージングシステムを用いたミリ波電界イメージング, 2023 年電子情報通信学会総合大会, 2023 年 03 月, 芝浦工業大学 大宮キャンパス.
- 中西 優輝, Ronnakorn Siwadamrongpong, 鐘堂 健三, 寺澤 靖雄, 春田 牧人, 竹原 浩成, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: 多点刺激に向けた人工視覚チップ並列駆動の検証, 2023 年電子情報通信学会総合大会, 2023 年 03 月, 芝浦工業大学 大宮キャンパス.
- 笹川 清隆, 岡田 竜馬, 水野 麻弥, 春田 牧人, 竹原 浩成, 田代 洋行, 太田 淳: 偏光イメージセンサとその特殊撮像応用, レーザー学会学術講演会第 43 回年次大会, 2023 年 01 月, ウィンクあいち.
- 堀木 雄介, 高田 奎之心, 湯 鴻浩, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: 常時点灯固視標を備えた動画撮影可能な近赤外カラー眼底カメラシステムの設計, 映像情報メディア学会 2022 年冬季大会, 2022 年 12 月, 東京理科大学 森戸記念館.
- 春田 牧人, Mark Christian Guinto, 太田 安美, 河原 麻実子, 竹原 浩成, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: 脳表観察用ヘッドマウント蛍光イメージングデバイスの開発, 第 96 回日本薬理学会年会, 2022 年 12 月, パシフィコ横浜.
- 重藤寛史 「てんかんの診断(症状、脳波、脳磁図)」 第 28 回 New Horizon for Neuroscience 2022 年 12 月 10 日
- 重藤寛史 てんかんの初期診断と初期治療 地域で診るてんかんセミナー 2022 年 12 月 2 日
- 潘 愷鵠, 萩原 隆仁, Ronnakorn Siwadamrongpong, 春田 牧人, 中野 由香梨, 高野 拓郎, 寺澤 靖雄, 竹原 浩成, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: CMOS スマート電極アレイを搭載した薄膜・セラミック複合人工視覚デバイスの開発, 第 39 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム, 2022 年 11 月, アスティとくしま.
- Treepetchkul Thanaree, Ronnakorn Siwadamrongpong, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: A wireless CMOS imaging device utilized Bluetooth-low energy for freely moving animals, 第 39 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム, 2022 年 11 月, アスティとくしま.
- Natcha Kulmala, Thanaree Treepetchkul, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Lensless fluorescence imaging device for cells observation with hybrid emission filter, 第 39 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム, 2022 年 11 月, アスティとくしま.
- Kenji Sugie, Ryoma Okada, Yasumi Ohta, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: An implantable multimodal sensor for optical and

electrophysiological recording of mouse brain activity, IEEE Photonics Society Kansai Chapter 第8回フォトニクス英語発表会, 2022年11月, Online.

- Ryoma Okada, Kiyotaka Sasagawa, Maya Mizuno, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: 10-GHz Imaging by an Electro-Optic Imaging System Based on Polarization CMOS Image Sensor, IEEE Photonics Society Kansai Chapter 第8回フォトニクス英語発表会, 2022年11月, Online.
- 下川能史、迎伸孝、重藤寛史、酒田あゆみ、渡邊恵利子、吉本幸司、森岡隆人 下顎・オトガイ電極を用いた側頭葉内側部由来発作間欠期てんかん性放電の検出 第52回日本臨床神経生理学学会学術大会 2022年11月26日
- 山口高弘 岡留敏樹 1 向野隆彦 上原平下川能史 重藤寛史 磯部紀子 突発性のてんかん性放電とは異なるてんかん性脳波異常を機械学習にて検出する試み 第52回日本臨床神経生理学学会学術大会 2022年11月25日
- 上原平、向野隆彦、岡留敏樹、迎伸孝、酒田あゆみ、重藤寛史、飛松省三、村井弘之 海馬発作間欠期てんかん性放電は前頭部に睡眠紡錘波を誘発する 第52回日本臨床神経生理学学会学術大会 2022年11月24日
- 山田絵美、府内京香、太田真理、重藤寛史 高密度経頭蓋直流電気刺激法を用いた言語機能抑制効果の検討 第52回日本臨床神経生理学学会学術大会 2022年11月24日
- 重藤寛史 実臨床の脳波 第10回 広島てんかん・脳波セミナー 2022年10月1日
- 下川能史、迎伸孝、森岡隆人、重藤寛史、酒田あゆみ、渡邊恵利子、吉本幸司 下顎・オトガイ電極を用いた側頭葉内側部由来てんかん性放電の検出:頭蓋内外脳波同時記録による検証 第81回日本脳神経外科学会学術総会 2022年9月30日
- 萩原 隆仁, 潘 愷鶴, 春田 牧人, 高野 拓郎, 中野 由香梨, 寺澤 靖雄, 竹原 浩成, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: 人工視覚用 CMOS スマート電極搭載フレキシブルアレイデバイスの in vivo 機能検証, 第83回応用物理学会秋季学術講演会, 2022年09月, 東北大学 川内北キャンパス.
- 藤田 敦士, Castillo Virgil Christian, Rebusi Romeo Brioso, 太田 安美, 河原 麻実子, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: 腹側被蓋野内の2領域の神経活動の蛍光イメージングの同時計測, 第83回応用物理学会秋季学術講演会, 2022年09月, 東北大学 川内北キャンパス.
- VirgilChristian Garcia Castillo, Yasumi Ohta, Nicha Sato, Hiroyuki Tashiro, Hironari Takehara, Makito Haruta, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Facile Fabrication of Carbon Electrodes on Flexible Substrate for In Vivo Sensing of Dopamine, 第83回応用物理学会秋季学術講演会, 2022年09月, 東北大学 川内北キャンパス.
- 春田 牧人, Mark Guinto, 太田 安美, 河原 麻実子, 竹原 浩成, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: 脳表血流・蛍光観察用ヘッドマウント CMOS イメージングデバイス, 第83回応用物理学会秋季学術講演会, 2022年09月, 東北大学 川内北キャンパス.
- 中西 優輝, Ronnakorn Siwadamrongpong, 鐘堂 健三, 寺澤 靖雄, 春田 牧人, 竹原 浩成, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: 多点高頻度刺激に向けた人工視覚デバイス制御チップの動作実証, 2022年電子情報通信学会ソサイエティ大会, 2022年09月, Online.

- 三笥良、下川能史、迎伸孝、酒井康成、重藤寛史、酒田あゆみ、渡邊恵利子、平野昭吾、平野羊嗣 てんかん外科術後に de novo 精神病を呈した 3 症例 第 55 回日本てんかん学会学術集会 2022 年 9 月 22 日
- 下川能史、森岡隆人、後藤克宏、庄野禎久、迎伸孝、重藤寛史、酒田あゆみ、吉本幸司 1.5-Tesla MRI を用いた非痙攣性てんかん重積状態における発作時過灌流の検出 第 55 回日本てんかん学会学術集会 2022 年 9 月 21 日
- 岡留敏樹、山口高弘、向野隆彦、渡邊恵利子、酒田あゆみ、下川能史、迎伸孝、森岡隆人、磯部紀子、重藤寛史 慢性硬膜下電極記録に対し畳み込みニューラルネットワークを用いて行ったてんかん原性領域の自動推定 第 55 回日本てんかん学会学術集会 2022 年 9 月 20 日
- 向野隆彦、山口高弘、岡留敏樹、山田絵美、太田真理、三笥良、光藤崇子、田村俊介、平野羊嗣、梶尾理、萩原綱一、磯部紀子、重藤寛史 海馬回旋異常における構造的 MRI の特徴の検討 第 55 回日本てんかん学会学術集会 2022 年 9 月 21 日
- 重藤寛史 「焦点てんかん」 日本臨床神経生理学会 脳波アドバンスセミナー 2022 年 8 月 20 日、21 日
- Barbara Teixeira Sais, Makito Haruta, Kuang-Chih Tso, Mizuki Hagita, Takanori Hagiwara, Kenji Sugie, Ayaka Kimura, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Compact device for simultaneous cell electrophysiological signal and fluorescence imaging acquisition, NEURO2022, 2022 年 07 月, 沖縄コンベンションセンター.
- 春田 牧人, Mark Christian Guinto, 倉澤 和暉, 太田 安美, 河原 麻実子, 竹原 浩成, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: 長期計測可能な脳血流・神経活動計測用イメージングデバイスの開発, NEURO2022, 2022 年 07 月, 沖縄コンベンションセンター.
- 太田 安美, 邑上 貴秋, Mark Guinto, 河原 麻実子, Yasemin Akay, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 笹川 清隆, Metin Akay, 太田 淳: 光刺激にマイクロ LED アレイデバイスを用いたマウス VTA 内の GABA ニューロンとドーパミンニューロンの関係についての考察, NEURO2022, 2022 年 07 月, 沖縄コンベンションセンター.
- Joshua Philippe Olorocisimo, Yasumi Ohta, Paul Rossener Regonia, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Junichiro Yoshimoto, Kazushi Ikeda, Jun Ohta: Neuroimaging and modulation of the septo-hippocampal circuit using novel brain-implantable CMOS image sensors and micro-LEDs during seizure and epilepsy, NEURO2022, 2022 年 07 月, 沖縄コンベンションセンター.
- Mark Christian Guinto, Yasumi Ohta, Mamiko Kawahara, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Simultaneous imaging of hippocampal subfields in freely moving GCaMP transgenic mice using a novel implantable micro-imager, NEURO2022, 2022 年 07 月, 沖縄コンベンションセンター.
- 重藤寛史 てんかんとすいみん 日本てんかん学会近畿地方会ランチョンセミナー 2022 年 7 月 9 日
- 柳田暢志、下川能史、迎伸孝、重藤寛史、向野隆彦、岡留敏樹、山口高弘、酒田あゆみ、渡邊恵利子、吉本幸司 海馬にもてんかん原性を有した側頭葉 LEAT に対して SEEG 留置・

焦点切除術を行い発作消失を得た一例 第 17 回日本てんかん学会九州地方会 2022 年 7 月 9 日

- 岡留敏樹、竹内 創、山口高弘、向野隆彦、緒方英紀、眞崎勝久、渡邊恵利子、酒田あゆみ、磯部紀子、重藤寛史 シャドーボクシング誘発性反射性発作を呈した焦点てんかんの一例 第 17 回日本てんかん学会九州地方会 2022 年 7 月 9 日
- 中西 優輝, Siwadamrongpong Ronnakorn, 鐘堂 健三, 寺澤 靖雄, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: 多点刺激に向けた人工視覚用 CMOS チップ制御回路の設計, LSI とシステムのワークショップ 202, 2022 年 05 月, online.
- Mohamad Izzat Azmer, Yasumi Ohta, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Miniaturized LED light source for fluorescent imaging with isotropical emission, 令和4年電気学会全国大会, 2022 年 06 月, online.
- 重藤寛史 ビデオ症例で学ぶてんかん発作 1「焦点発作」 第 10 回サマーてんかんセミナー 2022 年 6 月 19 日
- 重藤寛史 認知症に擬態するてんかん てんかんと鑑別を要する神経疾患も含めて シンポジウム 擬態するてんかん、擬態されるてんかん ～てんかんの臨床学・鑑別診断～ 第 118 回日本精神神経学会学術総会 2022 年 6 月 17 日
- 重藤寛史 脳波ハンズオン 第 63 回日本神経学会学術大会 2022 年 5 月 21 日
- 岡留 敏樹, 上原 平, 山口 高弘, 向野 隆彦, 重藤 寛史, 磯部 紀子 発作間欠期てんかん性放電が運動系列学習に及ぼす影響に関する検討 第 63 回日本神経学会学術大会 2022 年 5 月 18 日
- 岡留 敏樹, 上原 平, 山口 高弘, 向野 隆彦, 渡邊 恵利子, 酒田 あゆみ, 重藤 寛史 発作間欠期てんかん性放電が運動系列学習に及ぼす影響に関する検討 福岡てんかん懇話会 2022 年 4 月 28 日

f. 学会以外での講演, 発表

- 重藤寛史 「神経内科領域で活かせる脳波検査」Neurologist step up WEB seminar 2022 年 2 月 20 日
- Hiroshi Shigeto Optimal approach to insomnia in elderly epilepsy patients. Sleep and Epilepsy in the elderly. YCOMPA VALUE WEBINAR SERIES 2022 年 3 月 11 日

著作

a. 単行本

- 重藤寛史: (単著) 脳波検査による診断アプローチの基本と進歩 特集: てんかん診療 update III. てんかんの診断, 2022 年 12 月, 日本臨床 東京.
- 山口高弘、重藤寛史: (共著) 日常臨床で遭遇する治療可能な認知症・認知症様状態 てんかん, 2022 年 11 月, 臨床と研究 福岡.
- 重藤寛史: (単著) てんかんをめぐるアート「第 13 回 AOEC てんかんをめぐるアート展」より (2), 2022 年 05 月, メジカルビュー社、東京.

- 重藤寛史: (共著) 機能性疾患 2 Responsive neurostimulation 治療の可能性, 2022 年 06 月, 中外医学社 東京.

b. 総説 なし

c. 解説, 書評など なし

受賞

- 田代, Top Downloaded Article (ELECTRONICS AND COMMUNICATIONS IN JAPAN), Shuhei Nomura, Hiroyuki Tashiro, Yasuo Terasawa, Yukari Nakano, Makito Haruta, Kiyotaka Sasagawa, Hironari Takehara, Jun Ohta, Randles circuit model for characterizing a porous stimulating electrode of the retinal prosthesis, Electrical Engineering in Japan, Vol. 104, Issue 3, 12324 (2021), John Wiley & Sons Pte Ltd, 2023 年 03 月.

報道

- 重藤, NHK, RKB,民放, 「福岡県てんかん支援拠点病院」, 2023 年 01 月.

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 内海, 検査実用化を目指したシーズ探索 及び有用性の検討, 九州プロサーチ, 2022 年 06 月 ~2023 年 06 月, .
- 内海, クロレラのミトコンドリア機能及び解析, クロレラ工業株式会社, 2022 年 06 月~2023 年 06 月, .
- 田代, 次世代人工視覚の研究, (株)ニデック, 2022 年 04 月~2023 年 03 月.
- 田代, 神経刺激方法の研究開発, 帝京大学, 2018 年 08 月~2024 年 03 月.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業

田代, ニプロ(株) 新規事業部, 技術顧問

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 森, マレーシア国立サバ大学ボルネオメディカルリサーチセンターにおいて共同研究の実施, 2022年02月12日~2022年02月23日.

2. 外国人研究者の受入れ

- a. 訪問教授・研究員 なし
- b. 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 田代, 観察研究倫理審査委員会. 委員.
- 田代, 支線 LAN 管理者.

2. 部局委員

- 内海, 特定認定再生医療等委員会. 委員.
- 田代, 大学院入試(修士課程, 博士課程) 英語問題作成委員.
- 森, AO 入試小論文作成委員.

3. 部門・コース内委員

- 内海, IRB 委員会. 委員.
- 重藤, 入試委員長.
- 重藤, ブレインセンター検査主任.
- 田代, KITE 連絡員.
- 森, 地域国際・FD 連携委員会. 委員.
- 安田, 広報委員会. 委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 小島, 博多メディカル専門学校・臨床工学士科, 非常勤講師.
- 田代, 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 物質創成科学領域・客員准教授(委託教員).

2. 学協会

- 小島, 日本臨床寄生虫学会, 評議員, 国内.
- 小島, 日本寄生虫学会, 評議員, 国内.
- 小島, 日本寄生虫学会南日本支部, 評議員, 国内.
- 田代, 日本生体医工学会九州支部, 評議員, 国内.
- 森, 九州免疫血清研究会, 世話人, 国内.
- 森, 特定非営利活動法人 生物試料分析科学会, 評議員, 国内.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会

- 重藤, 「福岡県てんかん支援拠点病院とその役割」, 福岡県てんかん支援拠点病院, WEB, 講演会・討論.
- 小島, 「第 87 回サイエンスカフェふくおか 対話による「みせる」九大の総合知～海と食～講演タイトル:海に潜む寄生虫の謎に迫る!～魚とヒトとアニサキス～」, 主催:九州大学 VISION EXPO, 馬出キャンパスコラボステーション II, 講演会・討論.
- 小島, 「主催:栄研化学株式会社一般検査セミナー'EIKEN' in 九州にて講師として講演開催日:2023年2月15日テーマ:臨床検査技師と寄生虫検査」.
- 小島, 「パルス電流殺虫技術研究会の会議にて講師として講演テーマ:海に潜む寄生虫～アニサキスの実体～」.

6. 初等中等教育への貢献 なし

検査技術科学分野

病態情報学

教授	勝田 仁
教授	水野 晋一
講師	外園 栄作
講師	栗崎 宏憲
講師	渡邊 壽美子
助教	八木 美佳子
助教	塩津 弘倫
助教	木村 朋子

1. 教育活動

1. 大学院講義

病態情報解析学 I	水野	前期
国際社会とチーム医療	水野	前期
International Society and Multidisciplinary Care Health Science	水野	前期
病態情報解析学 I	勝田	前期
ヘルスサイエンス論	勝田	前期
検査技術科学特別研究	外園	通年
病態情報解析検査学	渡邊	後期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

検査技術科学特別研究	勝田	通年
分子情報解析検査学演習	勝田	前期
病態情報機能検査学演習	勝田	前期
保健学特別研究	勝田	通年
国際プレゼンテーション	勝田	通年
検査技術科学特別研究	水野	通年
保健学特別研究	水野	通年
国際プレゼンテーション	水野	通年
病態情報解析検査学演習	水野	前期
検査技術科学特別研究	外園	通年

4. 大学院修士課程修了者

山本 夏翠	AR42J 細胞から誘導したインスリン産生細胞のグルコース応答性獲得にむけた検討
谷川 憂衣	AR42J 細胞由来インスリン産生細胞作製におけるグルコース応答性インスリ

	ン分泌能の解析
中川 七海	クローン造血モデル作成を目的とした CRISPR-Cas9 システムによるゲノム編集ベクターおよびレンチウイルス導入法の確立
福元 沙織	新規核酸増幅検出技術の開発
岡本 拓磨	新規ビリルビン測定法の開発

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

臨床検査学概論 I	水野	春学期
人体の構造と機能 I	水野	前期
医用工学・情報概論	水野	前期
血液検査学	水野	後期
遺伝子・細胞工学	勝田	春学期
臨床検査医学総論	勝田	夏学期
臨床検査学概論 I	勝田	春学期
人体の構造と機能 II	勝田	前期
検査基礎技術	外園	前期
臨床検査学概論 I	外園	春学期
臨床検査学概論 II	外園	夏学期
生物化学分析学特論 (分担)	外園	後期
臨床検査統計学および演習	外園	秋学期
生化検査学	外園	夏学期
生化学	外園	春学期
輸血検査学	栗崎	冬学期
臨床検査学概論 I	栗崎	春学期
病原体学	栗崎	前期
組織・病理検査学および実習 II	渡邊	前期
組織・病理検査学および実習 I および III	渡邊	後期
病理学	渡邊	秋学期
病理検査学概論	渡邊	冬学期
臨床検査学概論 I	八木	春学期
臨床検査学概論 I	塩津	春学期
生理機能検査学 I	塩津	前期
生理機能検査学 II	塩津	前期
生理機能検査学 III	塩津	前期
臨床検査学概論 I	木村	春学期

7. 学部の実験・実習・演習

血液検査学実習	水野	後期
遺伝子検査学実験	勝田	夏学期
生化学・臨床化学実習 (分担)	外園	後期
生物化学分析学特論 (分担)	外園	後期
臨床検査統計学および演習	外園	秋学期

検査基礎技術	外園	前期
臨床免疫学および実習	栗崎	後期
組織・病理検査学および実習Ⅱ	渡邊	前期
組織・病理検査学および実習Ⅰ	渡邊	後期
組織・病理検査学および実習Ⅲ	渡邊	後期
生化学・臨床化学実習	八木	後期
臨床免疫学および実習	八木	後期
遺伝子検査学実験	八木	夏学期
生理機能検査学実習	塩津	後期
臨床微生物学および実習	塩津	前期
検査基礎技術	木村	前期
医用工学・情報概論実験	木村	秋学期
一般検査学および実習	木村	後期
血液検査学実習	木村	後期
国際感染症学および実習	木村	前期

8. 卒業論文作成者

尹 淳美	AR42J 細胞のインスリン産生細胞への分化過程における Cacnb3 遺伝子発現解析
田中 千尋	AR42J 細胞のインスリン産生細胞への分化過程における Thymosin beta 10 遺伝子発現解析
川畑 真凜	AR42J 細胞のインスリン産生細胞への分化過程における Carboxypeptidase E 遺伝子発現解析
小笠原 千夏	画像認識における畳み込みニューラルネットワークのハイパーパラメーターの検討
江口 矢起	画像認識におけるニューラルネットワークモデルの検討
坂梨 大樹	血中 NAD, NADH 測定法の検討
廣田 みなみ	尿中鉄の高感度測定法の開発
四元 恭佳	尿中オキシトシンの日内変動に関する研究
高木 夏海	CRISPR/Cas9 ゲノム編集技術による AIRE 遺伝子ノックアウトの検討
永渕 彩芽	ヒト B 細胞における AIRE 遺伝子の発現確認
浅野 太紀	HeLa 細胞と T24 細胞を用いた二核細胞の性質の検討
川上 真愛	核小体の形態と数の検証 -HeLa 細胞を用いて-
蒲谷 萌里	造血器腫瘍細胞株における細胞周期関連因子を介した TP-0903 の作用機序の解明
案西 真生	造血器腫瘍細胞株における細胞周期関連因子を介した TP-0903 の作用機序の解明
勝原 さくら	Papanicolaou 染色と DAPI 染色における核の染色性の比較
大部 優紀	miR-181c が関与する拡張型心筋症のメカニズムの解析
河内 美紅	p32 ノックアウト細胞での miRNA の解析
羽田野 巴	新規ストレスバイオマーカーとしての毛幹内 ASncmtRNA-2 の有用性および安定性に関する検討
吉光 知里	心理的ストレスによる ASncmtRNA-2 の変化に関する研究

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	膝島再生機構の解明と糖尿病再生医療の確立	勝田
2	九州大学病院検査データを用いた新たな糖尿病病態分類の確立	勝田
3	ゲノム編集技術の基礎研究	水野
4	血液疾患診断への遺伝子解析の応用	水野
5	腫瘍免疫の誘導法および検査技術の開発	水野
6	生体試料, 特に非侵襲的に採取可能な尿を用いた新しい検査・診断	外園
7	生体試料中の酸化・還元成分が生体に及ぼす影響についての研究	外園
8	自己免疫調節遺伝子(AIRE)の機能解析	栗崎
9	膀胱癌の診断と膀胱注入療法の作用機序解明	渡邊
10	癌細胞における細胞形態学	渡邊
11	Deep Learning を活用した細胞診断支援システムの開発	渡邊
12	老化に伴い発症するミトコンドリア関連性疾患の機能解析と予防治療	八木
13	ミトコンドリア機能と老化に関する研究	八木
14	MicroRNA を用いた新規臨床検査法の開発	塩津
15	呼吸凝縮液における気道炎症状態の評価法の確立	木村
16	骨髄異形成症候群細胞株 MDS-L を用いた in vitro における新規薬剤の抗腫瘍効果の検討	木村
17	概日リズム制御分子を標的とした新規白血病治療薬の開発	木村

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」クローン造血(CH)環境の腫瘍発生・進展への機序および CH 環境の免疫学的制御, 水野(代表), 900 千円.
- 「基盤研究(C)」金属キレータを用いた核酸増幅量の高感度検出技術の開発とその実用可能性の検証, 外園(代表), 800 千円.
- 「基盤研究(C)」老化に伴い発症するミトコンドリア関連性疾患の機能解析と予防治療, 八木(代表), 1,300 千円.
- 「基盤研究(B)」ミトコンドリア機能異常による老化疾患の分子病態の解明と NMN による治療効果, 八木(分担), 300 千円
- 「若手研究」AXL 活性の制御による骨髄異形成症候群の病態解明及び新たな治療戦略, 木村(代表), 1,200 千円.

3. 学内研究経費の受入れ

- 「令和 4 年度 研究補助者雇用支援(短期)(秋)」造血器腫瘍細胞株における AXL 阻害剤の効果, 木村(代表), 410 千円.
- 「令和 4 年度 研究補助者雇用支援(短期)(春)」造血器腫瘍細胞株における AXL 阻害剤の効果, 木村(代表), 410 千円.

4. 奨学寄付金の受入れ なし

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「マイクロアレイと次世代シーケンサーを用いた新規遺伝子発現解析のための解析技術開発」水野, 1,200 千円.

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Nakano M, Taguchi R, Kikushige Y, Isobe T, Miyawaki K, Mizuno S, Tsuruta N, Hanamura F, Yamaguchi K, Yamauchi T, Ariyama H, Kusaba H, Nakamura M, Maeda T, Kuo CJ, Baba E, Akashi K.: RHAMM marks proliferative subpopulation of human colorectal cancer stem cells., *Cancer Science*, Epub, 2023 年 03 月. (査読あり)
- Uehara T, Watanabe S, Yamaguchi S, Eguchi N, Sakamoto N, Oda Y, Arimura H, Kaku T, Ohishi Y, Mizuno S.: Translocation of nuclear chromatin distribution to the periphery reflects dephosphorylated threonine-821/826 of the retinoblastoma protein (pRb) in T24 cells treated with Bacillus Calmette-Guérin., *Cytotechnology*, 75, 1, 49 – 62, 2023 年 02 月. (査読あり)
- Nonami A, Matsuo R, Funakoshi K, Nakayama T, Goto S, Iino T, Takaishi S, Mizuno S, Akashi K, Eto M.: Prospective study of adoptive activated $\alpha\beta$ T lymphocyte immunotherapy for refractory cancers: development and validation of a response scoring system., *Cytotherapy*, 25, 1, 76 – 81, 2023 年 01 月. (査読あり)
- Ikeda M, Ide T, Matsushima S, Ikeda S, Okabe K, Ishikita A, Tadokoro T, Sada M, Abe K, Sato M, Hanada A, Arai S, Ohtani K, Nonami A, Mizuno S, Morimoto S, Motohashi S, Akashi K, Taniguchi M, Tsutsui H.: Immunomodulatory Cell Therapy Using α GalCer-Pulsed Dendritic Cells Ameliorates Heart Failure in a Murine Dilated Cardiomyopathy Model., *Circulation: Heart Failure*, 15, 12, e009366, 2022 年 10 月. (査読あり)
- Kiyokoba R, Uchiumi T, Yagi M, Toshima T, Tsukahara S, Fujita Y, Kato K, Kang D.: Mitochondrial dysfunction-induced high hCG associated with development of fetal growth restriction and pre-eclampsia with fetal growth restriction, *Sci Rep*, 2022 年 06 月. (査読あり)
- Shigehiro Tsukahara, Masaki Shiota, Dai Takamatsu, Shohei Nagakawa, Takashi Matsumoto, Ryo Kiyokoba, Mikako Yagi, Daiki Setoyama, Nozomi Noda, Shinya Matsumoto, Tetsutaro Hayashi, Alberto Contreras-Sanz, Peter C. Black, Junichi Inokuchi, Kenichi Kohashi, Yoshinao Oda, Takeshi Uchiumi, Masatoshi Eto, Dongchon Kang: Cancer genomic profiling identified dihydropyrimidine dehydrogenase deficiency in bladder cancer promotes sensitivity to gemcitabine, *SCIENTIFIC REPORTS*, 12, 1, 2022 年 05 月. (査読あり)
- Kenji Miki, Mikako Yagi, Koji Yoshimoto, Dongchon Kang, Takeshi Uchiumi: Mitochondrial dysfunction and impaired growth of glioblastoma cell lines caused by antimicrobial agents

inducing ferroptosis under glucose starvation, *ONCOGENESIS*, 11, 1, 2022年10月. (査読あり)

- Masakazu Fujii, Daiki Setoyama, Kazuhito Gotoh, Yushi Dozono, Mikako Yagi, Masataka Ikeda, Tomomi Ide, Takeshi Uchiumi, Dongchon Kang: TFAM expression in brown adipocytes confers obesity resistance by secreting extracellular vesicles that promote self-activation, *ISCIENCE*, 25, 9, 2022年09月. (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Mikako Yagi :Mitochondrial translation deficiency impairs NAD⁺-mediated lysosomal function, Osaka Mito 2023, 2023年, 3月, 大阪大学.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告 なし

e. 国内学会での講演, 発表

- 廣田みなみ、大澤 進、外園栄作: Nitro-PAPS を用いた尿中鉄の測定法の開発、生物試料分析学会, 2023年03月、九州大学.
- 深川結妃、大澤 進、外園栄作: 抗原抗体反応と酵素法を用いたホモジニアスによる高感度検出技術に関する検討, 生物試料分析学会, 2023年03月, 九州大学.
- 福元沙織、大澤 進、外園栄作: LAMP 法および PCR 法における核酸増幅後試料中に含まれるピロリン酸の高感度検出技術の開発, 生物試料分析学会, 2023年03月, 九州大学.
- 岡本拓磨、大澤 進、外園栄作: 抱合型ビリルビン特異的化学的酸化法開発に関する検討, 生物試料分析学会, 2023年03月, 九州大学.
- 深川結妃、大澤 進、外園栄作: 特異的抱合型ビリルビン測定法の開発 — δ ビリルビンの基準物質作製に関する検討—, 生物試料分析学会, 2023年03月, 九州大学.
- 濱野 佑、林 麟太郎、外園栄作: 尿中 Tamm-horsfall-Protein(THP)測定法に関する検討—尿中細菌の影響回避の試み—, 生物試料分析学会, 2023年03月, 九州大学.
- 福元沙織、香田彩華、大澤 進、外園栄作: 金属キレート Nitroso-PSAP を用いた血中 NAD⁺ および NADH 測定法の開発, 生物試料分析学会, 2023年03月, 九州大学.
- 岡本拓磨、大澤 進、外園栄作: ペルオキシダーゼ酸化縮合発色での Trinder 試薬に含有するアルコールの除去に関する検討, 生物試料分析学会, 2023年03月, 九州大学.
- 深川 結妃、外園 栄作: 私が目指す臨床検査技師像, 第56回日臨技九州支部医学検査学会, 2022年11月, 久留米シティープラザ.
- 村上匡史、細井昌子、外園栄作、安野広三、田中佑、藤本晃嗣、柴田舞欧、須藤信行: 尿中オキシトシン濃度が神経障害性疼痛に与える影響について, 第26回日本心療内科学会総会・学術大会, 2022年11月, 九州大学医学部 百年講堂.
- 岡本 拓磨、大澤 進、外園 栄作: 抱合型ビリルビンの特異的な化学的酸化法開発の試み, 第54回日本医療検査学会, 2022年10月, 神戸国際会議場.

- 福元 沙織、大澤 進、外園 栄作: 核酸増幅過程における副産物ピロリン酸の高感度検出技術の開発および核酸増幅後試料への応用, 第 54 回日本医療検査科学会, 2022 年 10 月, 神戸国際会議場.
- 八木美佳子、内海健、康東天: ミトコンドリア機能障害による心不全の病態解析と治療戦略, 日本生化学会, 2022 年 11 月, 名古屋国際会議場.
- 八木美佳子、内海健、康東天: ミトコンドリア翻訳障害による心筋症発症メカニズムとその治療, 日本ミトコンドリア学会, 2023 年 03 月, 帝京大学.
- 木村朋子, 龍美玫瑰, 福元沙織, 湯田遼介, 三浦浩一, 細川健太郎, 八尾尚幸, 岡本秀一郎, 宮野佳, 渡邊昂, 通山薫, 内海健: AXL inhibitor exhibits an antitumor effects on an MDS-derived cell line through DNA damage response, 第 84 回日本血液学会, 2022 年 10 月, 福岡国際会議場.
- 上原俊貴, 山口将太, 江口奈津希, 大石善丈, 加来恒壽, 小田義直, 岩坂剛, 渡邊壽美子: T24 細胞では BCG 曝露 2 回目以降で核クロマチンは辺縁化し pRB-T821 の脱リン酸化が起こる, 第 61 回日本臨床細胞学会秋期大会, 2022 年 11 月, 仙台サンプラザホテル.
- 高藤将平, 上原俊貴, 安田洋子, 加来恒壽, 渡邊壽美子: HeLa 細胞における培養液交換の有無と核小体の形態変化, 第 61 回日本臨床細胞学会秋期大会, 2022 年 11 月, 仙台サンプラザホテル.
- 上原俊貴, 渡邊壽美子, 岩崎遥菜, 中島海, 近藤守, 西村和徳, 大石善丈, 加来恒壽: HeLa 二核細胞の性質について, 第 37 回福岡県臨床細胞学会総会・学術集会(web), 2022 年 12 月.

f. 学会以外での講演, 発表

- 勝田 仁, 糖尿病の根治を目指して - 膵β細胞の再生を考える *Conquering Diabetes in All of its Forms*, 4th Joint Diabetes Conference, 福岡, 2022 年 11 月
- 八木美佳子, 第 5 回細胞動態学セミナー「ミトコンドリアタンパク質 p32 の機能解析」, 福岡大学, 2022 年 11 月

著作

a. 単行本 なし

b. 総説

- 水野 晋一: 造血・免疫・止血のしくみ: 4. 免疫担当細胞とその分化機構 3) B 細胞, 専門医のための血液病学, 2022 年 04 月.
- 八木美佳子、内海健: ミトコンドリア翻訳機構とその破綻による疾患, ミトコンドリア 疾患治療の新時代, 実験医学増刊, 2023 年 03 月, 羊土社.
- 八木美佳子、内海健: 老化性疾患におけるミトコンドリアとリソソームのクロストーク, みにれびゅう, 生化学 第 94 巻第 6 号, 2022 年 12 月, 日本生化学会.
- 塩津弘倫、神力悟、松井啓隆: 静脈血栓症における細胞外 miRNA の意義, 日本臨床検査医学会誌, 2022 年 08 月.

c. 解説, 書評など なし

受賞 なし

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 水野, マイクロアレイと次世代シークエンサーを用いた新規遺伝子発現解析のための解析技術開発, セルイノベーター, 2022年06月~2025年05月.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張 なし

2. 外国人研究者の受入れ

a. 訪問教授・研究員 なし

b. 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 勝田, 病院地区国際推進室・副室長.
- 渡邊, 入学者選抜研究委員会委員.

2. 部局委員

- 勝田, 医学研究院等動物実験委員会・委員.
- 勝田, 医系地区部局ヒトES細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会・委員.
- 勝田, 九州大学病院糖尿病専門部会・委員.

- 水野, 細胞免疫治療委員会、委員長.

3. 部門・コース内委員

- 勝田, FD 実行委員会・副委員長.
- 勝田, 地域・国際連携推進委員会・副委員長.
- 勝田, 施設・環境委員会・委員.
- 勝田, 卒業研究委員.
- 勝田, 教務委員会・委員.
- 勝田, 検査技術科学分野・副分野長.
- 水野, 学生委員会・委員長
- 水野, 大学院委員会・副委員長
- 外園, 教務委員会・委員.
- 栗崎, 学生委員.
- 栗崎, 卒業研究委員.
- 塩津, 地域国際連携・FD 委員会・委員.
- 木村, 施設環境委員会・委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 水野, 久留米大学医学部血液・腫瘍内科 客員教授.
- 外園, 博多学園高等学校(看護科および看護学専攻科), 非常勤講師.
- 外園, 久留米歯科衛生専門学校, 非常勤講師.
- 栗崎, 福岡県私設病院協会看護学校, 非常勤講師.
- 八木, 純真学園大学, 非常勤講師.
- 塩津, 久留米歯科衛生専門学校, 非常勤講師.

2. 学協会

- 外園, 日本臨床検査同学院の主催する試験の九州地区試験実行委員として緊急臨床検査士試験運営に従事。日本臨床検査同学院, 学術団体.
- 勝田, 日本臨床検査学教育協議会, 役員選考委員会・委員, 国内.
- 勝田, 国立大学臨床検査技師教育協議会, 将来問題検討ワーキンググループ・委員, 国内.
- 勝田, 国立大学臨床検査技師教育協議会, 会長校, 国内.
- 勝田, 国立大学臨床検査技師教育協議会, 役員校任期等見直しワーキンググループ・委員, 国内.
- 勝田, 日本臨床検査学教育協議会, 評議員, 国内.
- 水野, 日本血液疾患免疫療法学会, 評議員, 国内.
- 水野, 日本血液学会, 評議員, 国内.
- 外園, 日本医療検査科学会 編集委員会 委員, 国内.
- 外園, 日本医療検査科学会 科学技術委員会, 幹事, 国内.
- 外園, 日本医療検査科学会, 査読委員, 国内.

- 外園, 生物試料分析科学会, 常任理事, 国内.
- 外園, 生物試料分析科学会, 査読委員, 国内.
- 渡邊, 公益社団法人 日本臨床細胞学会, 査読委員, 国内.
- 渡邊, 公益社団法人 日本臨床細胞学会, 評議員, 国内.
- 渡邊, 日本臨床細胞学会九州連合会, 編集委員, 国内.
- 八木, 九州大学農学部同窓会, 評議員, 国内.

3. 官界

- 外園, 「九州地区臨床化学領域の若手技師の育成を目的として分光分析における基礎について解説した。», 生化学アカデミー九州義塾.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 勝田, 福岡地区実地医家の為の糖尿病セミナー, 世話人.
- 勝田, 福岡マスターズレクチャー, 世話人.
- 勝田, 福岡糖尿病アゴラ, 世話人.
- 勝田, 福岡糖尿病アーベント, 世話人.
- 勝田, 福岡糖尿病セミナー, 世話人.
- 勝田, 薬院・糖尿病治療を考える会, 世話人.

5. 公開講座・公開講演会

- 塩津, 2022.10, 九州大学保健学科市民公開講座, 「生理機能検査とは? ~結果の見方と意味について~」.

6. 初等中等教育への貢献

- 外園, 「2022.07, 高大ジョイントセミナー / 病気発見のプロフェッショナル」, 福岡県立城南高等学校, 講演・セミナー等.

4. 教員組織および委員会一覧

◆教員人員及び教員配置表

教員人員及び教員配置表

保健学部門

令和4年度

分野・領域	教授	准教授	講師	助教	その他
看護学					
統合基礎看護学	後藤 健一 橋口 暢子 藤田 君支		青本 さとみ 能登 裕子 松尾 和枝 松永 由理子 丸山 マサ美	相星 香 木原 深雪 <small>休職 令和4年6月1日～</small> 田中 さとみ 道面 千恵子 中島 紀江 <small>令和5年3月31日退職</small> 藤田 香奈恵 <small>令和5年3月31日退職</small> 松本 美晴 薬師寺 佳菜子 吉田 恵美 <small>令和4年4月1日採用</small>	
広域生涯看護学	寺岡 佐和 鳩野 洋子 疋田 直子 <small>令和4年4月1日採用</small> 諸隈 誠一	植木 慎悟 前野 有佳里	岩木 三保 菊地 君与 末次 美子 宮田 潤子	木村 一絵 <small>令和4年7月31日退職</small> 酒井 久美子 佐藤 洋子 田代 恵莉 <small>令和4年4月1日採用</small> 藤井 紗也 <small>令和5年3月31日退職</small> 藤田 貴子 松藤 尋幹	
医用量子線科学					
基礎放射線科学	有村 秀孝 藤淵 俊王	高橋 昭彦 納富 昭弘	近藤 雅敏	河窪 正照	
医用放射線科学	佐々木 雅之 <small>令和5年3月31日退職</small> 杜下 淳次 藪内 英剛	渥美 和重 <small>令和4年4月1日採用</small> 井手口 忠光		田中 延和	
検査技術科学					
生体情報学	内海 健 重藤 寛史		田代 洋行 小島 夫美子 <small>令和5年3月31日退職</small> 森 大輔 <small>令和5年3月31日退職</small>	安田 洋子	
病態情報学	水野 晋一 勝田 仁		外園 栄作 渡邊 壽美子 <small>令和5年3月31日退職</small> 栗崎 宏憲	塩津 弘倫 木村 朋子 八木 美佳子	

No.	1	2	3	4	5	6
委員 会	総務委員会	将来計画、点検・評価委員会 年報委員会	人事委員会	財務委員会	入学試験実施委員会	学生委員会
	合併委員会	年報委員会	教員活動評価委員会	部門長	総務委員会で検 討、部門会議で 選出	総務委員会で検 討、部門会議で 選出
委員 長	部門長	部門長	部門長	部門長	【検】重藤	【検】水野
副委員 長	委員 長指 名	委員 長指 名	委員 長指 名	施設・環境委員 会委員長	総務委員会で検 討、部門会議で 選出	総務委員会で検 討、部門会議で 選出
看 護 学	分野長: 橋口	R4.4~ R6.3 教授 (1)	R4.4~ R6.3 教授 (1)	【放】佐々木 雅	R4.4~ R6.3 教授 (1)	R4.4~ R6.3 教授 (1)
	分野長: 有村	R3.4~ R5.3 助教 以上 (1)	R3.4~ R5.3 教授 (1)		R4.4~ R6.3 助教 以上 (1)	R3.4~ R5.3 助教 以上 (1)
医 用 量 子 線 科 学	分野長: 有村	R4.4~ R6.3 教授 (1)	R3.4~ R5.3 教授 (1)	/	R4.4~ R6.3 教授 (1)	R4.4~ R6.3 教授 (1)
検 査 技 術 科 学	分野長: 内海	R3.4~ R5.3 教授 (1)	R4.4~ R6.3 教授 (1)		R4.4~ R6.3 助教 以上 (1)	R3.4~ R5.3 助教 以上 (1)
職 指 定 の 委 員	部門長 副部門長 各分野長	(各分野長) (部内)学生委員会委員長 (部内)教務委員会委員長 (部内)大学院委員会委員長	(各分野長)	(副部門長) (各分野長) (部内) 地域・国際連携推進委員会委員長 (部内)施設・環境委員会委員長 (部内)学生会委員会委員長 (部内)教務委員会委員長 (部内)大学院委員会委員長 (部内)広報委員会委員長	部門長 (各分野長)	

分野から選出する委員

No.	7		8		9		10		11		12	
委員会	教務委員会		大学院委員会		施設・環境委員会		地域・国際連携推進委員会		広報委員会		放射線安全委員会	
合併委員会	【放】藤淵		【看】寺岡		【放】佐々木 雅		FD実行委員会		【看】諸隈		北園	
委員長	【放】藤淵		【看】寺岡		【放】佐々木 雅		前年度副委員長		総務委員会で検討、部門会議で選出		X線取扱主任者	
副委員長	【看】寺岡		【放】水野		【看】藤田君		総務委員会で検討、部門会議で選出		【放】杜下		納富 (H26.4~)	
看護学	教授 (1)	R3.4~ R5.3	教授 (2)	R3.4~ R5.3	教授 (1)	R4.4~ R6.3	教授 (1)	R3.4~ R5.3	教授または准教授 (1)	R3.4~ R5.3	諸隈	/
	講師以上 (1)	R4.4~ R6.3	教授 (2)	R4.4~ R6.3	助教以上 (1)	R4.4~ R6.3	助教または講師 (3)	R3.4~ R5.3	助教または講師 (2)	R3.4~ R5.3	榎木	
医用量子線科学	教授 (1)	R4.4~ R6.3	教授 (2)	R3.4~ R5.3	教授 (1)	R3.4~ R5.3	教授 (1)	R4.4~ R6.3	教授または准教授 (1)	R3.4~ R5.3	杜下	R3.4~ R5.3
	講師以上 (1)	R3.4~ R5.3	教授 (2)	R3.4~ R5.3	助教以上 (1)	R3.4~ R5.3	助教または講師 (2)	R3.4~ R5.3	助教または講師 (1)	R3.4~ R5.3	高橋	助教以上 (4)
検査技術科学	教授 (1)	R4.4~ R6.3	教授 (2)	R4.4~ R6.3	教授 (1)	R3.4~ R5.3	教授 (1)	R4.4~ R6.3	教授または准教授 (1)	R4.4~ R6.3	重藤	R4.4~ R6.3
	講師以上 (1)	R4.4~ R6.3	教授 (2)	R3.4~ R5.3	助教以上 (1)	R4.4~ R6.3	助教または講師 (2)	R4.4~ R6.3	助教または講師 (1)	R3.4~ R5.3	安田	助教以上 (4)
職指定の委員					支線LAN管理者 【保健学科本館】(看護)木村助教、藤井助教 【基礎研究B棟】(主)放射線高橋准教授 (副)後藤田代講師 【総合研究棟1-4F】(検査)田代講師 KITE連絡員 (看護)木村助教、藤井助教 (検査)田代講師 (放射)納富准教授		※NEEP(教育の質向上支援プログラム)の実施責任者:橋口教授				部門長 X線取扱主任者【納富(H26.4~)】 X線取扱副主任者【河窪】 事務部長	

【令和4年度病院地区委員会】

番号	委員会名	役職指定等	現(R4.4.1～)委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
1	病院地区協議会	【職指定】部門長 【職指定】医療系統合教育研究センター長	敷内教授(部門長) (医)	-	-	-	部門長 医療系統合教育研究センター長	医学・歯学・薬学研究院長、生体防御医学研究所長、病院長、保健学部門長、医系学部等事務部長、病院事務部長、医療系統合教育研究センター長及び(オプザバーバーとして)副病院長(歯科部門)
1-1	九州大学病院地区学生感染対策委員会		【検査】水野教授	2年			九州大学病院地区学生感染対策委員会内規第3条1項「学部(学科)、学府の学生の教育または感染対策に責任を持つ組織に所属する教員のうちから選出された者 1名」	
2	アイソトープ総合センター病院地区実験室運営委員会		【放射】佐々木教授	2年	R4.4.1	R5.3.31	講師以上1名	医学研究院から5名(内、保健学から1名)
3	アイソトープ総合センター病院地区実験室放射線安全委員会		【放射】納富准教授	2年	R4.4.1	R6.3.31	講師以上1名	RIセンターから委嘱依頼有 選出の必要なし
4	アイソトープ総合センター病院地区実験及び病院地区学生実習室放射線取扱副主任者		【放射】藤淵教授					
5	附属図書館医学図書館運営委員会	部門内教務委員会委員長、副委員長	【放射】藤淵教授 【看護】寺岡教授	2年	R4.4.1 R4.4.1	R5.3.31 R5.3.31	教授2名	(部門内)図書委員会は教務委員会と統合 →教務委員会委員長・副委員長が兼ねる
6	医療系統合教育研究センター委員会		副センター長 【検査】重藤教授 【放射】井手口准教授	2年			保健学部門教員から1名 保健学部門教員から1名	※センター長は各部署選出の副センター長4名から1名が輪番で選出(原則、副センター長経験者から) ★センター長 H27-H28 歯 H29-H30 保 R1-R2 薬 R3-R4 医 ・副センター長 〔部門内〕教務委員長 →実質的な任期は1年
6-1	医療系統合教育研究センターICT活用教育推進専門部会		【放射】高橋准教授	-	-	-	保健学部門の教員から1名(医療系統合教育研究センター兼任教員)	H26.6～

【令和4年度病院地区委員会】

番号	委員会名	役職指定等	現(R4.4.1～)委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
7	九州大学医の倫理に関する協議会	【職指定】部門長	蔽内教授(部門長)	-	-	-	部門長	部署長・保健学部門長・各倫理審査委員会委員長・人文・社会科学の有識者・その他協議会が必要と認められた者
8	医系地区部局観察研究倫理審査委員会		【放射】蔽内教授	2年			保健学部門講師以上	
8-1	医系地区部局観察研究倫理審査委員会 書面審査員		【放射】蔽内教授 【検査】田代講師	2年			保健学部門講師以上	
9	医系地区部局ヒトES細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会		【検査】勝田教授	2年	R4.4.1	R6.3.31	保健学部門の教授1名 (医学に関する専門家)	
10	九州大学院医研究等動物実験委員会		【検査】勝田教授	2年	R4.4.1	R6.3.31	九州大学院医研究等動物実験委員会内規第3条9号「その他委員会が必要と認めらるる者 若干人」	委嘱依頼あり 選出不要
11	安全・衛生委員会		【放射】田中助教 【看護】丸山講師	2年	R4.4.1 R4.4.1	R6.3.31 R6.3.31		職位の指定はなし 毎月1回開催
12	KITE連絡員 ※令和4年4月以降、施設・環境委員会で決定する。		【看護】木村助教 藤井助教 【放射】納富准教授 【検査】田代講師	-	R4.4			施設・環境委員会の構成員が兼ねる。 (H30年7月6日施設・環境委員会にて決定)
13	アジア・オセアニア研究教育機構 医療健康クラスター 遠隔医療モジュール	【職指定】部門長	蔽内教授(部門長)		R4.4.1	R6.3.31		
14	医学研究院教員活動評価専門委員会	部門長 各分野長	蔽内教授(部門長) 【看護】橋口教授 【放射】有村教授 【検査】内海教授	-	-	-	部門長 各分野長	申し合わせでは部門長から指名された分野長1名となっているが、実質的に各分野長が行っている
15	医学研究院情報公開・個人情報保護委員会		蔽内教授(部門長)	-	-	-	医学研究院長 ・研究院長が指名する副 研究院長 ・基礎系/臨床系の教授各 2名 ・医学部事務長 ・委員会が必要と認められた者	

【令和4年度全学委員会】

番号	委員会	職指定等	現 (R4.4.1～) 委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備 考
1	教育研究評議会 (オブザーバー)	【職指定】医学部門長または保健学部門長で、医学研究院長で無い方	蔽内教授 (学部長)	-	-	-	九州大学教育研究評議会規則第6条第1項(学部長の推薦に基づき総長が必要と認める者)	医学研究院における九州大学教育研究評議会委員に関する申合せ(H22.11.10教授会決定)
1-1	キャンパス計画及び施設管理委員会	【職指定】病院地区協議会議長	(生)					地区協議会議事長 (医・歯・薬・病・生・保の輪番)
1-2	ハラスメント委員会		(生)		R4.4.1	R6.3.31	医、歯、薬、生医研及びび病院の教授、准教授及びび講師のうちから選ばれた者1人	
1-2-1	ハラスメント調査部会委員		(薬) (医)		R4.4.1	R6.3.31	医、歯、薬、生医研及びび病院の教授、准教授及びび講師のうちから選ばれた者2人	
1-3	入学試験実施委員会	【職指定】部内入試実施委員会委員長	【検査】重藤教授	1年	R4.4.1	R5.3.31	九州大学入学試験実施委員会等規程第3条第1項第11号(総長が必要と認められた者若干人) (任期1年)	(部門内) 入学試験実施委員会委員長
1-4	教育企画委員会	【職指定】部内教務委員会委員長	【放射】藤淵教授	(2年)	R4.4.1	R5.3.31	医学系学府保健学専攻又は医学部保健学科から選ばれた教授1名	※医学とは別枠 (部門内) 教務委員会委員長 →実質的な任期は1年
1-4-1	基礎教育と専攻教育の有機的接続に関する検討WG		【放射】藤淵教授	1年	R4.5.13	R5.3.31		R4.5.13新設、WGの活動期間はR5.3.31まで
1-5	学生支援委員会	【職指定】部内学生委員会委員長 【職指定】部内学生委員会副委員長	【検査】水野教授 【放射】藤淵教授	(2年)	R4.4.1 R4.4.1	R5.3.31 R5.3.31	学生支援委員会が必要と認められた者若干人	(部門内) 学生委員会委員長・副委員長 →実質的な任期は1年
1-6	研究用微生物安全管理委員会		【検査】森講師	2年	R3.4.1	R5.3.31	研究用微生物を取扱う施設を置く部局の教授、准教授及びび講師各1名	※医学とは別枠
1-7	放射線障害防止委員会		【放射】藤淵教授	2年	R2.9.1	R4.8.31	その他委員会が必要と認める者	
1-7-1	放射線障害防止委員会 オブザーバー		【放射】納富 准教授	-	H26.4.1～	-		放射線取扱主任者がオブザーバーとして参加

【令和4年度全学委員会】

番号	委員会	職指定等	現 (R4.4.1～) 委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
3	基幹教育実施会議	【職指定】 部内教務委員会委員長	【看護】藤淵教授	(2年)	R4.4.1	R5.3.31	その他運営会議が必要と認めた者	〔部門内〕教務委員会委員長 →実質的な任期は1年
3-1	基幹教育科目実施班員 ※理系デザインプリン科目班 生物専門チーム			1年	R4.7.1	R5.6.30	各学部の教員のうちから実施会議が必要と認めた者 会議から指名あり(選出必要なし)	H26新設
4	大学院基幹教育実施会議 (H26.1 新設)	【職指定】 部内大学院委員会委員長	【看護】寺岡教授	(2年)	R4.4.1	R5.3.31	その他運営会議が必要と認めた者	〔部門内〕大学院委員会委員長 →実質的な任期は1年
5	21世紀プログラム専門委員会	(分野長が担当する) R1 看護、R2 検査 R3 放射、R4 看護	【看護】橋口教授		R4.4.1	R5.3.31	各学部から選ばれた教授1名	看護・検査・放射分野の輪番
6	21世紀プログラム主導教員(修学指導)	(分野長が担当する) R1 看護、R2 検査 R3 放射、R4 看護	【看護】橋口教授		R4.4.1	R5.3.31		看護・検査・放射分野の輪番
7	情報統括本部運営会議			2年			馬出地区(医/歯/薬/病/生)に勤務する 准教授以上1人	医・歯・薬・病・生の輪番
8	加速器・ビーム応用科学センター 複担教員			なし	-	-		
8-1	加速器・ビーム応用科学センター ガンマ線施設運営委員会			2年			医学研究院、薬学研究院、総合理工学 研究院及び比較社会文化研究院の専 任の教授、准教授、講師のうちから選ば れた者 各1名	
9	学生相談室相談員	【職指定】 部内学生委員会委員長 【職指定】 部内学生委員会副委員長	【検査】水野教授 【放射】藤淵教授	(2年)	R4.4.1 R4.4.1	R5.3.31 R5.3.31	学府・学部 の教員 (教授、准教授、講師)	〔部門内〕学生委員会委員長・副 委員長 →実質的な任期は1年
10	アイトープ総合安全管理セン ター委員会			2年 2年			別表2(2)センターの教授及び准教授	RIセンター複担教員 (放射線科学部)
11	支線LAN管理者 ※令和4年4月以降、施設・環境 委員会において決定する。		保健学科本館⇒【看護】木 村助教、藤井助教 基礎研究B棟⇒主【放射】 高橋准教授、副【検査】田 代講師	-			施設・環境委員会の構成員が兼ねる。 (H30年7月6日施設・環境委員会にて 決定)	133.5.216.0.24 (保健学科本館) ならびに 133.5.213.0.24 (基礎研究B棟)の 管理
12	研究活動基礎支援専門委員会		【看護】橋口教授	2年			研究活動基礎支援専門委員会要項第 3条(5)その他専門委員会が必要と認め た者(医学研究院から1名)	
13	中央分析センター委員会		【検査】内海教授	2年	R4.4.1	R6.3.31	教授1名 ※医学として	

令和4年度
年 報

作 成 : 令和5年10月

発行者 : 保健学部門 令和5年度 年報委員会
橋口 暢子
藪内英剛・諸隈誠一・薬師寺佳菜子
有村秀孝・近藤雅敏・内海健・八木美佳子

発 行 : 九州大学大学院医学研究院保健学部門
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1